

令和2年度文化芸術による子供の育成事業-巡回公演事業-公演団体一覧

【A区分・B区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
J	音楽	オーケストラ等	広島交響楽団	○	○	○	○	『音楽のチカラ ～リズム、メロディー、ハーモニー』	♪ロッシーニ: 歌劇「ウィリアム・テル」～序曲 ♪マスカーニ: 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」～間奏曲 (省略) ♪ビゼー: 歌劇「カルメン」～ジプシーの踊り ♪オーケストラと歌おう! 「ピリプ」 「明日という日が」 「花は咲く」より選択 * ♪各校校歌 *印は、小学生用プログラム。中学生は、各校と適宜調整 他	
J	音楽	オーケストラ等	テレマン室内オーケストラ	○	○	○	○	【聴く・見る・歌う・踊る!】参加型ハロック音楽大発見コンサート	◆G.Ph.テレマン: 組曲 二長調 TWV55:D18 第1曲「序曲」 ◆弦楽隊のお話・ヴァイオリン - A. ヴィヴァルディ: 「四季」より「春」第1楽章 等 (省略) ◆木管楽器のお話・オーボエとファゴット - G.F. ヘンデル: 2つのオーボエとファゴットののための行進曲 等 ◆体験プログラム指揮体験コーナー ・G.F.ヘンデル: 組曲 変長調 HWV352 第3曲「アルマンド」 ◆G.Ph.テレマン: 組曲 二長調 TWV55:D18 第7曲「ファンファーレ」 等	
J	音楽	音楽劇	東京オペレッタ劇場	○	○	○	○	オペレッタ『小鳥売り』	『小鳥売り』 作曲 カール・ツェラー 原台本 モーリッツ・ヴェスト、ルードヴィヒ・ヘルト 歌詞/日本語台本 角 岳史	
J	演劇	児童劇	劇団風の子九州	○	○	○	-	空想力は生きる力! 「このゆびと～まれ!」公演	このゆびと～まれ! 作・演出/あさのゆみこ 音楽・効果/曲尾友克 美術/山本佐助、小塚三奈	
J	演劇	児童劇	人形劇団クラルテ	○	○	○	○	『あらしのよるに』	『あらしのよるに』原作/木村裕一 講談社刊『あらしのよるに』シリーズ1～6巻より 日本図書館協定選定図書 脚色/東口次登 演出/三木孝信 美術/西島加寿子 音楽/一ノ瀬季生 照明/永山康英	
J	演劇	演劇	秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場	-	-	○	○	『あの夏の絵』	『あの夏の絵』	H30(継続)
J	舞踊	現代舞踊	ナチュラルダンスアトル	○	○	○	○	『さーかす』	タイトル: 『さーかす』 構成・演出・振付: 中村しんじ 振付: 川野真子 美術: 宇野薫	
J	伝統芸能	歌舞伎・能楽	一般財団法人 能楽堂嘉祥閣	○	○	○	○	絵にかいてみよう 能の世界	能「鶴」 狂言「柿山伏」	
J	伝統芸能	人形浄瑠璃	淡路人形座	○	○	○	-	【淡路人形芝居】	生写朝顔日記 大井川の段/原作: 山田家山子他 人形浄瑠璃教室/太夫・三味線・人形遣いによる人形浄瑠璃の説明 戎舞/淡路人形に伝わる神事 本朝廿四孝 奥庭狐火の段/原作: 近松半次他	
J	伝統芸能	邦楽	一般社団法人 伶楽舎	○	○	○	○	『伶楽舎 子どものための雅楽コンサート』	■第1部 雅楽ってなあに? 雅楽古典曲 管絃「平調音取」「越天楽」, 「暗鐘」(中学校のみ) 雅楽古典曲 舞楽「遠城楽」各学校の校歌(雅楽編曲版)(小・中学校), わらべうた(小学校のみ) ■第2部 日本昔ばなしと雅楽 小学校=語り付き創作雅楽作品「ポン太と神鳴りさま」(芝祐靖作曲・脚本) 中学校=語り付き創作雅楽作品「カラ坊風に乗り」(芝祐靖作曲・脚本)	
J	伝統芸能	演芸	一般社団法人 沖縄歌舞劇団 美	○	○	○	○	『太陽の花』—沖縄の四季を沖縄の歌と踊りと太鼓で—	琉球舞踊・沖縄音楽(古典・民謡)・民族舞踊・太鼓演奏 監修: 新崎 恵子 演出・振付: 小嶺 和佳子 音楽: 宜保 和也	

【C区分団体】

Q・I・J	音楽	オーケストラ等	[C区分]京都フィルハーモニー室内合奏団	○	○	○	○	夢いっぱいコンサート(小学生) 中学生のためのクラシックコンサート～体感! 「オーケストラの魅力」(中学生)	(小学生) ※別途中学校用プログラム有 ●ウィリアムテル序曲より「スイス軍の行進」/ ロッシーニ作曲(金澤恭典編曲) (省略) ●ポストホルンギャロップ/ケルニヒ作曲(金澤恭典編曲) ●オペラ「カルメン」より抜粋/ ビゼー(金澤恭典編曲) ・前奏曲～アラゴネーズ～ハバネラ(歌)～闘牛士のうた(トランペット独奏) 等 【アンコール】愛いもなく/ ヨゼフ シュトラウス作曲(前田肇編曲) 他	
-------	----	---------	----------------------	---	---	---	---	---	---	--

※複数年度実施欄に「H30」の記載がある団体は平成30年度から、「R1」の記載がある団体は令和元年度から、「R2」の記載がある団体は令和2年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※<http://www.kodomogeiutsu.go.jp/junkai/kouen.html>から、団体のホームページや現在実施されている令和元年度の情報を閲覧することができます。

	A・B区分団体											C区分団体
	J108	J109	J110	J111	J112	J113	J114	J115	J116	J117	J118	
	広島交響楽団	テレマン室内オーケストラ	東京オペレッタ劇場	劇団風の子九州	人形劇団クララテ	秋田兩雀・土方与志記念青年劇場	ナチュラルダンスステアトル	一般財団法人能楽堂喜伴園	淡路人形座	一般社団法人伴楽舎	一般社団法人沖縄歌舞劇団美	K125
巡回ブロック	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	G・I・J
項目	オーケストラ等	オーケストラ等	音楽劇	児童劇	児童劇	演劇	現代舞踊	歌舞伎・能楽	人形浄瑠璃	邦楽	演芸	オーケストラ等
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし
6月1日 月		○								●	○	
6月2日 火		○								○	○	
6月3日 水		○							○	○	○	
6月4日 木		○								○	○	
6月5日 金		○							○	○	○	
6月6日 土										○	○	
6月7日 日										○	○	
6月8日 月		○							●	○	○	
6月9日 火		○							○	○	○	
6月10日 水		○								○	○	
6月11日 木		○							●	○	○	
6月12日 金		○							○	○	○	
6月13日 土										○	○	
6月14日 日										○	○	
6月15日 月		○							●	移	○	
6月16日 火		○							○	○	○	
6月17日 水		○							○	○	○	
6月18日 木		○							○	○	○	
6月19日 金		○							○	○	○	
6月20日 土										○	○	
6月21日 日				移					○	○	○	
6月22日 月		○		○					●	○	○	
6月23日 火		○		○					○	○	○	
6月24日 水		○		○					○	○	○	
6月25日 木		○		○					○	○	○	
6月26日 金		○		○					○	○	○	
6月27日 土										○	○	
6月28日 日	移									○	○	
6月29日 月	○	○		○					●	○	○	
6月30日 火	○	○		○					○	○	○	
7月1日 水	○	○		移					○	○	○	
7月2日 木	○	○							○	○	○	
7月3日 金	○	○							○	○	○	
7月4日 土									○	○	○	
7月5日 日									○	○	○	
7月6日 月	○	○							●	○	○	
7月7日 火	○	○							○	○	○	
7月8日 水	○	○							○	○	○	
7月9日 木	●	○							○	○	○	
7月10日 金		○							○	○	○	
7月11日 土										○	○	
7月12日 日										○	○	
7月13日 月									●	○	○	
7月14日 火									○	○	○	
7月15日 水									○	○	○	
7月16日 木									○	○	○	
7月17日 金									○	移	○	
7月18日 土											○	
7月19日 日											○	
7月20日 月										○	○	
7月21日 火										○	○	
7月22日 水											○	
7月23日 木											○	
7月24日 金											○	
7月25日 土											○	
7月26日 日											○	
7月27日 月											○	
7月28日 火											○	
7月29日 水											○	
7月30日 木											○	
7月31日 金											○	
8月1日 土											○	
8月2日 日											○	
8月3日 月											○	
8月4日 火											○	
8月5日 水											○	
8月6日 木											○	
8月7日 金											○	
8月8日 土											○	
8月9日 日											○	
8月10日 月											○	
8月11日 火											○	
8月12日 水											○	
8月13日 木											○	
8月14日 金											○	
8月15日 土											○	
8月16日 日											○	
8月17日 月											○	
8月18日 火											○	
8月19日 水											○	
8月20日 木											○	
8月21日 金											○	
8月22日 土											○	
8月23日 日					○						○	
8月24日 月		○							●		○	
8月25日 火		○							○		○	
8月26日 水		○							○		○	
8月27日 木		○							○		○	
8月28日 金		○							○		○	
8月29日 土											○	
8月30日 日											○	
8月31日 月		○							●		○	

	A・B区分団体											C区分団体
	J108	J109	J110	J111	J112	J113	J114	J115	J116	J117	J118	
	広島交響楽団	テレマン室内オーケストラ	東京オペレッタ劇場	劇団風の子九州	人形劇団クララテ	秋田兩雀・土方与志記念青年劇場	ナチュラルダンスステアトル	一般財団法人能楽堂喜伴團	淡路人形座	一般社団法人伴楽舎	一般社団法人沖調歌舞劇団美	K125
巡回ブロック	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	G・I・J
項目	オーケストラ等	オーケストラ等	音楽劇	児童劇	児童劇	演劇	現代舞踊	歌舞伎・能楽	人形浄瑠璃	邦楽		オーケストラ等
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし
9月1日	火											
9月2日	水											
9月3日	木											
9月4日	金											
9月5日	土											
9月6日	日											
9月7日	月											
9月8日	火											
9月9日	水											
9月10日	木											
9月11日	金											
9月12日	土											
9月13日	日											
9月14日	月											
9月15日	火											
9月16日	水											
9月17日	木											
9月18日	金											
9月19日	土											
9月20日	日											
9月21日	月											
9月22日	火											
9月23日	水											
9月24日	木											
9月25日	金											
9月26日	土											
9月27日	日											
9月28日	月											
9月29日	火											
9月30日	水											
10月1日	木											
10月2日	金											
10月3日	土											
10月4日	日											
10月5日	月											
10月6日	火											
10月7日	水											
10月8日	木											
10月9日	金											
10月10日	土											
10月11日	日											
10月12日	月											
10月13日	火											
10月14日	水											
10月15日	木											
10月16日	金											
10月17日	土											
10月18日	日											
10月19日	月											
10月20日	火											
10月21日	水											
10月22日	木											
10月23日	金											
10月24日	土											
10月25日	日											
10月26日	月											
10月27日	火											
10月28日	水											
10月29日	木											
10月30日	金											
10月31日	土											
11月1日	日											
11月2日	月											
11月3日	火											
11月4日	水											
11月5日	木											
11月6日	金											
11月7日	土											
11月8日	日											
11月9日	月											
11月10日	火											
11月11日	水											
11月12日	木											
11月13日	金											
11月14日	土											
11月15日	日											
11月16日	月											
11月17日	火											
11月18日	水											
11月19日	木											
11月20日	金											
11月21日	土											
11月22日	日											
11月23日	月											
11月24日	火											
11月25日	水											
11月26日	木											
11月27日	金											
11月28日	土											
11月29日	日											
11月30日	月											

	A・B区分団体											C区分団体
	J108	J109	J110	J111	J112	J113	J114	J115	J116	J117	J118	
	広島交響楽団	テレマン室内オーケストラ	東京オペレッタ劇場	劇団風の子九州	人形劇団クララテ	秋田兩雀・土方与志記念青年劇場	ナチュラルダンステアトル	一般財団法人能楽堂嘉祥閣	淡路人形座	一般社団法人伴楽舎	一般社団法人沖調歌舞劇団美	京都フィルハーモニー室内合奏団
巡回ブロック	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	G・I・J
項目	オーケストラ等	オーケストラ等	音楽劇	児童劇	児童劇	演劇	現代舞踊	歌舞伎・能楽	人形浄瑠璃	邦楽	演芸	オーケストラ等
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし
12月1日 火				○	○		○	○		○	○	○
12月2日 水				○	○		○	○		○	○	○
12月3日 木				○	○		○	○		○	○	○
12月4日 金				移	○		○	○		○	○	○
12月5日 土					○					○	○	○
12月6日 日					○					○	○	○
12月7日 月				●	○		○	●		○	○	○
12月8日 火				○	○		○	○		○	○	○
12月9日 水				○	○		○	○		○	○	○
12月10日 木				○	○		○	○		○	○	○
12月11日 金							○	○		○	○	○
12月12日 土				移						○	○	○
12月13日 日									移	○	○	○
12月14日 月					○		○	●	○	○	○	○
12月15日 火					○		○	○	○	○	○	○
12月16日 水					○		○	○	○	○	○	○
12月17日 木					○		○	○	○	○	○	○
12月18日 金							○		○	○	○	○
12月19日 土									移	○	○	○
12月20日 日										○	○	○
12月21日 月							○	●		○	○	○
12月22日 火							○	○		○●	○	○
12月23日 水							○	○			○	○
12月24日 木											○	○
12月25日 金								○				○
12月26日 土												
12月27日 日												
12月28日 月								●				
12月29日 火								○				
12月30日 水								○				
12月31日 木								○				
1月1日 金												
1月2日 土												
1月3日 日												
1月4日 月								●				
1月5日 火								○				
1月6日 水								○				
1月7日 木								○				
1月8日 金												
1月9日 土												
1月10日 日												
1月11日 月							移		移		○	
1月12日 火							○	●	○		○	
1月13日 水							○	○	○		○	
1月14日 木							○	○	○	●	○	
1月15日 金							○	○	○	○	○	
1月16日 土									○	○	○	
1月17日 日									○	○	○	
1月18日 月							○	●	○	○	○	
1月19日 火							○	○	○	○	○	
1月20日 水					移		○	○	○	○	○	
1月21日 木					●		○	○	○	○	○	
1月22日 金					○		○	○	○	○	○	
1月23日 土									○	○	○	
1月24日 日									○	○	○	
1月25日 月					○		○	●	○	○	○	
1月26日 火					○		○	○	○	○	○	
1月27日 水					○		○	○	○	○●	○	
1月28日 木					○		○	○	○		○	
1月29日 金					○		○	○	移		○	
1月30日 土												
1月31日 日												

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, <u>オーケストラ等</u> , 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ

A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり

なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじん ひろしまこうきょうがくきょうかい 公益社団法人広島交響楽協会		
代表者職・氏名	理事長 東谷法文		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒730-0842 広島市中区舟入中町9-12 舟入信愛ビル3F (最寄り駅:広島電鉄/舟入本町・バス停:舟入本町)		
電話番号	082-532-3080	FAX番号	082-532-3081
ふりがな 公演団体名	ひろしまこうきょうがくだん 広島交響楽団		
代表者職・氏名	音楽総監督 下野竜也		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 制作団体と同じ		
制作団体 設立年月	楽団創立 1963年10月 (実施団体認可年月 1972年9月)		
制作団体 組織	役員		団体構成員及び加入条件等
	会長:池田晃治 副会長:岡谷義則、 深山英樹、平松恵一 理事長:東谷法 文 専務理事:草田博 常務理事:藤岡 義久 他理事:20名 監事:木村満、 新納慎治 事務局長:井形健児 管理部長:山本 章彦 他8名(公認会計士)田中 茂		(1) 団体構成員/音楽総監督1名、終身名誉指揮者1 名、コンサートマスター2名、首席奏者2名、団員68名 (内空席9名、順次補充予定) 計74名 (2) 主な構成員/音楽総監督:下野竜也、終身名誉指揮 者:秋山和慶、第一コンサートマスター:佐久間聡一、コ ンサートミストレス:蔵川瑠美、首席ヴィオラ奏者:安保恵 麻、首席チェロ奏者:マーティン・スタンツェライト (3) 加入条件/ 楽団員は、公募のオーディションにより 採用

事務体制の担当	専任 ・ <u>他の業務と兼任</u>	本事業担当者名	宇津志 忠章
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・ 無	経理責任者名	藤岡義久
制作団体沿革	<p>昭和 38 年 10 月「広島市民交響楽団」として発足。昭和 44 年広島交響楽団と改称。昭和 47 年 9 月社団法人「広島交響楽協会」の認可を受けプロの楽団として改組。昭和 59 年 5 月渡邊 暁雄が音楽監督に就任。昭和 61 年 4 月高関健が音楽監督就任。平成 2 年 4 月田中良和が音楽監督就任。平成 6 年 5 月十束尚宏が音楽監督就任。秋山和慶が平成 10 年 4 月に首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任の後、平成 16 年 4 月より常任指揮者に就任。平成 29 年 4 月より下野竜也が音楽総監督に就任し、秋山和慶は終身名誉指揮者に就任。</p> <p>平成 3 年ウィーン・プラハ「国連平和コンサート」2 公演、平成 9 年フランス「ノルマンディーの 10 月」音楽祭 2 公演、平成 15 年ロシア・サンクトペテルブルク 2 公演、平成 17 年日韓友情年・韓国公演 3 公演の海外公演を行う。平成 23 年 4 月公益社団法人に移行。平成 24 年 9 月プロ改組 40 周年。平成 25 年 10 月創立 50 周年を迎えた。平成 27 年 8 月終戦・被爆 70 年の周年事業として「平和の夕べ」コンサートを初のサントリーホールにて開催、ソリストにマルタ・アルゲリッチを迎え、天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、天覧公演を行った。</p>		
学校等における 公演実績	<p>小学校～高校生を対象とした音楽鑑賞教室を毎年 20～30 公演、学校の体育館などで実施しています。また、当団の主催事業として地域内を巡回する青少年向けのコンサートのほか、広島県などの派遣事業で、児童を対象としたでのワークショップやアウトリーチの実績もあります。</p> <p>平成 30 年度実績 音楽鑑賞教室 29 回(計 13,201 名が鑑賞) 巡回演奏会 8 回(計 3,941 名が鑑賞)</p>		
特別支援学校に おける公演実績	音楽鑑賞教室などでの公演実績があります。		
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	<u>有</u> ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	<u>有</u> ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	http://rafule.com/hso/data/
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
	※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

広島交響楽団

】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生		
企画名	『音楽のチカラ ～ リズム、メロディー、ハーモニー』		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	『音楽のチカラ ～ リズム、メロディー、ハーモニー』 ♪ ロッシーニ: 歌劇「ウィリアム・テル」～序曲 ♪ マスカーニ: 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」～間奏曲 ♪ ビゼー: 「アルルの女」組曲～フェアランドール ♪ オーケストラの楽器を探そう! (楽器紹介・体験コーナー) <休憩> ♪ オーケストラと共演/おもちゃのシンフォニー～第1楽章* ♪ ブラームス: ハンガリー舞曲第5番 ♪ 指揮者体験コーナー ♪ ビゼー: 歌劇「カルメン」～ジプシーの踊り ♪ オーケストラと歌おう! / 「ビリーブ」「明日という日」「花は咲く」より選択* ♪ 各校校歌 *印は、小学生用プログラム。中学生は、各校と適宜調整させていただきます。		
著作権	○	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	『音楽のチカラ ～ リズム、メロディー、ハーモニー』と題して作品の魅力の源泉となっている音楽的な要素にも触れて、より深く鑑賞していただけるように企画しています。 前半は、まずオーケストラに親しんでいただくことと、音楽の三要素について触れることを主眼に構成しています。 ・「ウィリアム・テル」序曲～導入として、高揚感のある作品で始め、音楽のリズムについて触れます。 ・「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲～音楽のメロディーに着目し、美しいメロディーが感情に訴える力に触れます。 ・「アルルの女」フェアランドール～音楽の要素、リズム、ハーモニーに着目し、リズムがもたらす高揚感と短調から長調へとハーモニーの変化による感動を体感してもらいます。また楽器体験での楽器への関心をより高めてもらう為、代表児童 30 名程度にオーケストラ側に回り込んで鑑賞していただきます。 ・オーケストラの楽器を探そう! ～楽器ごとに体育館内に散らばって、児童・生徒が間近で自由に楽器と奏者に触れあえる企画にし、オーケストラへの興味を高め、鑑賞時の視覚的な不足も補います。 後半は、体験型を主体に、楽しく参加していただく事で関心を芸術への高め、情操を育成することを目的にしています。 ・おもちゃのシンフォニー～簡単な楽器でオーケストラに参加し、演奏者の気持ちに触れる体験をしてもらいます。事前ワークショップの題材にもさせていただきます。(中学校の場合は、ベートーヴェン: 交響曲第5番第1楽章の鑑賞、または学校希望の共演曲などに差し替え) ・ハンガリー舞曲第5番(指揮者体験コーナー)～テンポの抑揚による表現を鑑賞した上で、代表児童に指揮を体験して頂き、オーケストラをドライブする指揮者の役割を感じていただきます。 ・「カルメン」ジプシーの踊り～オーケストラ鑑賞のまとめとして演奏します。 ・合唱曲～児童全員にオーケストラ伴奏による歌唱で参加していただきます。		
演目選択理由	音楽とオーケストラの魅力を、多角的に感じていただけるように構成しています。各演奏曲目は、作曲者がどのような意図を持ち、それを表現するためにどのような構成と技法をとっているかのお話を挿入しながら、鑑賞内容をより深めいていただけるように進めていきます。また前半ではオーケストラの奏者と楽器に可能な限り身近に接することで、興味付けを深め効果的な鑑賞につながるように考えています。		

公演時間(90 分)

<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>楽器紹介・体験では、オーケストラで使われる各楽器について実際に触れていただける楽器を用意します。参加共演曲目として、児童による「おもちゃのシンフォニー」の「おもちゃ(水笛、カッコウ笛、ガラガラ、おもちゃのラッパ、太鼓)の演奏や、「指揮者コーナー」での児童・生徒代表による指揮の体験を行います。児童合唱による参加曲目は学校の希望により選択していただき、中学校では、吹奏楽部などとの共演を学校側の希望により実施します。公演の締めくくりには各校校歌を演奏いたします。</p>		
<p>出演者</p>	<p>指揮:鈴木織衛、水戸博之 管弦楽:広島交響楽団 (編成予定) 1stVn:10,2ndVn:8,Va:6,Vc:6,Cb:4 Fl:2,Ob:2,Cl:2,Fg:2 Hr:4,Tp:2,Tb:3,Tuba:1 Timp&Perc:4 Hp:1</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 58 名 <u>スタッフ: 5 名</u> 合計: 63 名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 4 t 車長 9.69 m 台数 2 台</p>

【公演団体名 広島交響楽団】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(2 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	10 時	10:30~12:30	13:30~15:00	10 分	15:00~15:50	16:00
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	学年単位など学校任意 (おもちゃのシンフォニー共演に参加する児童)				
	本公演	会場に収容できる人数であれば制限はありませんが、楽器体験の実施状況としては ~500 人程度を想定しています。超える場合は楽器体験の実施形態をご相談させていただきます。				
ワークショップ 実施形態 及び内容	オーケストラの演奏者数名(4 名を予定)を派遣して、実演を交えながら、オーケストラや楽器について説明を行ってオーケストラへの関心を高めていただきます。後半では児童参加の共演曲「おもちゃのシンフォニー」を各グループに分かれて演奏者が個別に楽譜の読み方などを指導し、その中で交流を図ります。学校にご対応いただける場合は、手作り楽器の制作も行い、その課程で音の出る仕組みについても触れていきます。中学校では、リトミックなどを取り入れた音楽体験を実施し、希望があれば吹奏楽部の指導などにも対応させていただきます。					
ワークショップ 実施形態の意図	まず、演奏者や楽器に興味を持っていただくことを意図し、実演を交えた導入を行います。実際に参加曲目の練習の中で、児童・生徒と演奏者の交流を深め、演奏家がどのようなことを感じ、考えて演奏活動に取り組んでいるかということ伝えることも意図しています。					
特別支援学校で の実施における 工夫点	各学校の参加者の状況により、曲目や進行を学校側と協議して適宜対応させていただきます。特に共演部分については、負担に配慮しながら、充実した体験となるよう取り組みたいと思います。当団では、毎年障害者との共演コンサートを実施している実績もあり、障害の程度に関わらず、多くの方に参加していただけるよう調整いたしますので、積極的にご参加いただければと存じます。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

広島交響楽団

Hiroshima
Symphony Orchestra

創立1963年10月12日

- 音楽総監督/下野 竜也
- 終身名誉指揮者/秋山 和慶
- 首席客演指揮者/クリスティアン・アルミンク
- ミュージック・パートナー/フォルクハルト・シュトイデ
- コンポーザー・イン・レジデンス/細川 俊夫
- 平和音楽大使/マルタ・アルゲリッチ
- 名誉創立指揮者/井上 一清
- 名誉音楽監督/渡邊 暁雄
- 第一コンサートマスター/佐久間 聡一
- コンサートミストレス/蔵川 瑠美

(2019年8月5日現在)

●第1ヴァイオリン

石井 郁子
蔵田 直子
後藤 絢子
清水 洋平
高和 雅
伊達 万浩
福澤かをり
正田 愛子
宮崎 美里
山根 啓太郎

●第2ヴァイオリン

緒方 愛子
沖 めぐみ
大心池由美
掛本 麻里
川畑美津代
鄭 英徳
盛田 恵

●ヴィオラ

◎安部 恵麻
青野亜紀乃
石川 直子
伊藤 栄朗
栄 智宏
佐々木明子
伊達 真帆
永井 啓子

●チェロ

◎マーティン・
スタンツェライト

*伊藤 哲次
岩橋 綾
遠藤 和子
熊澤 雅樹
染谷 春菜
畑本 伸夫

●コントラバス

斎藤 賢一
徳原 正法
飛田 勇治
藤丸 大輔

●フルート

岡本 弥生
中村めぐみ
森川 公美

●オーボエ

板谷由起子
柴 滋

●クラリネット

品川 秀世
高尾 哲也

●ファゴット

小澤 公裕
徳久 英樹

●ホルン

◇山岸 博
倉持 幸朋
鈴木 一裕
山崎 大祐
渡部奈津子

●トランペット

金井 晶子
亀島 克敏
松崎 祐一

●トロンボーン

清澄 貴之

●バス・トロンボーン

*武崎創一郎

●テューバ

古本 大志

●ティンパニ& パーカッション

金原 俊
阪口 裕太
照沼 滋

●ライブラリアン

松田 弘美

●ステージマネージャー

富永 誠二

公益社団法人 広島交響楽協会 Hiroshima Symphony Association

〒730-0842 広島市中区舟入中町9-12舟入信愛ビル3F TEL: 082-532-3080 FAX: 082-532-3081 ホームページ <http://hirokyo.or.jp>

特別顧問/広島県知事 湯崎 英彦 広島市長 松井 一貴

会長/池田 晃治 副会長/岡島 鉄也 平松 恵一 深山 英樹

理事長/東谷 法文

専務理事/草田 博 常務理事/藤岡 義久

理事/上田 みどり 大野 徹 小田 宏史 川野 祐二 木村 祭氏 久保 允誉 重藤 隆文
田中 秀和 伴谷 晃二 永野 浩介 畑矢 健治 瀨本 恵康 姫野 浩 政氏 昭夫 松村 誠
道下 太英子 箕輪 幸人 椋田 昌夫 森永 智絵 森元 弘志 山西 泰明 横山 弘成 吉原 誠

監事/木村 満 新納 慎治

名誉会長/岸田 俊輔 高橋 正 角廣 勲
顧問/貝川 健一 北野 盛荘 金田 幸三

名誉理事長(故人)/原田 東岷

〈事務局〉

事務局長/井形 健児 ライブラリアン・課長/松田 弘美

管理部長/山本 章彦 ステージマネージャー/富永 誠二

事業課長/宇津志 忠章

課長補佐/西本 聡

主任/生野 笑巳 高木 夏美

担当/池本 可南子 徳永 梢

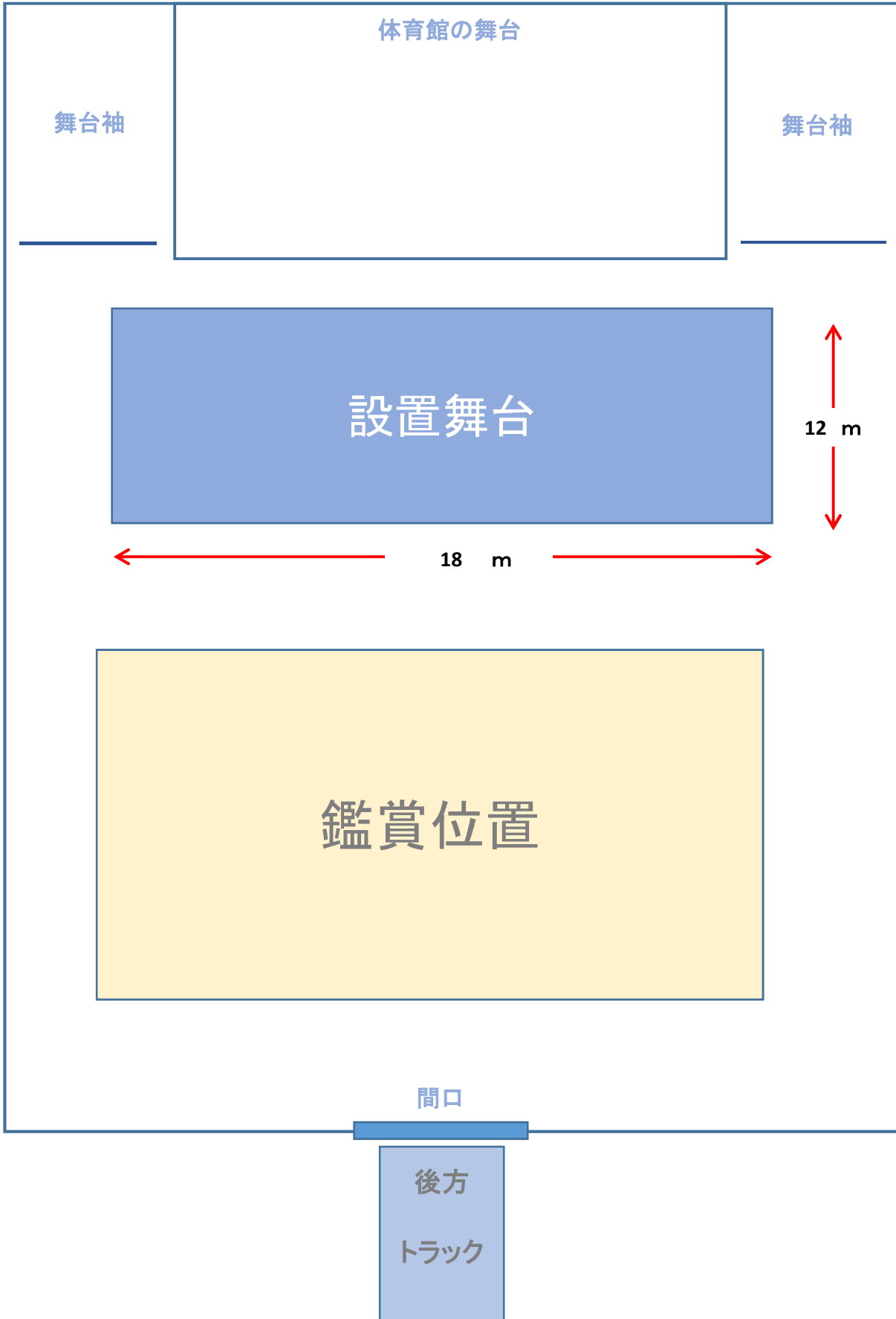
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	J108	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	J	区分	A区分
公演団体名	広島交響楽団			制作団体名	公益社団法人 広島交響楽協会				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	可	必要数 *	4室	条件	1名利用×2室、大部屋×2室を希望							
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			4トラック 2台	大型バス 3台						
	—	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			L=9.69m、W=2.5m、H=3.6m							
	不可	搬入車両の横づけの要否 *			要							
	不可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			不可							
	可	搬入経路の最低条件			雨天の場合、荷物が濡れないこと							
	/	理由			楽器の状態に影響するため							
	可	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可							
	不可	搬入間口について 単位:メートル	幅	2m	高さ	2m						
WSIについて	可	参加可能人数			共演曲に参加する児童							
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし					
	可	所要時間の目安 単位:分			90分							
本公演について	/	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			楽器体験実施の場合は500名程度まで							
	不可	舞台設置場所 *			フロア							
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	18m	奥行	12m	高さ	特になし				
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要				
	可				舞台袖スペースの条件 *			状況に合わせて適宜対応				
	可				緞帳 *	要		バトン *	不要			
	不可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	直射日光等、演奏上不都合な事態を避けるため。完全遮光を目的とするものではありません。					
	—	ピアノの調律・移動の要否			指定位置へのピアノの移動 *	不要						
	—				ピアノの事前調律 *			不要				
	可	フロアを使用する場合の条件			バスケットゴールの設置状況 *			格納されていれば可				
	—	公演に必要な電源容量			問わない ※主幹電源の必要容量							
	その他特記事項											

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		不可 雨天の場合に荷物がぬれないこと		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, <input type="checkbox"/> オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	いっばんしゃだんほうじんにほんてれまんきょうかい		
制作団体名	一般社団法人日本テレマン協会		
代表者職・氏名	代表理事 延原武春		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地 2-1-17 (大阪メトロ「西梅田駅」、JR「北新地駅」)		
電話番号	06-6345-1046	FAX番号	06-6345-1045
ふりがな	てれまんしつないおーけすとら		
公演団体名	テレマン室内オーケストラ		
代表者職・氏名	音楽監督 延原武春		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地 2-1-17 (大阪メトロ「西梅田駅」、JR「北新地駅」)		
制作団体 設立年月	1963年 4月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	理事1名 / 監事1名 事務職員4名	団体構成員/テレマン室内オーケストラ 25名 加入条件/適宜行われるオーディションによる	
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	今井 良
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	奥田博子

制作団体沿革	1963 年、延原武春により創設された、日本に於けるバロック音楽及び室内楽総合団体。年間 6 回の「定期演奏会」(現在 253 回)、サロンコンサートとしての「マンスリーコンサート」(現在 491 回)、聖堂での「教会音楽シリーズ」(現在 188 回)を主催事業の 3 本柱として、年間 100 回以上の公演を全国各地に於いて積極的に展開している。又、十数度の海外公演やCDのリリース等、多方面に亘り精力的な活動を続けており、その成果に対して「文化庁芸術祭優秀賞」や「第 17 回サントリー音楽賞」その他多くの賞を受賞している。		
学校等における 公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県民芸術劇場学校公 2 公演 ・一般学校公演 2 公演 ・平成 30 年度文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業—15 公演 		
特別支援学校に おける公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業—2 公演 		
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の 提出 が困 難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	https://youtu.be/4mdoxRPv8KE
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 テレマン室内オーケストラ】

対象	小学生(<input type="checkbox"/> 低学年・ <input type="checkbox"/> 中学年・ <input type="checkbox"/> 高学年) ・ <input type="checkbox"/> 中学生				
企画名	【聴く・見る・歌う・踊る！】参加型バロック音楽大発見コンサート				
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	<p>◆G.Ph.テレマン:組曲 ニ長調 TWV55:D18 第1曲「序曲」</p> <p>◆弦楽器のお話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヴァイオリン — A.ヴィヴァルディ:「四季」より「春」第1楽章 ・<input type="checkbox"/>体験プログラムクイズコーナー — 「四季」にはどんな情景が描かれているのか？ ・ヴィオラ — G.Ph.テレマン:ヴィオラ協奏曲 第2楽章 ・チェロとコントラバス — A.ヴィヴァルディ:チェロ・ソナタ 第2楽章 ・弦楽合奏 — J.S.バッハ:管弦楽組曲 第3番 第2曲「エア」 ・<input type="checkbox"/>体験プログラムヴァイオリンを弾いてみよう！ — J.S.バッハ:ガヴオット ト長調 <p>◆チェンバロのお話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・J.S.バッハ:インヴェンション 第1番 ハ長調 ◆<input type="checkbox"/>体験プログラムバロックダンスのコーナー～メヌエットを踊ってみよう！～ ・G.F.ヘンデル:水上の音楽 第2組曲「メヌエット」 <p>◆G.Ph.テレマン:組曲 ニ長調 TWV55:D18 第3曲「ロンド形式のガヴオット」</p> <p>- 休憩 -</p> <p>◆金管楽器と打楽器のお話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・G.Ph.テレマン:組曲 ニ長調 TWV55:D18 第4曲「パッサカイユ」 <p>◆歌のコーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・G.F.ヘンデル:オンブラ・マイ・フ ◆<input type="checkbox"/>体験プログラム共演のコーナー(ご希望の合唱曲) <p>◆木管楽器のお話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーボエとファゴット — G.F.ヘンデル:2つのオーボエとファゴットのための行進曲 J.S.バッハ:管弦楽組曲 第1番 第7曲「パスピエ」 ・リコーダー — G.Ph.テレマン:四声部のための協奏曲 ト長調 第1楽章 A.ヴァルディ:リコーダー協奏曲 RV445 第3楽章 (または G.Ph.テレマン:リコーダー協奏曲 ヘ長調 第2楽章) ◆<input type="checkbox"/>体験プログラム指揮体験コーナー ・G.F.ヘンデル:組曲 変ロ長調 HWV352 第3曲「アルマンド」 ◆G.Ph.テレマン:組曲 ニ長調 TWV55:D18 第7曲「ファンファーレ」 <p style="text-align: right;">公演時間(90 分)</p>				
著作権	制作団体が所有	<input type="radio"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる	不要	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>バロック時代の作品は親しみやすく短いものが一般的でした。本企画はその特性を活かし、G.Ph.テレマン作曲「組曲」ニ長調を軸に、誰もが知るような有名な作品から、マイナーながら有名な作品に引けを取らないような名曲まで幅広く選曲いたしました。また、各楽器がフィーチャーされた演目を、楽器の紹介を交えながら演奏していくことで、曲のイメージと楽器の特徴を関連付けて覚えて頂くことが出来ます。さらに、リコーダーという最も身近な楽器を橋渡しとして、バロック時代の音楽の「内容の豊かさ」「や「楽しさ」」「表現の多様性」などを感じて頂けるようなプログラムとなっております。フル編成のオーケストラの約3分の1程度の規模の楽団だからこそ出来る、機動性を活かした躍動的な演奏で、バロック音楽の魅力をお伝え出来ればと思います。</p> <p>また、様々な「体験プログラム」を随所に配置しました。児童・生徒の皆様に参加して頂き、公演を共に作り上げていくという「一体感」を味わって頂くことで、バロック音楽をより身近に感じて頂きます。</p>				

<p>演目選択理由</p>	<p>バロック音楽特有の平易で短く分かりやすい、様々な編成・曲想の楽曲を多数配置することで、児童・生徒の皆様のバロック音楽への興味関心を促し、発想力の育成につながるよう選曲致しました。また、編成の大きな合奏の曲を公演冒頭や休憩前後などに配置しつつ、各楽器が活躍する演目を、楽器の紹介を交えながら順にお聴きいただくことで、楽器について学びながら本格的な演目を鑑賞していただけるよう留意いたしました。また、バロック音楽は楽器学習に取り組んでいらっしゃる児童・生徒の皆様にとっては非常になじみ深い分野ですので、本分野への興味関心を深めて頂くことで、将来の芸術家の育成にダイレクトにつながると考えております。さらに、クラシック音楽の中でも最もシンプルな部類であるバロック音楽に親しんでいただくことで、クラシック音楽の鑑賞能力の向上にもつながればと考えております。</p> <p>各楽曲の詳細な選択理由は下記の通りとなっております。</p> <p>G.Ph.テレマン:組曲 ニ長調 TWV55:D18 第1曲「序曲」、第3曲「ロンド形式のガヴオット」、第4曲「パッサカイユ」、第7曲「ファンファーレ」</p> <p>18世紀当時、バッハを凌ぐ名声を誇り、5000曲以上作曲したといわれる作曲家、テレマン。バッハよりもバロック時代の「スタンダード」と言える作品を多く書いており、随所に聴き手を惹きつける仕掛けが施された「楽しさ」を重視した作風でした。</p> <p>この組曲はトランペットをはじめとする管・打楽器が活躍し、とても華やかな曲で、どの楽章も短く印象的であることから、前・後半共に最初と最後にこの作品からの抜粋した曲を演奏致します。</p> <p>◆楽器のお話</p> <p>各楽器がフィーチャーされた曲を、それぞれの楽器の紹介を交えながら演奏することで、楽器について学びながら本格的な作品を鑑賞していただくことが出来ます。</p> <p>・A.ヴィヴァルディ:「四季」より「春」第1楽章</p> <p>まずはヴァイオリンの紹介から始めるため、バロック音楽の中でも最も有名な作品の一つであるこの曲を選択いたしました。誰もが一度は耳にしたことのある名曲「四季」ですが、ソネット(詩)を下敷きに書かれており、随所に四季折々の描写がちりばめられています。「春」には小鳥や小川、嵐などを表現した部分がありますが、そういった部分でバロック音楽の表現の多様性も感じて頂くことが出来ます。</p> <p>・G.Ph.テレマン:ヴィオラ協奏曲 第2楽章</p> <p>「ヴィオラ協奏曲」と言えばバロック期のみならずクラシック音楽全体でも、テレマンのヴィオラ協奏曲が想起されるほどの名曲です。ヴァイオリンとはまた違った音色を持つヴィオラですが、「人の声に最も近い」と言われるヴィオラの魅力を感じて頂きます。</p> <p>・A.ヴィヴァルディ:チェロ・ソナタ 第2楽章</p> <p>チェロとコントラバスによる二重奏(チェンバロ付き)で演奏することで、普段は縁の下の力持ちである両楽器に着目し、その魅力を感じて頂けると考え、この曲を選択しました。</p> <p>・J.S.バッハ:管弦楽組曲 第3番 第2曲「エア」</p> <p>各弦楽器の音色をお聴きいただいた後は、全ての弦楽器の音色が合わさるとどのような音になるのかをお聴きいただきます。</p> <p>・J.S.バッハ:インヴェンション 第1番 ハ長調</p> <p>チェンバロを紹介するために、ピアノを学習している児童・生徒の皆さんにも馴染みがあるであろう作品を選びました。お馴染みの曲が、楽器がピアノからチェンバロに代わることで、全く違った印象になるということを実感していただきます。</p> <p>・G.Ph.テレマン:組曲 ニ長調 TWV55:D18 第4曲「パッサカイユ」</p> <p>本プログラムの「軸」として選択したテレマン作曲「組曲」ニ長調から、トランペットとティンパニが華やかな第4曲を演奏することで、両楽器について学んでいただきます。</p> <p>・G.F.ヘンデル:2つのオーボエとファゴットのための行進曲</p> <p>・J.S.バッハ:管弦楽組曲 第1番 第7曲「パスピエ」</p> <p>まずはオーボエ 2名とファゴットのためのアンサンブルで演奏可能なヘンデル作曲「行進</p>
---------------	---

曲」をお聴きいただき、次に弦合奏にオーボエとファゴットが加わるとどのような音になるのかを、バッハ作曲「管弦楽組曲 第1番」より第7曲「パスピエ」で実感して頂きます。

・G.Ph.テレマン:四声部のための協奏曲 ト長調 第1楽章

A.ヴァルディ:リコーダー協奏曲 RV445 第3楽章

(または G.Ph.テレマン:リコーダー協奏曲 ヘ長調 第2楽章)

室内楽でリコーダーを聴いていただいた後は、独奏楽器としてのリコーダーを聴いていただきます。小学校ではソプラノリコーダーを、中学校ではアルトリコーダーを用いた協奏曲をそれぞれ選択いたしました。両曲とも技巧を凝らした華やかなパッセージが登場し、リコーダーがヴァイオリンやトランペットにも引けを取らない、バロック時代の花形楽器であったことを実感して頂けるような曲です。

◆歌のコーナー

・G.F.ヘンデル:オンブラ・マイ・フ

ヘンデルの作品群の中でも最も重要なポジションを占めるオペラから、アリアをお聴きいただきます。司会を務めるソプラノ歌手が独唱を務めますが、鑑賞する児童・生徒の皆様と楽団の橋渡しをする司会者が独唱を務めることで身近に感じて頂きつつ、「人の声」がどれほど技巧的で華やかなアリアを歌うことが出来るのかを実感して頂ければと思います。

◆バロックダンスのコーナー～メヌエットを踊ってみよう！～

・G.F.ヘンデル:水上の音楽 第2組曲「メヌエット」

バロック時代に宮廷で踊られたメヌエットを、ヘンデルの代表作「水上の音楽」第2組曲のメヌエットで踊っていただきます。

◆指揮体験コーナー

・G.F.ヘンデル:組曲 変ロ長調 HWV352 第3曲「アルマンド」

指揮のし易い二拍子であり、短いことから全曲指揮出来る作品として、この作品を選択いたしました。しかし、短いながらもフレーズの切り替わりや曲想の変化など、指揮者によって表現を変えられる部分があるので、指揮の難しさや楽しさを体感していただけます。

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態

バロック音楽を体感していただけるよう、5種類の体験プログラムを準備いたしました。

うち3種類は全員で体験していただくもの、2種は選抜メンバーに体験していただくものとなっております。

全員で体験していただく内容

・クイズコーナー — 「四季」にはどんな情景が描かれているのか？

ヴィヴァルディ作曲「四季」には楽譜にソネットと呼ばれる詩が併記されており、様々な情景が音によって描写されています。その一部分を取り出し、何が描写されているのかを、音からイメージしてお答えいただけます。

・バロックダンスのコーナー～メヌエットを踊ってみよう！～

(G.F.ヘンデル:水上の音楽 第2組曲 第3曲「メヌエット」)

バロック時代に実際に踊られていたメヌエットは、ステップのみのシンプルで簡単なダンスです。そのメヌエットを、楽曲に合わせて踊ってみることで、身体表現を通じて楽曲のイメージを捉え、バロック音楽の楽しさを体感していただけます。

・共演のコーナー

普段の音楽の授業などで取り扱われている楽曲を、ピアノ伴奏ではなく室内オーケストラの伴奏で歌って頂きます。具体的な演目については、事前にご希望をお伺いし、楽譜をお送りいただき、編曲致します。特にご希望のない場合はこちらから曲を提案させて頂いております。

	<p>選抜メンバーに体験していただく内容</p> <p>・ヴァイオリンの体験 (J.S.バッハ:ガヴョット ト長調) ヴァイオリンの弓で弦を振動させ、音を出してみるという体験となっております。一番低い弦の開放弦(左手の指で押さえない音)のみで演奏可能な曲を使用し、実際にアンサンブルに加わっていただきます。</p> <p>・指揮体験コーナー (G.F.ヘンデル:組曲 変ロ長調 HWV352 第3曲「アルマンド」) バロックの楽団を指揮するという体験をして頂きます。演目は短い二拍子の舞曲で、全曲を通して指揮していただきます。短いながらもフレーズの切り替わりや曲想の変化など、指揮者によって表現を変えられる部分があるので、指揮の難しさや楽しさを体感していただけます。</p> <p>また、上記 5 種のほかにも吹奏楽部や弦楽部などとの共演のご希望がある場合は対応いたします。</p>		
<p>出 演 者</p>	<p>指揮:高曲伸和 または パブロ・エスカンデ 独奏/リコーダー:村田佳生 歌と司会:中村朋子 または 渡辺有香 コンサートマスター:浅井咲乃</p> <p>テレマン室内オーケストラ 編成:Ob 2/Fg 1/Tp 2/Timp 1/Vnl 3/VnII 3/Va 2/Vc 2/Cb 1/Cem 1</p> <p>●上記以外の出演予定メンバー(下記のメンバーでローテーション) 三谷彩佳、姜隆光、鷺見敏、橋本将紀、小川奈菜、田畑佳子、山本綾、檜木花織、上川忠昭、若松芳、野田祐子、桑名美央、高田泰治、パブロ・エスカンデ、中田聖子、松本剛、中村希、淡島宏恵、福中明、中島真、黒岩洋輔、山下嘉範</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 21名 <u>スタッフ: 2名</u> 合計: 23名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 3 t 車長 4.7 m 台数 1 台</p>

【公演団体名 テレマン室内オーケストラ】

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	<p>前日仕込み(有・<input checked="" type="checkbox"/>) 会場設営の所要時間(時間程度)</p> <table border="1" data-bbox="389 936 1433 1055"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>午前 9 時</td> <td>午前 10 時～12 時</td> <td>午後 1 時～ 2 時 30 分</td> <td>10 分</td> <td>午後 2 時 30 分～3 時</td> <td>3 時 30 分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p>						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	午前 9 時	午前 10 時～12 時	午後 1 時～ 2 時 30 分	10 分	午後 2 時 30 分～3 時	3 時 30 分
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
午前 9 時	午前 10 時～12 時	午後 1 時～ 2 時 30 分	10 分	午後 2 時 30 分～3 時	3 時 30 分													
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	1～1000 人																
	本公演	1～1000 人																
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	<p>【内容】</p> <p>①観賞指導 最初に本公演でお聴きいただくバロック音楽の魅力やその概要を理解して頂くために、バロック音楽がクラシック音楽の中でどういったポジションを占めるのか、18世紀当時はどういったものであったかということ説明いたします。その際、同行しております楽器奏者(チェロ奏者など)から楽器についての説明もいたします。また、実際の演奏の様子を当団作成のDVDを使用しつつご紹介いたします。</p> <p>②ミニコンサート 歌手と楽器奏者によるミニコンサートを実施致します。</p> <p>③歌唱指導 共演予定の演目の歌唱指導をさせていただきます。この時に前奏・間奏・後奏の有無、繰り返しの有無などの他、事前に開催校から取り寄せた楽譜と実際の演奏における細かな差を記録し、後日編曲者に報告します。児童・生徒の皆様には「いつも通り」の伴奏が室内オーケストラ版になった状態で共演して頂くためです。</p> <p>④バロックダンス指導 本公演の体験プログラムで実施予定のバロックダンスについて、「メヌエット」のステップについてご説明し、楽器奏者のメヌエットの演奏に合わせてダンスの練習をいたします。</p> <p>【備考】 参加者の人数に応じて、体育館や音楽室を使用して実施いたします。また、ワークショップの内容に直接的には参加しませんが、本公演での共演をより円滑に進めるために、ワークショップの様子を観察・分析・記録をする補助者が一名参加します。また、その他の細かな状況については、補助者から事務局を経て、整理された情報が演奏者に伝えられます。</p>																	

<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>バロック音楽について何の予備知識もなく本公演を鑑賞すれば、「オーケストラが来てクラシック音楽を聴いた」という認識になってしまう可能性が高いため、バロック音楽がクラシック音楽の中でどのような位置を占めているのか、また、通常のオーケストラとバロックの楽団の違いについて最初に解説させて頂くようにしております。</p> <p>また、講義のみでは伝わらない音楽の魅力を、歌手と楽器奏者によるミニコンサートで体感していただきます。</p> <p>次に、本公演当日の共演コーナーで取り上げる合唱曲を指導させて頂きます。実力派のソプラノ歌手が直接指導させて頂くことで、本公演当日の共演をより円滑に進め、なおかつ演奏のクオリティを高めることで児童・生徒の皆様の共演に対する満足感を高めるためにこういった形態を取らせて頂きます。</p> <p>最後にバロックダンスについてご説明させて頂き、楽器奏者のメヌエットの演奏に合わせて少しダンスの練習をさせて頂きます。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>通常 1 回の休憩を複数回に増やすなど、それぞれの開催校の状況に適した形態をとります。</p> <p>前後に時間的制約がない場合は、時間を延長してゆっくりすすめることも想定しております。あくまでも開催校からの要望によりますが、曲目の一部変更なども可能です。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

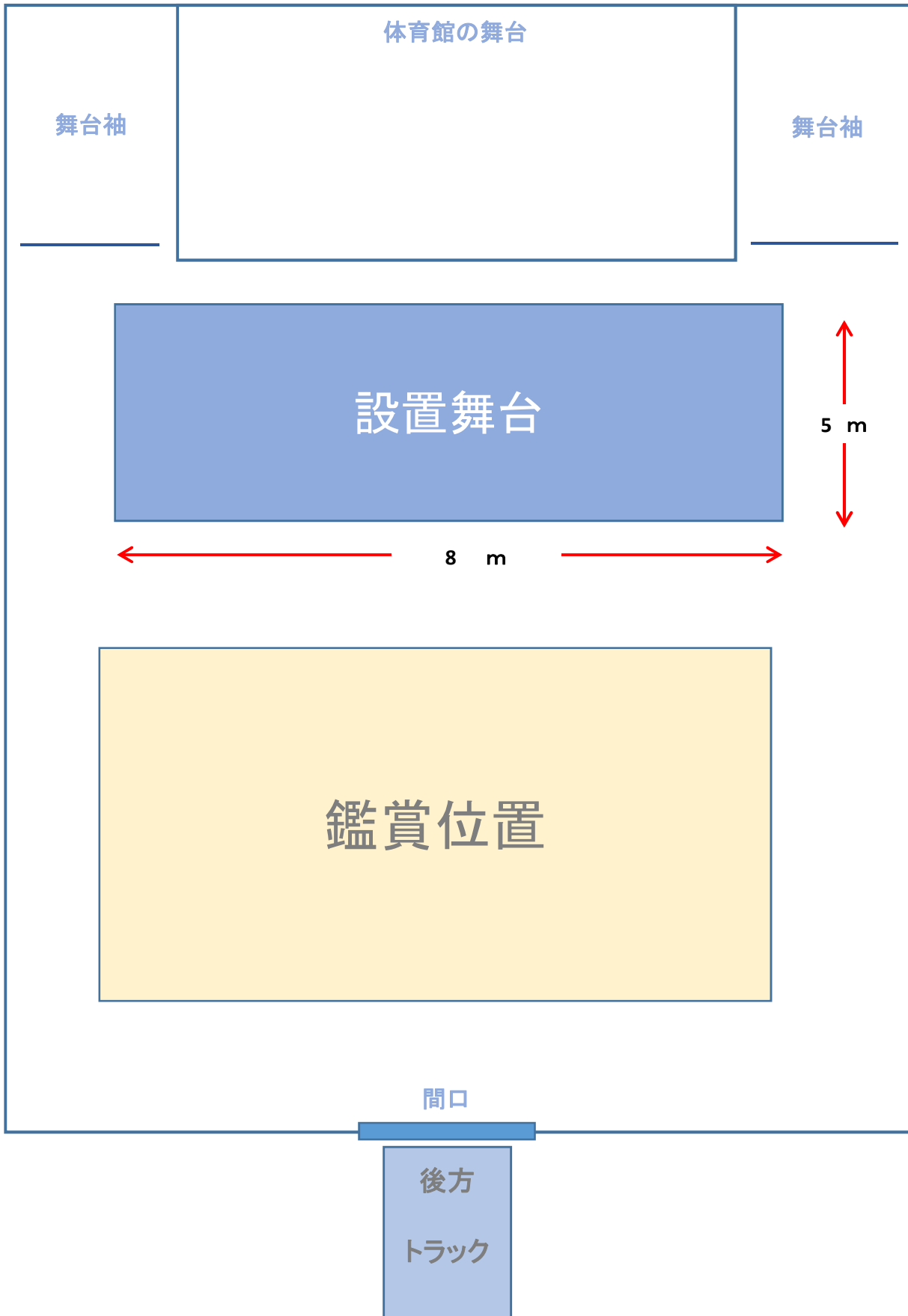
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	J109	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	J	区分	A区分
公演団体名	テレマン室内オーケストラ			制作団体名	一般社団法人 日本テレマン協会				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	可	必要数 *	2室	条件	カーテンがあり(着替え用のため)、施錠できる(貴重品を保管するため)部屋を希望します。							
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			中型バス	2台	バン	1台				
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			バン							
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要							
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない							
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> ・出来る限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。 							
		理由			チェンバロやティンパニといった、デリケートな大型楽器を搬入するため。							
	可	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可							
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m					
WSについて	可	参加可能人数			1人~1000人							
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし					
	可	所要時間の目安 単位:分			2校時(90分)程度							
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			1人~1000人							
	可	舞台設置場所 *			フロア							
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	8m	奥行	5m	高さ	指定なし			
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要				
	可				舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態				
	—				緞帳 *	不要	バトン *	不要				
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由						
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。						
	—			ピアノの事前調律 *	不要							
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可							
	—	公演に必要な電源容量			※主幹電源の必要容量							
	その他特記事項											
可	ピアノ用背付き高低椅子3脚											

会場図面(表記単位:メートル)

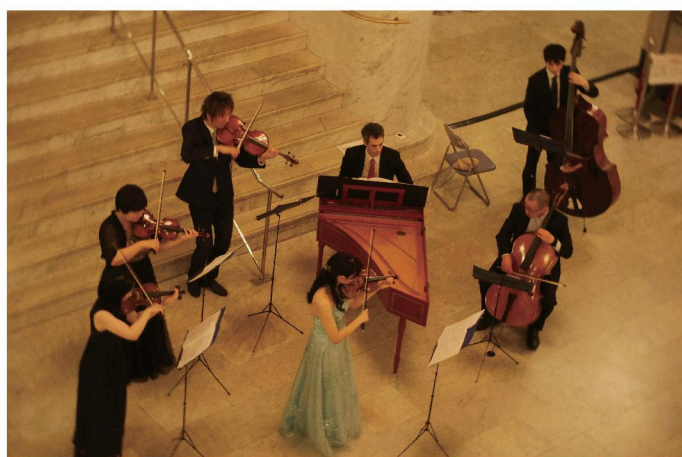


搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

テレマン室内オーケストラ

Telemann Chamber Orchestra



おんがく なに バロック音楽って何??

「クラシック音楽」と一口に言っても、実はその中には「バロック」や「古典派」、「ロマン派」など、いくつかの種類があります。

「バロック音楽」は1600年頃から1750年頃までの時代に作られた音楽のことです。日本で言うと江戸時代の少し前から中頃までにあたります。代表的な作曲家はJ.S.バッハ、G.F.ヘンデル、A.ヴィヴァルディ、G.Ph.テレマンなどです。

当時は今と違い、コンサート用のホールではなく、教会や貴族のお屋敷で演奏されていました。こういった時に演奏されたかということ、教会の儀式

の時、貴族のパーティーや食事時などです。バッハやヴィヴァルディの作った音楽は、当時の人々の生活とともに深い関わりのあるものでした。

バロック時代より前は声楽(歌)が

主流でしたが、この時代にヴァイオリンやチェンバロといったたくさんの楽器が発達し、そのおかげで協奏曲やソナタといった器楽曲がたくさん生まれました。



宮廷での演奏の様子

がっき 楽器について

ヴァイオリンやチェロといった弦楽器はバロック時代に発達しました。木で出来た胴体には弦が4本張ってあります。弓には馬の尻尾の毛が張ってあり、そこに松脂を塗って、弦をこすって音を出します。ヴァイオリンが一番高い音を、チェロやコントラ

バスは低い音を、そしてヴィオラはその間の音を担当します。胴体の大きさはヴァイオリンが一番小さく、音が低い楽器になるにつれて胴体が大きくなります。

右の写真はチェンバロです。ピアノの先祖にあたる楽器です。よく見る

と今のピアノの鍵盤とは白い部分と黒い部分が逆ですね。ピアノは弦をハンマーでたたいて音を出しますが、チェンバロは弦をはじいて音を出します。今のピアノと同じ原理で音を出す楽器が登場したのは、バロック時代が終わってからです。



ヴァイオリン属の楽器
(ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス)



チェンバロ



チェンバロの鍵盤

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, <u>音楽劇</u>
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	かぶしがいしゃ おふいすへんみくりえいていぶ		
制作団体名	株式会社オフィス・ヘンミ・クリエイティブ		
代表者職・氏名	代表取締役 中村和則		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒104-0045 東京都中央区築地 2-14-6 LXSビル 802 (最寄り駅 東京メトロ日比谷線)		
電話番号	03-6226-6195	FAX番号	03-6226-6196
ふりがな	とうきょうおべれったげきじょう		
公演団体名	東京オペレッタ劇場		
代表者職・氏名	角岳史		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒104-0045 東京都中央区築地 2-14-6 LXSビル 802 (最寄り駅 東京メトロ日比谷線)		
制作団体 設立年月	2012年4月		
制作団体 組織	役員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 中村和則		
事務体制の担当	専任・ <u>他の業務と兼任</u>	本事業担当者名	角岳史
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・無	経理責任者名	鈴木友子

制作団体沿革	<p>■設立 平成 24 年 4 月 5 日</p> <p>■設立経緯 1980 年、松下電器(現パナソニック)の宣伝部長であった逸見稔が退職して設立したのがオフィス・ヘンミです。テレビ会社や広告代理店などとの仕事を通じて数々のテレビ番組やコマーシャルを制作いたしました。 その制作部門を引き継ぐ形で新たに設立されたのが、オフィス・ヘンミ・クリエイティブ(OHC)です。オフィス・ヘンミの制作ポリシーを受け継ぎ、新しい時代に対応できる、クリエイティブ集団として、更なる発展を目指します。</p> <p>■主な事業内容 テレビ・ラジオ・CM・インターネット各種映像の企画／制作／販売 各種イベント・演劇・コンサートの企画／制作 音楽出版・音楽制作／販売</p>		
学校等における公演実績	<p>H27、H28、H29、H30 年度の当事業に採択され、全国各地の小中学校で公演を重ねた。この他、都内学校コンサートや小中学生を招待してのオペレッタ公演などなど実績あり。</p> <p>文化庁「本物の舞台芸術体験事業」に他団体にて過去 10 数年参加した経験者がスタッフやキャストに多数。</p> <p>オペレッタの地方公演では、地元の小学生や中学生などに舞台へ出演してもらうなどの企画にも積極的に取り組んでいる。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>当事業において令和元年度に実績あり。 また主だったスタッフ、キャスト他団体にて経験あるもの多数。 公演団体主宰者の角岳史は、難病の子供たちの施設などへの公演を行う「心魂プロジェクト」のメンバーとしても在籍。</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
申請する演目の DVD または WEB 公開資料		有 ・ 無	
※公開資料有の場合 URL			
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:		
A の提出が困難な場合		今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
	※公開資料有の場合 URL		
	※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京オペレッタ劇場】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生			
企画名	オペレッタ『小鳥売り』			
本公演演目	『小鳥売り』			
原作/作曲	作曲 カール・ツェラー			
脚本	原台本 モーリッツ・ヴェスト、ルードヴィヒ・ヘルト			
演出/振付	訳詞/日本語台本 角 岳史			
	演出 角 岳史			
	公演時間(90 分)			
著作権	制作団体が所有	<input type="radio"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる	<input type="radio"/> (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>ライン川のほとりの森にある村には、郵便配達員のクリステルと、チロルの山に住んでいる小鳥売りのアダム。アダムはクリステルに会うたびに一緒になろうと云うけれど、彼の稼ぎでは結婚なんて夢のまた夢……。なんとかアダムにお給料のいい仕事についてもらおうと奔走します。</p> <p>私腹を肥やそうとするヴェプス男爵は、甥のスタニスラウス伯爵と二人でなにやら企んでいます。森で偶然クリステルと出会います。一方アダムは、女官長のアデライーデをとめないお忍びでやってきたご領主さまの妻マリーと意気投合するのですが……。</p> <p>勘違いが生んだすれ違い。果たして二人は幸せになれるのか!?</p>			
演目選択理由	<p>ドイツ語圏では親子で親しまれている、人気のオペレッタ。内容的にも低学年から高学年までいろいろな鑑賞の仕方が期待できます。</p> <p>わかりやすい日本語のセリフと歌で演じるので、誰でも自然に楽しめます。</p> <p>吹奏楽でも『小鳥売り』は有名で、演奏したことのある子供たちも少なくありません。</p> <p>「自分の気持ちをきちんと伝えることの大事さ」をメインテーマに、心温まる物語を楽しい音楽で味わうことができます。</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>【一緒に歌おう】 劇中の音楽の一部を歌って参加。学校の状況によって、学校全体での参加、合唱部としての参加、学年での参加などヴァリエーションに応じます。</p> <p>【一緒に作ろう】 劇中の大道具(舞台装置)の一部を、段ボール、竹などを使って作ります。学校全体での参加、美術部としての参加などは相談の上決定します。</p>			
出演者	<p>【予定される出演者】</p> <p>里中トココ(ソプラノ)、高田正人(テノール)、三宅理恵(ソプラノ)、小栗純一(バリトン)、小貫岩夫(テノール)、針生美智子(ソプラノ)</p> <p>角岳史(指揮者)</p>			
公演出演予定者数(1公演あたり)	出演者: 10名	機材等 運搬方法	積載量	4t
	スタッフ: 14名		車長	8m
	合計: 24名		台数	1台

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時 間(タイムスケジ ュール)の目安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(4 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休 憩	撤去	退出
	08:00	08:00～12:30	13:30～15:10	10分	15:10～ 17:00	17:00
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児 童 ・ 生 徒 の 参 加 可 能 人 数	ワークショップ	体育館で参加できると学校が判断した人数				
	本公演	体育館で参加できると学校が判断した人数				
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	ワークショップ「のぞいてみよう『小鳥売り』の世界」(40分)+説明会(40分) 【対象】公演を鑑賞する全校児童・生徒 【派遣メンバー】指揮者1名、歌手1名、ピアニスト1名、ほか舞台スタッフ1名 【内容】有名な曲や誰もが知っているオペラアリアを目の前で披露。『小鳥売り』を 楽しむためのお話、歌手や指揮者による歌唱指導、舞台についての説明など。					
ワークショップ 実施形態の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・「お腹から声を出す」とはどういうことか、歌やセリフの実演を通して学んでもらいます。 ・オペラは堅苦しくない！初めてナマの舞台に接する子どもたちに、舞台の楽しみ方のヒントを与え、秋に行われる公演へ積極的に「参加する」意識を持たせます。 ・大道具製作や歌唱参加の児童・生徒、または担当の先生方と顔を合わせて打ち合わせを持つことで、公演実施への不安を最大限に取り除きます。 					
特別支援学校での 実施における工夫 点	<ul style="list-style-type: none"> ☆90分の鑑賞が難しく短い時間での上演を希望される場合には、短縮バージョンでの上演も可能です。 ☆音楽中心の簡易バージョンでの上演もご相談により可能です。 ☆より鑑賞しやすい距離での舞台設置が可能です。 					
実 施 可 能 時 期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

H31年度巡回公演東京オペレッタ劇場『小鳥売り』

出演予定者メンバー表

【出演者】

役名	出演者名	依頼状況
アダム	高田正人	公演時期を伝えたくて出演意思を確認済
クリステル	三宅理恵	公演時期を伝えたくて出演意思を確認済
マリー	里中トヨコ	公演時期を伝えたくて出演意思を確認済
スタニスラウス	小貫岩夫	公演時期を伝えたくて出演意思を確認済
ヴェプス	小栗純一	公演時期を伝えたくて出演意思を確認済
アデライーデ	針生美智子	公演時期を伝えたくて出演意思を確認済

【演奏者】

担当	出演者名	依頼状況
ヴァイオリン	内藤歌子	公演時期を伝えたくて出演意思を確認済
チェロ	谷口賢記	公演時期を伝えたくて出演意思を確認済
ピアノ	野間美希	公演時期を伝えたくて出演意思を確認済
指揮者	角岳史	公演時期を伝えたくて出演意思を確認済

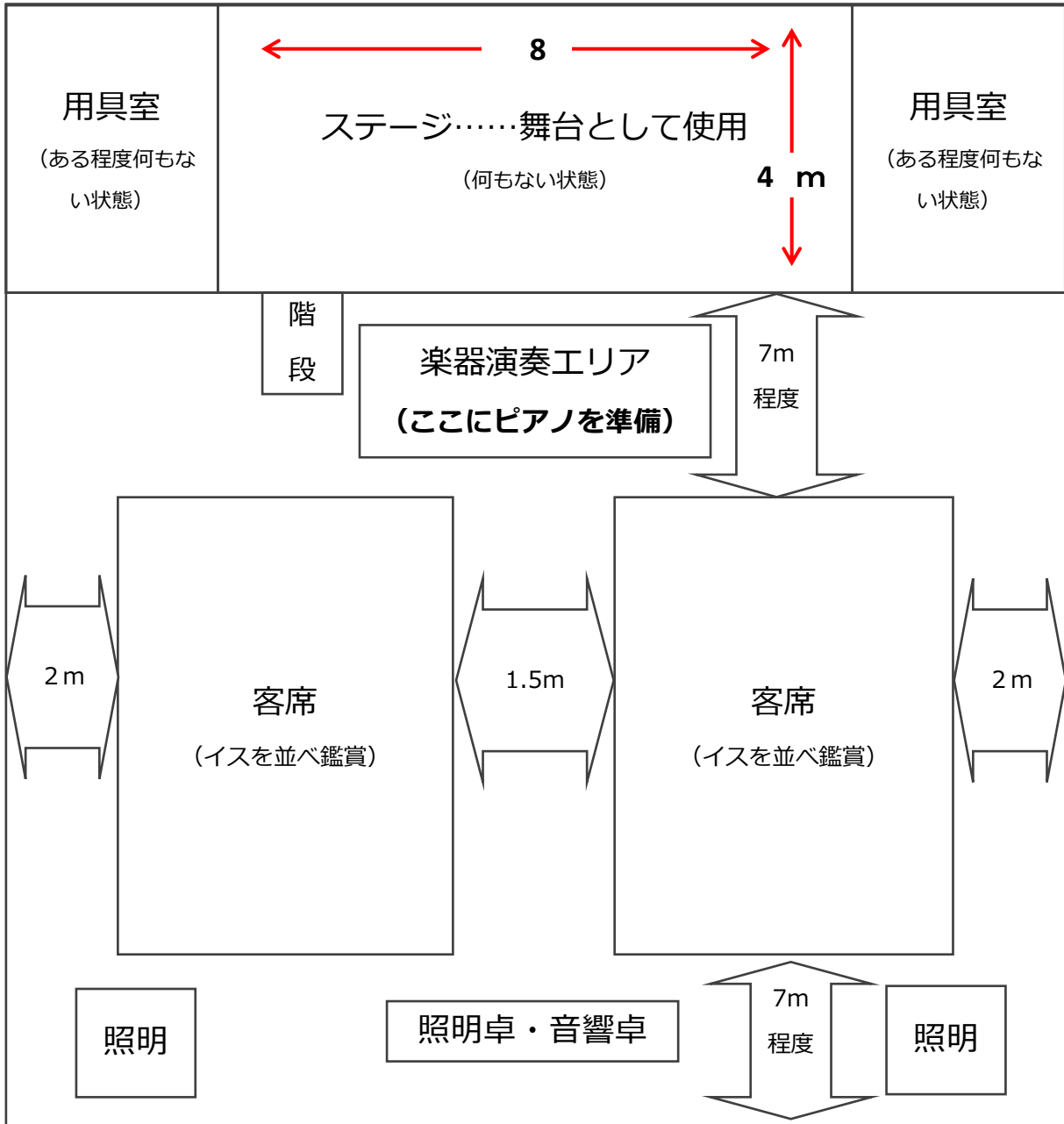
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	J110	分野	音楽	種目	音楽劇	ブロック	J	区分	A区分
公演団体名	東京オペレッタ劇場			制作団体名	株式会社 オフィス・ヘンミ・クリエイティブ				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	2室	条件	体育館に移動の容易な部屋を希望します。					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4トラック	1台	大型バス			1台
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4トラック					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内					
	可	搬入経路の最低条件			☆階段などがないことが望ましいですが、やむを得ない場合はお手伝いを頂くことで可能です。					
		理由			舞台セット、機材の搬入のため					
	可	設置階の制限 *			2F以上でも搬入出のお手伝いがあれば可能です。					
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	1.8m			
WSIについて	可	参加可能人数			全校児童・生徒で問題なし					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			40分					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			別紙使用形態に問題がない範囲で800人程度まで可能です					
	可	舞台設置場所 *			体育館のステージ上					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	8m	奥行	4m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要		
	可				舞台袖スペースの条件 *			ある程度のスペース確保が必要		
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要	
	可				遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	照明機材を使用するために、ある程度の遮光が必要です。
	不可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動(難しい場合は応相談)	要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	不可			ピアノの事前調律 *		要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	不可	公演に必要な電源容量			80A	※主幹電源の必要容量 ※校舎から引き込み、電源車で補足対応も可。				
	その他特記事項									
可	ツアー初日に当たる学校には、前日仕込みをさせて頂けないかご相談する場合があります。									
可	ステージの奥行きが足りない場合は、ご相談のうえでユニットで拡張して補うことも可能です。									
可	ピアノのステージ下への移動が難しい場合は、ご相談に応じます。									

会場図面(表記単位:メートル)



4トントラック
(L=8620 W=2260 H=3200)

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

オペレッタ『小鳥売り』

作曲 カール・ツェラー
 原台本 M.ヴェスト、L.ヘルト
 訳詞/日本語台本 角岳史
 演出 角岳史



ライン川のほとりの森にある村に住んでいる郵便配達員のクリステルと、チロルの山に住んでいる小鳥売りのアダム。アダムはクリステルに会うたびに結婚しようとするけれど、彼の稼ぎでは夢のまた夢……なんとかアダムにお給料のいい仕事についてもらおうとクリステルは奔走します。

森で私腹を肥やそうとするヴェプス男爵は、甥のスタニスラウス伯爵と二人でなにやら企んでいます。森で偶然クリステルと出会います。一方アダムは、女官長のアデライーデをとめないお忍びでやってきたご領主さまの妻マリーと意気投合するのですが……

勘違いが生んだすれ違い。果たして二人は幸せになれるのか！？



自分の気持ちを伝えることの

むずかしさと大切さを教えてくれる

こころあたたまるものがたり

ワークショップ

第一線で活躍するオペラ歌手の歌や、指揮者の楽しいお話を通して、人間の生の声の魅力に触れてもらいます。どこかで聞いたことがあるオペラアリアや、誰もが知っている話題の曲など、楽しいコンサートプログラム。アドバイスをもらいながら、声を出すとはどういうことかみんなでお考えます。



本公演

本番直前のこどもたちも参加してのオリエンテーションとリハーサルをへて、いよいよオペレッタ『小鳥売り』の開幕です。個性豊かなアーティストが作りあげるエンターテインメント！

こどもたちも合唱を歌ったり、舞台セットの一部をつくったりと舞台に参加をします。



東京オペレッタ劇場のつくるオペレッタは……

♪歌もセリフもすべて日本語で歌い演じられるので、初めてのお客様でも理屈抜きに楽しむことができます。

♪名作オペレッタを、現代に生きるエンターテインメントとして、台本、演出に工夫を凝らしています。

♪子供から大人まで、幅広いお客様に楽しんで頂ける内容なので、小学生低学年から中学生まで、それぞれの年齢に合った鑑賞が望めます。

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

①公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能

(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能

(3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能

(4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	きぎょうくみあいげきだんかぜのこきゅうしゅう 企業組合劇団風の子九州		
代表者職・氏名	代表理事 仮屋 祐一		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒814-0002 福岡県福岡市早良区西新5丁目5-13 (最寄り駅・・・福岡市営地下鉄空港線 西新駅)		
電話番号	092-841-7889	FAX番号	092-841-7896
ふりがな 公演団体名	げきだんかぜのこきゅうしゅう 劇団風の子九州		
代表者職・氏名	代表 仮屋 祐一		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒814-0002 福岡県福岡市早良区西新5丁目5-13 (最寄り駅・・・福岡市営地下鉄空港線 西新駅)		
制作団体 設立年月	1985年4月		
制作団体 組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表理事	仮屋祐一	【創造部・・・15名】 浅野由美子、川島二郎、中寫 司、小池勇治、玉木聡美、 岩永ひろこ、井上真利、小山 隼、山口咲希、高山洋輝、 浦 美佳、寺崎花絵、稲永清音、寺尾実里、赤瀬美桜 【企画経営部・・・6名】 仮屋祐一、鈴木恵美、矢野ひとみ、上村 洋、田川智士、 村垣洋子 加入条件等・・・18歳以上の健康な人 (面接・オーディションあり)
理事	浅野由美子		
理事	川島二郎		
理事	中寫 司		
監事	矢野ひとみ		

事務体制の担当	専任 ・ 他の業務と兼任		本事業担当者名	仮屋 祐一
経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無		経理責任者名	鈴木 恵美
制作団体沿革	<p>企業組合劇団風の子九州は、1985 年東京の劇団風の子から運営独立し「劇団風の子九州班」として福岡市に創立され、その後 1993 年に法人独立し現在に至る。 児童・青少年演劇の制作と上演・普及活動を行っている。</p>			
学校等における 公演実績	<p>【2018 年度公演実績】 小学校公演：5作品149日 185ステージ 幼稚園・保育園公演：8作品130日 140ステージ 子ども劇場公演：8作品46日 51ステージ その他(行政、学童保育、児童館、自主公演等)：12作品118日 124ステージ 計 500ステージ</p>			
特別支援学校に おける公演実績	<p>【福岡県】福岡中央特別支援学校、南福岡特別支援学校、福岡県立特別支援学校北九州高等学園、嘉穂特別支援学校、 【長崎県】鶴南特別支援学校、大村特別支援学校 【宮崎県】みなみのかぜ支援学校、赤江まつばら支援学校、清武せいりゅう特別支援学校、くろしお支援学校、児湯るびなす支援学校、みやざき中央支援学校 【長崎県】川棚特別支援学校、希望ヶ丘高校特別支援学校、諫早東特別支援学校、諫早特別支援学校、島原特別支援学校、大村特別支援学校、鶴南特別支援学校 【沖縄県】島尻特別支援学校、宮古特別支援学校 ほか公演実績多数 【福島県】大笹生支援学校</p> <p>ほか公演実績多数</p>			
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無	
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無	
		※公開資料有の場合 URL	DVDを提出します。	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: なし PW: なし	
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無	
		※公開資料有の場合 URL		
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団風の子九州】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生		
企画名	空想力は生きる力!「このゆびと〜まれ!」公演		
本公演演目	このゆびと〜まれ!		
原作/作曲	作・演出/あさのゆみこ 音楽・効果/曲尾友克		
脚本	美術/山本佐助、小峯三奈		
演出/振付	公演時間(75 分)		
著作権	-	制作団体が所有	○ 制作団体以外が所有する事項が含まれる
			有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>劇団風の子九州の作品制作は、企画の段階では原作物の案も出てはくるのですが、今を生きる等身大の子供が主人公として活躍する作品のほうが、劇団の制作姿勢が伝えられると最終的には <u>オリジナル作品</u> に落ち着きます。今作も劇団員全員で子供を取り巻く状況を出し合い、背景を探り、登場人物を出し合いました。その後、脚本家を中心とした台本プロジェクトに託し、現場の先生方や今作の主人公と同じ <u>小4の子供たちへインタビュー</u> をして出来上がった台本です。</p> <p>また公演現場では、オリジナル作品ということで子供たちや先生方が作品展開を読めず最後までストーリーに集中していて、わたしたちのモットーとするワクワドキドキの世界を共感してもらっています。</p> <p>舞台転換も見ものです。中央に直径5m(60cm高)の <u>廻り舞台</u> を設置し、三面の舞台が場面毎にクルクル回転します。また大海原の場面では廻り舞台が三つに分割され、それぞれ独立して動き出し、あつという間に大海原に浮かぶ <u>大海賊船が登場</u> します。目の前のスペクタクルな光景に子供たちは圧倒され、どよめきの声を発します。</p> <p>(あらすじ)</p> <p>ヒロは小学4年生。空想遊び(ごっこあそび)の天才、いつも色々な人物になりきっています。そのためクラスではちょっと浮いた存在。父親は長期入院中で母親は入院費を稼ぐために残業も多く、ヒロは近所の駄菓子屋のばあちゃん(スエコ)や大工のじいちゃん(銀蔵)に面倒をみてもらっています。ヒロの日課はスエコの飼犬の鉄(テツ)の散歩に出かけること。その散歩はヒロの大好きな空想の時間。あるときは洞窟探検のヒロ隊長、またあるときは大海賊キャプテンヒロに大変身。</p> <p>ある日、クラスで起きた事件をきっかけに、ヒロはクラスで一番頭のいいマモルを空想の世界へ誘います。喜ぶヒロですがマモルは戸惑います。さあこの二人、空想の世界でどうなっちゃうの!?</p> <p>子供たちの本来持っている空想する力にエールを送る作品です。</p> <p>*平成27年度文化庁・文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)助成作品 *平成30年度文化芸術による子供の育成事業-巡回公演-採択作品 *令和元年度文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演-採択作品 *社会保障審議会推薦児童福祉文化財(舞台芸術)</p>		

<p>演目選択理由</p>	<p>子供たちは、空想の世界を遊ぶことや、冒険が大好きです。かつて、子供たちは、暗くなるまで野山をかけめぐり、飽きるまで友達と遊んだものです。かたわらには子供たちを、優しく見守り、声をかけてくれた大人たちもたくさんいました。しかし、<u>現代社会の急激な変化は、様々な形で子供たちの育ちに大きな影響を及ぼしています</u>。子供時代の空想力は将来の専門的な教育を受けるときの強力な推進力になります。しかし今の時代、それを醸成するはずの三間(時間、空間、仲間)はますます奪われ、また大人たちも忙しく、<u>他人の事に無関心にならざるを得ない状況になっているのではないのでしょうか。</u></p> <p>今作の主人公の一人「マモル」には、裕福な家庭ではありながら、大なり小なり色々なプレッシャーを受け、子供の本来持つ感性を萎縮させざるえない現代の子供像を投影しています。一方「ヒロ」は決して裕福な家庭環境ではないが、地域の住人に支えられ子供の感性を謳歌している空想の天才。</p> <p>この二人の交流を軸に、劇中劇のような『空想の世界』を随所に織り交ぜ、現代社会が失いつつある家族愛や、人情、友情を描きました。<u>ある先生からは「公立小学校には複雑な家庭環境の子どもたちも通い、地域性も様々だが、この作品は、笑いの壺が随所に散りばめられていて、クラスの子供たちが分け隔てなく笑いながら、最後は主人公たちに共感している。」という声をいただきました。</u>子供たちにとってとても心に残る作品ですので、舞台芸術の登竜門として芸術鑑賞能力の向上につながる演目になると自負しています。</p> <p>◎ 子供たちに、目の前で繰り広げられるスペクタクルな舞台にワクワクしてもらい、<u>想像力・発想力を高めてもらいたい</u>と考えます。また、主人公たちと一緒に空想の世界をおもいっきり遊び、明日への希望に胸を膨らませられる演目なので、教室や自宅に帰ってから、クラスの友達や先生・保護者らと芝居の話で盛り上がり、<u>コミュニケーション能力の育成に役立ちます。</u></p> <p>◎ 一緒に観劇してもらい、<u>大人たち(先生、保護者等)には、子供時代を思い起こしていただき、現代の厳しい状況に追い込まれている子供たちを認識し、共感してもらい、もっと寄り添っていただきたい</u>との思いを込めています。</p> <p>◎ 戦後72年を経た今、こどもたちに<u>平和の尊さを伝える</u>べく、劇中に戦時中の子供たちの生活のエピソードを描いています。日頃の食料が乏しかった時代を想像してもらうことにより、飽食の時代を生きる子どもたちに <u>食べ物を粗末にしてほしくない</u>という思いを伝えたいと考えます。</p> <p>◎ 子どもたちの出演場面は、<u>演劇は表現あそびの延長</u> であるという視点で、なるべくプレッシャーを与えない楽しい動きや歌・ダンスの場面にしています。ラストに客席から海賊船の前に登場した子どもたちが生き生きと歌って踊るシーンは、観客側の子どもたち、先生・親御さんたちにも、<u>子どもたちの前途洋々の未来を感じてもらえます。</u></p> <p>*29年度のフィードバックシートには、児童・先生・保護者の皆さんにとっても喜んでもらっている感想がつづられていました。来年度も舞台芸術に興味を持っていただけるよう、引き続き多くの子供たちに届けたい演目です。</p>
---------------	--

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態

① オープニング

プロローグのヒロの空想の場面。映画「インディージョーンズ」風に洞窟の中で敵に追われているヒロと鉄(人間)にまわりつく、コウモリをクロスと一緒に演じてもらいます。先端にコウモリの付いた針金を持ち演じます。せりふはないが、緊張感の必要な場面。でも「だるまさんがころんだ」のような 緊張と緩和のあそび感満載の表現 です。ただしお客さんに「この場面をちゃんと伝える。」ということ意識して演じるという事も指導します。コウモリは手作りでも良いし、劇団でも用意できます。出演者上限6名。



*やる気マンマンの子どもたち



*コスチュームにもこだわりました。

② エンディング

子どもたちと出演者でテーマソング「このゆびと〜まれ！」の歌をうたいながら踊ってもらいます。ドラマ観劇後の昂揚感にふさわしい楽しく元気な歌と踊り です。可能であれば、各自海賊の衣装や帽子を製作し着けてもらいます。出演者上限 40 名



*やり切った記念撮影！

出演者

山本佐助、玉木聡美、おやまじゅん、岩永ひろこ、寺崎花絵、稲永清音、赤瀬美桜

公演出演予定者数
(1公演あたり)

出演者: 7名
スタッフ: 1名
合計: 8名

機材等
運搬方法

・マイクロバス 車長 7m
・ワゴン車 車長 5、4m
台数 2台

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	<p>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(3 時間程度)</p> <table border="1" data-bbox="389 703 1406 824"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>リハーサル</th> <th>本公演</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8:30</td> <td>8:30～11:00</td> <td>11:30～12:15 (午前 4 時限目)</td> <td>13:30～15:15 (午後 5,6 時限目)</td> <td>15:30～17:30</td> <td>17:30</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>*4時限目に出演する子どもたちとのリハーサルが入ります。 ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。 *午前公演(前後の日程により可能)の場合は、前日3時間程度の仕込、当日は、1時限目リハーサル、3,4時限目本番、15:00 搬出完了</p>						到着	仕込み	リハーサル	本公演	撤去	退出	8:30	8:30～11:00	11:30～12:15 (午前 4 時限目)	13:30～15:15 (午後 5,6 時限目)	15:30～17:30	17:30
到着	仕込み	リハーサル	本公演	撤去	退出													
8:30	8:30～11:00	11:30～12:15 (午前 4 時限目)	13:30～15:15 (午後 5,6 時限目)	15:30～17:30	17:30													
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	～40名																
	本公演	～500名																
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>① 劇団側の自己紹介をします。</p> <p>② 子供たちの緊張感をほぐすために、<u>アイスブレイク</u>的なゲームをします。</p> <p>③ おおまかなストーリーを <u>紙芝居</u> 形式で伝えます。</p> <p>④ <u>オープニングチーム</u> と <u>エンディングチーム</u> に分かれます。 ☆ オープニングチーム、こうもりの登場シーンは舞台空間の実寸に合わせて練習します。効果音に合わせて主人公にゆっくり近づくシーン、あわてて逃げるシーン、からかうシーンなどを練習します。 ☆ エンディングの歌は、事前に郵送する楽譜やCDで音楽の時間や給食時の校内放送などで覚えてもらい、当日は踊りを中心に練習します。</p> <p>⑤ こうもりや海賊の帽子の作り方のヒントを指導します。</p> <p>⑥ 最後に、お互いのチームの練習の成果を見合います。本番に向けて良きライバルとしてスイッチが入るようです。</p> <p>*短い時間なので、出演する子供達が本番で表現する事を楽しみに迎えることが出来るようなワークショップを心がけます。</p>																	

<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>子供たちは思春期の入り口にさしかかる頃、自我の目覚めと共に他者からの目を意識し始めます。そのことにより人前に立つ、または人前でしゃべる、ましてや人前で演じるということに相当な <u>プレッシャーを感じる子ども</u> もいます。そこで、演劇とは「ごっこ遊び」や「まねっこあそび」の延長であり、今回の舞台表現は「<u>遊びとして楽しんで演じてほしい。</u>」と伝えるためのワークを心がけます。</p> <p>☆ こうもりチームは上手(かみて)チーム、下手(しもて)チームに分かれ、リーダーの俳優を中心に演技を創っていきます。息のあった表現を追及してもらい、<u>協調性</u>を高めてもらいたいと考えます。</p> <p>☆ ダンスチームは歌詞に沿って覚え易い、当て振りの振付を練習し、みんなで思いやり <u>表現する楽しみ</u> を体験してもらいます。</p> <p>☆ 発表の時間は他のグループの表現をお互い見合い、自分たちの表現の振り返りをしてもらい、「<u>観客に伝える表現</u>」というものを再度意識してもらいます。このことにより友達の違った一面を感じ、自分の新たな可能性を発見してもらい、自他共に認め合う事で <u>コミュニケーション能力の育成</u> を図りたいと考えます。</p> <p>*29年度のフィードバックシートのある学校の意見に「3クラスの内、1クラスしか参加できなかったのも他の2クラスの児童のクラスの気持ちはどうだっただろう。」とおもんぼかっの記述があったので、希望があれば担当先生方とよく相談して、<u>ワークは全学年、出演は1クラスでの方向</u>に改善したいと考えます。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>二回の体験場面は原則として実施できるように工夫しますが、各校、各子どもたちにより被支援の状況が異なるので先生方と綿密な打ち合わせを行い、<u>表現方法の可能性を探っていきます。</u>例としては、全員で鳴り物を持ってリズムをとりながら歌い、先生方が車椅子に一人ずつ付いての車椅子ダンスを披露したこともあります。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

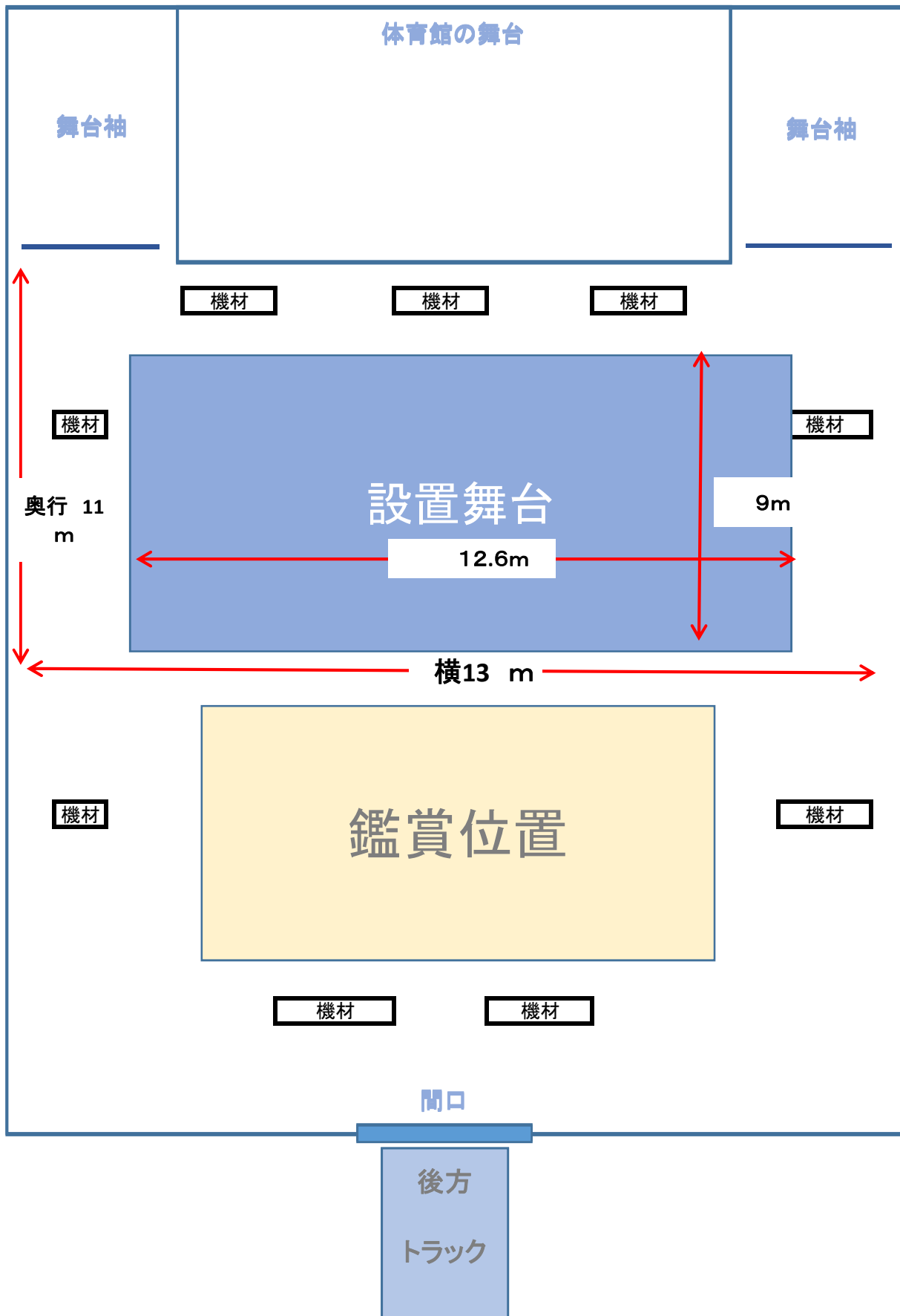
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	J111	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	J	区分	A区分
公演団体名	劇団風の子九州				制作団体名	企業組合 劇団風の子九州			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件	体育館ステージを控室として使用できない場合に1室必要。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			マイクロバス 1台	ワゴン車 1台			
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			マイクロバス(長さ6.99、幅2.08、高さ2.63)m、バン(ワゴン車)(長さ4.69、幅1.69、高さ1.98)m				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				
	可	搬入経路の最低条件			・雨の場合、道具が濡れない経路が望ましい。				
		理由			音響器材、照明機材、大道具等がある為。				
	可	設置階の制限 *			問わないが、1階が望ましい。				
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	1.8m		
WSについて	可	参加可能人数			40名程度まで				
	可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *	小学校4年生		
	可	所要時間の目安 単位:分			85分程度(途中休憩あり)				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			500名程度まで(上回る場合要相談)				
	不可	舞台設置場所 *			フロアに設置				
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	13m	奥行	11m	高さ	5m
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要		
	可				舞台袖スペースの条件 *		着替えられるスペースがあればよし		
	可				緞帳 *	要(下がらない場合は、控室として1部屋必要です)		バトン *	不要
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	完全遮光でなくても公演可能。一部分でも構いません。要相談。		
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	可			ピアノの事前調律 *		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			60A		※主幹電源の必要容量		
その他特記事項									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	問わない			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

このゆび
と〜まれ!

〜あらすじ〜

ヒロは、小学校4年生。仕事で帰りの遅いお母さんに代わって、近所のばあちゃんやじいちゃんに面倒をみてもらっています。ヒロの日課は、ばあちゃんの飼っている犬の散歩に出かけること。その散歩はヒロの大切な時間でした。そう、ヒロの大好きな空想の世界。あるときは洞窟探検、またあるときはヒーローヒロに大変身!

ある日、クラスで一番頭のいいマモルの様子がおかしいと思ったヒロは、マモルを空想の世界に誘います。喜ぶヒロに戸惑うマモル。さあこの二人、空想の世界でどうなっちゃうの?



あれ? マモル
どうしたのかな?

僕のくつは
汚れない...



みんなと
遊んだこと
ないから
わかんない...

何して遊ぶ?



台本ができるまで

今回、台本を書くにあたり小学校の先生方と、お芝居の主人公に近い年齢の男の子たちにインタビューをさせていただきました。先生方には、今回のテーマである学校で感じる格差のお話や、押しつぶされそうな現実に、一生懸命前を向いて歩こうとしている子どもたちのことなど聞かせていただきました。

子どもたちのインタビューはとても楽しいものでした。印象的だった事は、「もし、お母さんが悪役のボスだったら?」と質問したところ、3人そろって体をのけぞらせ、小さめの声で「えっ!」そしてあきらかに動揺し始めたのです。うれしそうに、これには大笑い。しかし、この後がすごい。「いや、でも、お母さんは僕のために怒ってくれたりするから」と、お母さんをかばい始めたのです。またまた、大笑い。両親との関係、とくに母親の存在の大きさが感じられました。小学4年生でこんなに考え、わかっているのだと本当に驚かされました。

こうしてたくさんの情報やアイデアをいただき、「このゆびと〜まれ!」を書き上げることができました。ご協力いただいた先生、子どもたち、本当にありがとうございました。

作・演出 あさのゆみこ

スエ子の
駄菓子屋は
いつもにぎやか
♪♪♪



子どもたちの遊びの中にわきおこる想像力 それはまさに生きる力!



あっ! あれは、
コンドルン!?

ナ、ナンダ...!
あの怪物は~!!



みつけた! ほくの空想珠!

上演にあたって

子どもたちは、空想の世界を遊ぶことや、冒険が大好きです! 時には空を飛んだり、悪者を倒すヒーローになったり、お姫様になったり、海を自由に航海したり...

子どもたちのイマジネーションは無限です。かつて私たち大人が子どもだった頃と同じように...

子どもたちは、現実と空想を行ったり来たりしながらゆくりと成長していきます。友達と空想をめぐらしながら遊び、より楽しく遊ぶためにルールを作りながら相手とのコミュニケーションを一生懸命計ろうとします。その事は、自分を知り、他人を理解する事にもつながり、人間形成の上でも大きな影響をもたらしていくのだと思います。しかし、現代の子どもたちにおいて、想像や空想をめぐらす空間やその時間に没入する機会は、どれだけ保障されているのでしょうか?

このお芝居は、主人公ヒロの空想力が大活躍します。観ている子どもたちも主人公と一緒に空想の世界を思いっきり遊び、明日への希望に胸を膨らませてもらえたらと思います。

PVはこちらから!



■表紙の絵 よしなが こうたく

福岡在住の絵本作家。代表作に『給食番長』(好学社)、『はくだってウルトラマン』(講談社)などがある。

劇団に届いた子どもたち・先生からの感想

子どもたち

- ・ヒロのあそんでいるところがたのしそうでした。わたしもヒロとあそびたいとおもいました。わたしもうそうだまがほしいとおもいました。(1年 女子)
- ・こんなおもしろかったとはおもいませんでした。ついむ中になってしまって体そうずわりがくずれておかあさんずわりになってしまって先生に注意されました。(2年 男子)
- ・ぼくは、すごく鉄がかわいかったと思います。ぼくはあの場面がかわるのが好きです。そうそうのせいかはすごくおもしろかったです。まさかあのくそう玉がどろだんごだなんてしりませんでした。(3年 男子)
- ・おもしろかった場面は、いくつかあります。それは、みなさんが何かを言ったり、空想玉をとりにいったり、ひろの家でこけたりする場面がおもしろかったです。戦争の話が変わったとき、「戦争はぜったいしたくない、食べ物はそまつにしたらいけない」と思いました。(5年 女子)
- ・修学旅行準備中で少しつかれているけれどそのつかれがふきとぶくらの楽しい思い出となりました。一度入ったらもう抜けられないような劇の世界観がすごくおもしろくて、笑いすぎて、前の席にすわっていた5年生に「もう少し静かにして」と注意を受けたくらい腹をかかえて笑いました。(6年 男子)
- ・私が一番おもしろいな~と思ったのは、ヒロの性格です。たくさん笑っていたり、自分の世界にどんどん入っていきたりするのは、すごくおもしろかったです。犬の鉄も、リアルでかわいかったです。ステージがどくとくで、次から次へと本のページをめくるように変わっていくのが見ていてびっくりしました。(6年 女子)

先生

- ・事前にリーフレットやDVDは、いただいておりますが、やはり「百聞は一見にしかず」で、作品の魅力は、ストーリー、演じる方のパワー、舞台の設定、場面移動へのどれもこれもこれが全校児童と職員を惹きつけるものでした。終了後、子どもたちから「めちゃくちゃ楽しかった」と声をかけられました。
- ・子どもの心理をつかまれ、楽しく面白く想像力豊かな物語でした。特に、海賊ごっこでまもるが変わっていく姿、その影響を与えるヒロのつながりがよかったし、お母さんがたをも変えていく強い心をもつようになったまもるに、未来を感じました。
- ・舞台装置の転換・笑いの要素・感動のシーン・心に訴える効果など、本当に魅力溢れる舞台でした。最高でした!

子どものいるところどこへでもとんでいく

おかげさまで
2015年 4月
30周年を
むかえました!!



KazenokoBus™

劇団紹介

劇団風の子九州は、1985年劇団風の子より独立して誕生した、九州の福岡に本拠地を置く児童青少年演劇の専門職業劇団です。“子どものいるところ、どこへでもとんでいく”を合言葉に、九州・沖縄各地の街中や山間部の集落、点在する離島を駆け回ってきました。

90年からは国内だけでなく、韓国・中国・インドネシア・パキスタン・インド・オーストラリアなど、アジアを中心に海外公演にも出かけ、多くの人たちとの交流を深めています。

2002年からは、韓国の劇団サダリとの合同公演「マンナム」を創り上演してきました。アシテジ（国際児童青少年演劇協会）の国際フェスティバルinソウルでは日本代表としても参加しました。

2015年には、劇団創立30周年を迎えることができました。これからも地域で、“子どもたちと共に未来を創る劇団”として、従来の演劇様式にこだわらず、遊びや日常生活の中から、新しい創造と表現の世界を追求し広げていきたいと思っています。

◆日本児童・青少年演劇劇団協同組合加盟 ◆全国児童・青少年演劇協議会加盟 ◆アシテジ（国際児童青少年演劇協会）加盟



〒814-0002 福岡市早良区西新5丁目5-13
TEL 092-841-7889 FAX 092-841-7896
http://www.kazenoko-kyushu.or.jp
E-mail: info@kazenoko-kyushu.or.jp



作・演出 / あさのゆみこ
音楽・効果 / 曲尾友克
美術 / 山本佐助
小峯三奈
制作 / 飯塚祐一

絵 / よしながこうたく

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	<u>児童劇</u> , 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんがいしゃ にんぎょうげきだんくらるて		
制作団体名	有限会社 人形劇団クラルテ		
代表者職・氏名	代表取締役 八釘恵子		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒559-0015 大阪市住之江区南加賀屋 3-1-7 (最寄り駅:OsakaMetro「住之江公園」駅)		
電話番号	06-6685-5601	FAX番号	06-6686-3461
ふりがな	にんぎょうげきだんくらるて		
公演団体名	人形劇団クラルテ		
代表者職・氏名	代表 鶴巻靖子		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒559-0015 大阪市住之江区南加賀屋 3-1-7 (最寄り駅:OsakaMetro「住之江公園」駅)		
制作団体 設立年月	1964年7月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 八釘恵子 取締役 松本則子	団体構成員 合計 34名 劇団員 17名 劇団員補 3名 研究生 4名 職員 1名 嘱託 9名	
事務体制の担当	専任 ・ 他 <u>の業務と兼任</u>	本事業担当者名	松澤美保
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・ 無	経理責任者名	室田美幸

制作団体沿革	1948 年創立 1964 年に法人格取得 1982 年大阪市住之江区(現住所)にアトリエ竣工 2010 年神戸事務所(兵庫県神戸市)設置 2016 年一般社団法人人形劇団クラルテ設立		
学校等における公演実績	2013 年度『あらしのよるに』26 公演、『サーカスのライオン』17 公演、『いえでででんしゃ』20 公演、 高校『新・動物農場』1 公演、他 2014 年度『あらしのよるに』25 公演、『サーカスのライオン』27 公演、『いえでででんしゃ』8 公演、他 2015 年度『あらしのよるに』21 公演、『サーカスのライオン』16 公演、『いえでででんしゃ』3 公演、他 2016 年度『あらしのよるに』36 公演、『サーカスのライオン』16 公演、他 2 公演 2017 年『あらしのよるに』9 公演、『いえでででんしゃ』24 公演、他 2 公演 2018 年『あらしのよるに』15 公演、『いえでででんしゃ』12 公演、 中高一貫校『ハムレット』1 公演、他 2 公演		
特別支援学校における公演実績	2012 年度 1 校 2013 年度 1 校 2014 年度 5 校(うち 1 校は本事業にて『あらしのよるに』山口県立山口総合支援学校) 2015 年度 1 校(本事業にて『あらしのよるに』宮崎県立児湯るびなす支援学校) 2016 年度 1 校 2017 年度 3 校(うち 1 校は本事業にて『あらしのよるに』兵庫県立赤穂特別支援学校) 2018 年度 3 校(うち 1 校は本事業にて『あらしのよるに』福岡県立太宰府特別支援学校)		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等 申請する演目の DVD または WEB 公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	(有) ・ 無 (有) ・ 無 ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	有 ・ 無 ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 人形劇団クラルテ】

対象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中学生		
企画名	『あらしのよるに』		
本公演演目 原作/作曲 脚 本 演出/振付	『あらしのよるに』原作/木村裕一 講談社刊「あらしのよるに」シリーズ1～6巻より 日本図書館協定選定図書 脚色/東口次登 演出/三木孝信 美術/西島加寿子 音楽/一ノ瀬季生 照明/永山康英 公演時間(75分)休憩なし		
著作権	-	制作団体が 所有	○ 制作団体以外が所有する事 項が含まれる
			有 (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>～本当の友だち～</p> <p>立場を越えて相手を思いやり、心を通じ合わせることの素晴らしさを、命のドラマを通して子ども達に伝えられたらと願います。ダイナミックな人形劇でお届けいたします。</p> <p>《あらすじ》</p> <p>あらしの夜、暗闇の小屋の中でオオカミのガブとヤギのメイが出会い、カミナリに震えながら嵐が過ぎるのを待っていた。真っ暗な中、互いを仲間だと思い込んだ二匹は、語り合い、すっかり意気投合してしまった。このまま別れることを寂しく思い、「次は明るい空の下でピクニックに行こう！」と約束をした。合言葉は「あらしのよるに」。そして二匹は相手の正体を知り、驚きながらも、「食いたい」という欲望を理性で押さえ込むガブと、無邪気なメイ。そんな二匹が無二の親友になるには時間はかからなかった。しかし、ガブは仲間のオオカミに「ヤギはえさだ。えさと友達になったら、俺たちは生きられないんだ」と言われ、メイも「生まれた時から一緒に俺たちと、この間知り合ったばかりの友達とどっちが大切なんだ」と責め立てられることに。オオカミとヤギが幸せに暮らせる新天地を目指して、二匹は歩き始めた、息もつけない吹雪の中へ……。</p>		
演目選択理由	<p>人形劇でしか見られない『あらしのよるに』</p> <p>『あらしのよるに』は絵本の世界から飛び出し、演劇、ミュージカル、テレビ、映画などで取り上げられている。しかし、絵本の世界を立体的な空間に置き換え、フィクションとリアリズムを追求できるのは、人形劇のみである。違いを恐れ、守りの為に攻撃してしまい、自らも、周りの人達も信頼できにくい現代社会を懸命に生きる子ども達に、ぜひ、オオカミのガブとヤギのメイとの敵対関係を乗り越えた友情を感じ取って欲しい。</p> <p>特に、作品のテーマを深め、奥の深い人形劇を感じていただく為にも、この機会に思春期の中学生へも作品を届けたい。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>舞台は体育館のフロアに組み、客席から非常に間近なところで上演します。</p> <p>子ども達にはあらかじめオオカミかヤギの人形を1体ずつ作ってもらい、その人形を使って劇の冒頭部分に児童が出演する場面を作ります。ガブとメイが会おうきっかけとなる「嵐になる場面」をヤギ役とオオカミ役の2グループに分かれて実際に舞台上で演じてもらいます。ヤギ達が草原でのびのびと草を食べていると、腹ペコのオオカミ達がそれを発見し、襲いかかります。追いかけてっこをしているうちに風が吹き嵐となり、雷や突風にお互い逃げ惑う。ここまでのシーンを劇団員と共に演じてもらいます。先生方にもその際、劇団員と共に風の役としてご協力いただきたいと思います。</p>		
出演者	松原康弘 鶴巻靖子 梶川唱太 竹内佑子 茨木新平 徳永颯希 白國亜衣		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者:7名 スタッフ:2名 合計:9名	機材等 運搬方法	積載量 2 t 車長 6 m 台数トラック 1台 ワゴン車(レンタカー) 1台

【公演団体名 人形劇団クラルテ】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ 無 ※要相談) 会場設営の所要時間(2時間程度)					
	到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～10時半/ 11時～11時45分	13時～ 14時20分	0分	14時半～ 16時	16時半
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	40名程度まで				
	本公演	20名程度まで				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>1 体と心をほぐす・・・表現をする為の準備として、まず相手や自分の体の動きを意識しながら、想像力や集中力を高めるゲームなどを使って体と心を解放させる。</p> <p>2 人形で表現・・・本番で児童が使用する人形(ヤギもしくはオオカミ)で、基本動作を表現する。歩く、走る、感情による動きの違いなど。</p> <p>さらに、グループごとに人形で場面や感情をイメージして表現してもらい、人形をどう遣うと、どう見えるかを知ってもらう。自分がイメージしたように表現できているか、お互いに見合う。</p> <p>※人形はワークショップ前にあらかじめ、1人につき1体作っていただきます(基本的な作り方は事前に先生に説明させていただきます)。</p> <p>3 ヤギ役とオオカミ役に分かれ、実際の場面を演じてみる。</p>					
ワークショップ実施形態の意図	<p>自ら動き、表現しながら相手の表現を感じ、感情や表現のやり取りをすることで表現力、コミュニケーション力を伸ばし、劇の楽しさを感じてもらおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆で息を合わせ一つの表現をすることを通して集中力、協調性を養い、全員で一つのものを作り上げる演劇の醍醐味を味わってもらおう。 ・人形を遣うことで、自身の身体で行う表現より、より大胆にデフォルメされた表現がしやすくなる。そうすることで自己を解放しやすい状態になり、表現することや劇世界の楽しさをより知ることができる。(時には日常では見られない側面を発見できることもある) ・自分で工夫して作った人形を遣い、本番まで持ち続けることで、人形に愛着がわき感情移入しやすくなり、人形劇体験をより楽しむことができる。 					
特別支援学校での実施における工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップは事前に先生と打ち合わせをして、必要な場合は学校ごとに特別メニューで対応する。 ・本番前に登場する人形を間近で見せて、触れてもらい、作品の世界により入り易くする。 ・ワークショップの進行について、児童が見通しを持てるように、流れを紙に書くなどをして分かりやすく説明する。 					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

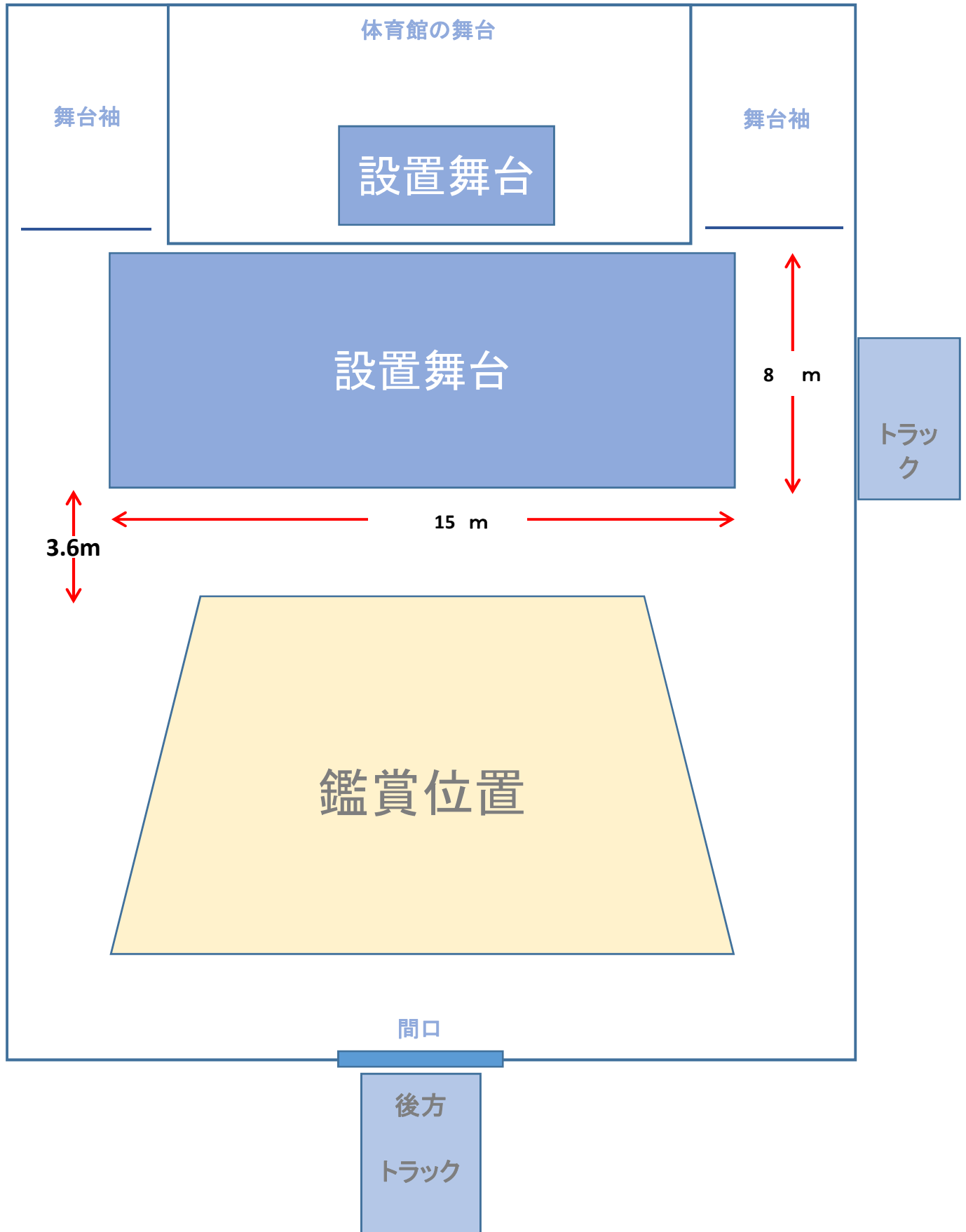
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	J112	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	J	区分	A区分
公演団体名	人形劇団クラルテ				制作団体名	有限会社 人形劇団クラルテ			

① 会場条件等についての確認

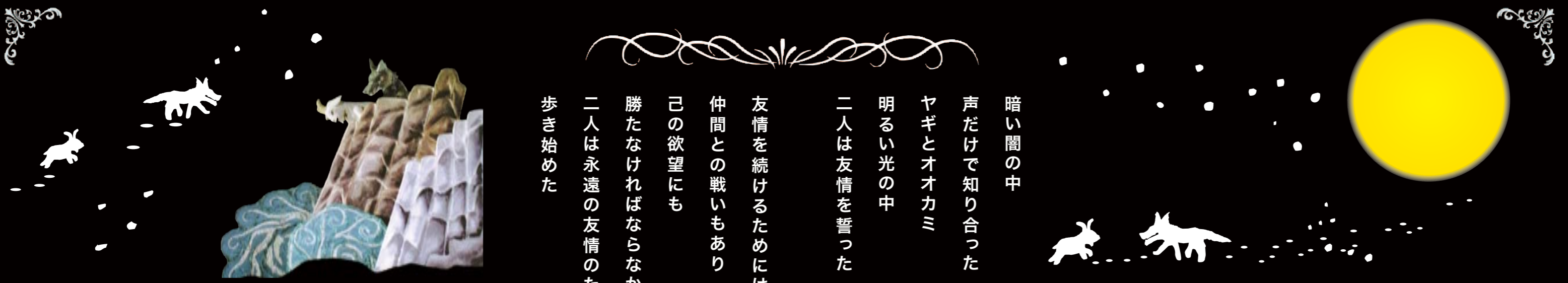
項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	1室	条件	昼食休憩用です。なければ体育館で構いません。					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2トラック 1台	バン 1台				
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2トラック(長さ6m、幅2m、高さ217cm)、ワゴン車(長さ5m以下、幅2m以下、高さ2m)					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内					
	可	P				・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				
			理由			大道具、人形等の搬入があるため				
	可	設置階の制限 *			問わない					
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.5m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数			40名程度まで					
	可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *	高学年			
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度(2時限)					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			500名程度まで					
	可	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	15m	奥行	8m	高さ	5m	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要			
	可				舞台袖スペースの条件 *		両サイド着替えに使わせていただきます。			
	可				緞帳 *	不要		バトン *	要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	影絵の場面があるため			
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。				
	—			ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	不可	公演に必要な電源容量			60A		※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.5m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



暗い闇の中
 声だけで知り合った
 ヤギとオオカミ
 明るい光の中
 二人は友情を誓った
 友情を続けるためには
 仲間との戦いもあり
 己の欲望にも
 勝たなければならなかった
 二人は永遠の友情のために
 歩き始めた

やがて二人はお互いの仲間からも
 追いつめられていく...

エサともだちにな
 れるわけないだろう

講談社刊「あらしのよるに」シリーズ全6巻より
 日本図書館協定選定図書

原作 / 木村裕一



合言葉は、

「あらしのよるに」

わたしずっと、オオカミは
 恐ろしい動物だと思っていました

おいらこう見えても、
 なにより友情を
 大切にしてるんす

あらしのよるに出会った
 とてもおかしなオオカミ
 いつもは敵同士
 でも今日からはともだち
 あらしのよるに出会った
 とてもおかしなオオカミ
 いつもともだち
 今夜はほんとのともだち

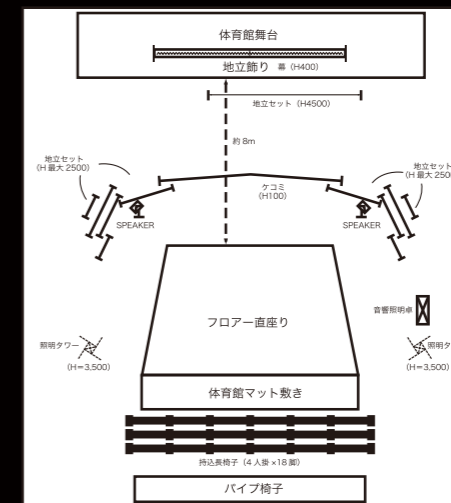
はやく目を
 さませよ、
 メイ

あんたはだまされているんだよ

生まれたときから一緒にいる
 俺たちと、この間知り合ったばかりの
 ともだち。どっちが大切なんだ？



舞台図



<上演について>

上演時間 約1時間10分(休憩はありません)
 編成人数 7人
 準備時間 約2時間
 最適観客人数 200~450人

《設営条件について》
 電気の容量 単相三線 60A 以上
 フロアーに舞台を組みます
 照明、音響機材は持ち込みます
 (暗幕をご用意ください)

スタッフ

原作 / 木村裕一 (講談社刊)
 脚色 / 東口次登
 演出 / 三木孝信
 美術 / 西島加寿子
 音楽 / ノ瀬季生
 照明 / 永山康英
 舞台監督 / 梶川唱太
 制作 / 中山美津子
 写真 / 田嶋哲
 イラスト / 齋藤裕子

登場人物

メイ(ヤギ)
 ガブ(オオカミ)
 タブ(ヤギ)
 おばヤギ
 長老ヤギ
 バリー(オオカミ)
 ギロ(片耳のオオカミ)

イノシシ
 ヤギたち
 オオカミたち



VI 令和元年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

B区分(平成30年度採択 延長)

【音 楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演 劇】	児童劇, (演劇) ミュージカル
【舞 踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ

(A区分とB区分の両方) ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ (なし)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんかいしゃ せいねんげきじょう		
制作団体名	有限会社 青年劇場		
代表者職・氏名	代表取締役 福島明夫		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒160-0022 東京都新宿区新宿2-9-20 問川ビル4階(東京メロ 新宿御苑前)		
電話番号	03-3352-6990	F A X 番号	03-3352-9418
ふりがな	あきたうじゃく ひふかたよしきねん せいねんげきじょう		
公演団体名	秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場		
代表者職・氏名	代表 福島明夫		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒160-0022 東京都新宿区新宿2-9-20 問川ビル4階(東京メロ 新宿御苑前)		
制作団体 設立年月	1964年 2月		
制作団体 組織	役員 1964年 2月	団体構成員及び加入条件等 劇団構成員 劇団員63名/準劇団員8名 /研究生 11名/研究生候補 3名/団友 25名	
事務体制の担当	(専任) ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	白木匡子
経理処理等の 監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	大平真紀

制作団体沿革	<p>1964 年日本新劇界のパイオニア、秋田雨雀・土方与志に戦後教えを受けた俳優・演出家を中心になって結成。今日の社会を描く現代劇の創造を進める一方、青少年の為の優れた演劇の創造と追求を行っています。2016 年は東京公演、地方公演などの一般の観客を対象とした公演を 4 作品 88 回、全国の青少年を対象とした公演を 2 作品 68 回のステージ、のべ観客 10 万人という公演活動を行いました。2017 年は一般の観客を対象とした東京公演、地方公演を 5 作品135回、青少年を対象とした公演は 3 作品 94 回予定しています。この間、文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業・年間支援活動)・日本芸術文化振興会(日本劇団協議会主催事業・高校生のための巡回公演)・文化庁(文化芸術による子供の育成事業)に採択されています。</p>		
学校等における公演実績	<p>創立から青少年の為の公演を劇団の活動の柱にし、北海道から沖縄まで、全国各地での公演を行ってきました。この中には1000回を超える「翼をください」などロングセラーになった作品も数多くあります。年間 1 本から 2 本の作品で全国の高等学校・中学校での公演を行っています。現在は「オールライト」(瀬戸山美咲＝作・藤井ごう＝演出)・「あの夏の絵」(福山啓子＝作・演出)で全国を公演中。2018 年 3 月には新作「歩く詩(うた)」(大西弘記＝作・関根信一＝演出)を新たに生み出します。(2018 年秋から全国公演を予定)近年は高等学校での公演数が減少していく中、様々な公演の形を追求し、青少年のための公演の充実に努めています。</p> <p>文化庁・文化芸術による子供の育成事業は「博士の愛した数式」が平成 19 年から 3 年間と平成 25 年・26 年、平成 27 年からはB区分で採択され上演中です。また「キュリー×キュリー」が平成 22 年から 2 年間採択されました。</p>		
特別支援学校における公演実績	平成 24 年本事業による「博士の愛した数式」の公演で実施		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有・無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有・無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有・無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 有限会社青年劇場】

対象	小学生(低学年・中学年・ 高学年)・ 中学生		
企画名	「あの夏の絵」		
本公演演目	「あの夏の絵」 作・演出/福山啓子 美術/石井強司 照明/河崎浩 原作/作曲 選曲/堀沢広幸 音響効果/石井隆 脚本 衣裳/宮岡増枝 演出/振付		
	公演時間(120分)		
著作権	<input type="radio"/> 制作団体が所有	<input type="radio"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>舞台は広島市内のとある私立高校。 美術部員のメグミは祖父母が入市被爆をしている被爆三世。顧問の岡田が持ち込んだ「被爆証言を聞いて絵に描く」取り組みに、迷いながらも参加することを決める。東京から引っ越してきた同じ美術部員のナナは友達よりも絵を描くことが大好きで、漫研と兼部しているアツトが気に入らない。岡田の提案で被爆証言は三人で聞くことになり、証言者・白井の話を聞きそれぞれに心を突き動かされるが…。</p> <p>広島市立基町高校創造表現コースの生徒達が取り組んでいる実践をモデルに、2015年12月、福山啓子の書き下ろし・演出で初演。人間をまるごと包み込む温かな作風で「高校生らしいまっすぐさが伝わってきました」「今の子どもたちの抱えている問題を織り込み、関係を作っていく過程を丁寧に扱って、こんな関係を多くの子どもたちが持てたらいいなと、泣けてきました」「子どもにこそこの劇をみせたい」などの感想が数多く寄せられ、2017年より全国巡演を開始しました。</p>		
演目選択理由	<p>被爆から70年。被爆の体験を次世代にどのように継承していくのかは体験者の高齢化が進む中、焦眉の課題となっています。そのような中、作者が取材の中で出会ったのは、想像を超える被爆体験のすさまじさに震えながらも証言者の見たものを忠実に再現しようと必死に取り組む高校生や、生徒とのやりとりによって封印された記憶が呼び覚まされていく被爆者の姿でした。ここに「継承」の一つの形を見る事ができます。今年、被爆者の悲願である「核兵器を廃絶する」ことへの大きな一歩となる「核兵器禁止条約」が国連で採択されました。世界の趨勢は平和に向かって進んでいます。未来を担う若い人たちがこの作品に触れることで、過去の体験を受け継ぎ、平和な世界を築くためにどうしたら良いのか、考え合って頂ければと願っています。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>事前のワークショップで生徒さんに一つの「お題」を提示します。そのお題に対してイメージを膨らませ、最終的にはそのイメージを表現するため、全員で一つのシーンを身体をつかって表現します。それを「静止画」として、本編の始まる前に全校生徒の前で発表します。見ている生徒さんたちにも、それが何なのかを当ててもらいます。ワークショップに参加していない生徒さんも主体的に楽しみながら参加することになります。</p> <p>本公演時はできるだけ子ども達と劇団員が触れ合う時間を長く作り、演劇と多面的に出会ってほしいと思います。具体的には仕込み見学、バックステージツアー等、スタッフの解説を聞きながら、体育館が劇場に変わっていく様子を近くで体験できます。</p>		

出 演 者	藤井美恵子/広戸聡/永田江里/星野勇二/藤代梓/傍島ひとみ/松田光敏/津曲海七斗		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 8 名 スタッフ: 9 名 合 計: 17 名	機 材 等 運搬方法	積載量 4 t 車 長 9 m 台 数 1 台

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(5 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8 時	8 時～13 時	13 時 30 分～ 15 時 30 分	なし 分	16 時～18 時	18 時 30 分
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。						
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	10 人～130 人				
	本公演	500 人				
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	前半は簡単なゲームから入ります。鬼ごっこやジャンケンゲームなど身体を温め緊張をほぐすところから始めます。その後何チームかに分かれて、「友情」「家族」など身近な「お題」にそって過去の印象に残る思い出を一つのシーンにし、全員が参加する身体表現でつくります。それを「静止画」としてチームごとに発表し、見ているチームがそのシーンがどんな場面なのかを答えていきます。					
ワークショップ 実施形態の意図	ゲームなどを通して、自分の体を解放する事を体験します。その上で「相手にタッチする」「相手に言葉を届ける」などのワークショップを通して自分の気持ちを相手に伝えること、又相手の気持ちを受け取るという、コミュニケーションの基礎を体験します。最後はチームで一つのシーンを作り上げ「静止画」にして発表します。他者と協力して一つの事を表現する楽しさを経験します。講師は全国の小中学校でワークショップの経験をもつメンバーで構成します。					
特別支援学校で の実施における 工夫点						
実 施 可 能 時 期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

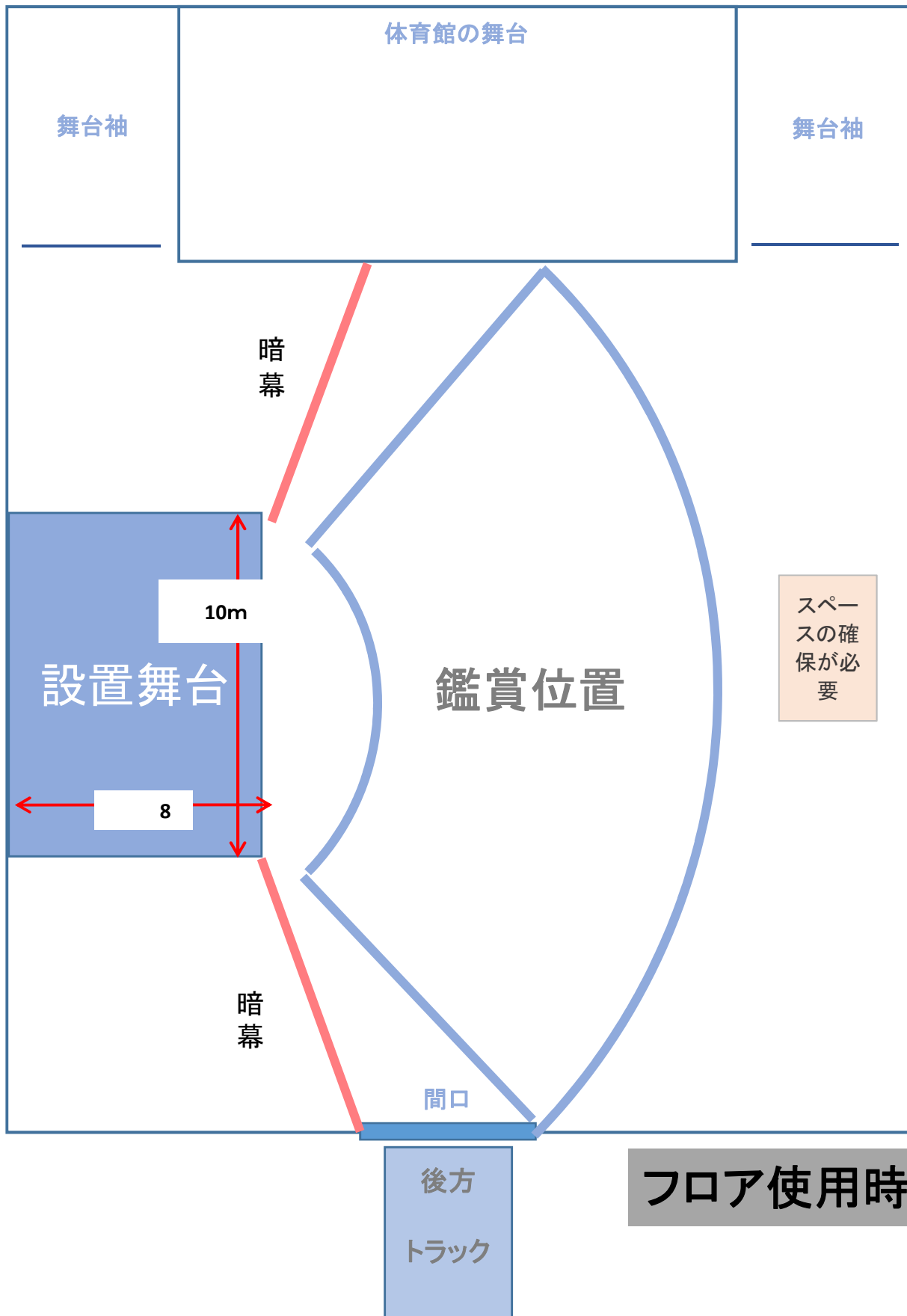
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	J113	分野	演劇	種目	演劇	ブロック	J	区分	B区分
公演団体名	秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場			制作団体名	有限会社 青年劇場				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件	17名分の椅子とテーブル、着替えもあるので、なるべく広い部屋が希望です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4トラック 1台	中型バス 1台			
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4トラック				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			できる限り近い方が搬入の時間もかからず、仕込がスムーズに行われます。				
		理由			張り出し舞台や、諸々の機材が多いため				
	可	設置階の制限 *			問わない				
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数			できれば100名以下で				
	可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *	高学年		
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			500名程度				
	可	舞台設置場所 *			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	10m	奥行	8m	高さ	指定なし
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			不要	
	—				舞台袖スペースの条件 *				
	—				緞帳 *	不要	バトン *	不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	照明の効果を高めるため		
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	—			ピアノの事前調律 *	不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	特に使用しない				
	可	公演に必要な電源容量			100A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	可能であれば			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

さく えん しゆつ ふく やま けい こ
作・演出 = 福山啓子

び じゆつ いし い つよ し
美術 = 石井強司

しょう めい かわ さき ひろし
照明 = 河崎浩

おん きやう こう か いし い たかし
音響効果 = 石井隆

い しょう みや おか ます え
衣装 = 宮岡増枝

ほう げん し どう まき た ゆう こ
方言指導 = 蒔田祐子

えん しゆつ じょ しゆ きよ はら たつ し
演出助手 = 清原達之

ぶ たい かん とく まつ はし ひで ゆき
舞台監督 = 松橋秀幸

せい さく ひろ せ きみの
製作 = 広瀬公乃

あ の 夏 の 絵



撮影：V-WAVE

キャスト



浅野恵

そば じま
傍島ひとみ



工藤奈々

ふじ しろ あずさ
藤代梓



飯島篤人

つ まが り み な と
津曲海七斗



白井勝利

ひろ と さとし
広戸聡



浅野綾子

ふじ い み え こ
藤井美恵子



岡田路子

なが た え り
永田江里



ダヴィンチ先生

ほし の ゆう じ
星野勇二



ミケランジェロ

まつ だ みつ とし
松田光寿

あ ら す じ

被爆者を祖父にもつ浅野恵は、広島市内の高校1年生。美術部顧問の岡田路子がもちこんだ「被爆証言を聞いて絵に描く」という取り組みにまよいながらも参加することに。東京からひっこしてきた工藤奈々、父が自衛官という飯島篤人も美術部員ということで、しぶしぶ一緒に被爆体験を聞くことになる。中学3年で、父親を探して入市被爆した白井勝利さんの証言に3人は心を突き動かされるが、ある日、奈々が学校に来なくなり…。

作者から、みなさんへ

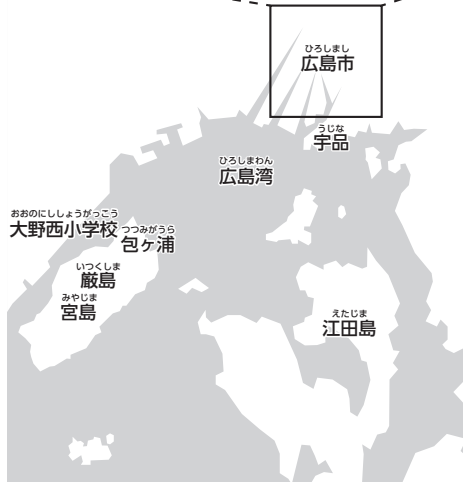
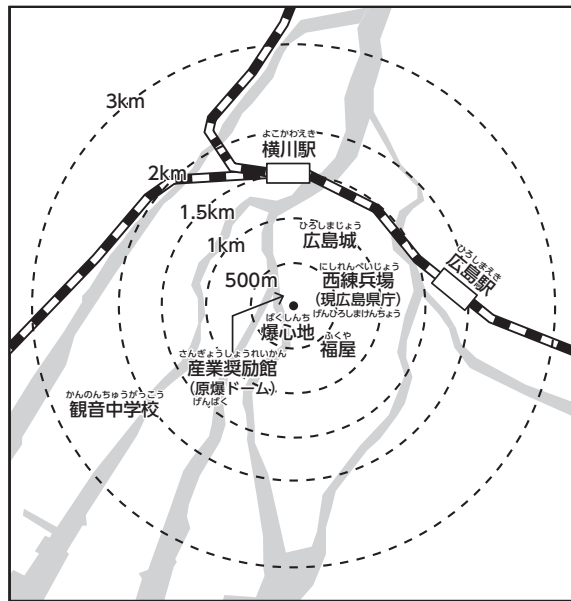
福山啓子

歴史や戦争のおはなしって、こわいな、とか、つまらないな、とか思いませんか？「もっと楽しいお話がいいー」はい。でも、ちょっと待って。今の少年マンガとか、戦争や人が殺される物語がいっぱい。それも、簡単に悪者がやっつけられる話ばかりではなく、何とたたかっているのかよくわからない、それだけにかえってコワイお話も。これは、マンガが今の世の中にある、戦争や、いじめや、貧しさや、いろんなことを鏡のように映しているからかもしれない。

「昔なにかあったか」ということ。ひいおじいさんや、ひいおばあさんの子どもの頃、何があったのか。そのことが今とどうつながっているか。「自分はどこからきて、どこへいくのか」を考える時、それはとても大切なこと。

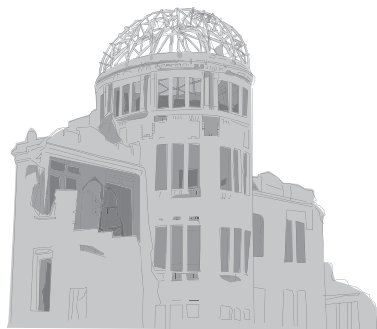
お芝居を見て、どんなことを感じたか、おもしろかったこと、こわかったこと、わからなかったこと、つまらなかったこと、みんなでなんでも話し合ってください。

高校生が主人公だから、おもしろいところもたくさんあります！安心して。



1945年8月6日午前8時15分、人類初の原子爆弾が広島に投下されました。約35万人の市民のうち1945年末までに約14万人の方が亡くなったといわれています。被害は熱線・爆風・放射線

線の三つで、原爆が投下された後、15日目までに、爆心地からおおむね2km以内に入った人は、残留放射線などで被曝したと考えられ「入市被爆」とされています。



VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, <u>現代舞踊</u>
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ なちゆるるだんすてあとる 株式会社 ナチュラルダンステアトル		
代表者職・氏名	代表取締役社長・中村伸二		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒167-0051 東京都杉並区荻窪 1-11-12 (井の頭線 高井戸駅)		
電話番号	03-3391-2353	F A X 番号	03-3391-2353
ふりがな 公演団体名	なちゆるるだんすてあとる ナチュラルダンステアトル		
代表者職・氏名	代表・中村しんじ		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒167-0051 東京都杉並区荻窪 1-11-12 (井の頭線 高井戸駅)		
制作団体 設立年月	2012年 8月		
制作団体 組織	役職員 代表取締役社長・中村伸二 取締役副社長・中村真子	団体構成員及び加入条件等 30名(正団員20名・準団員10名) 2種舞踊法と指導法を 修得し、舞踊芸術の事業開発に同働できる者	
事務体制の担当	<u>専任</u> ・他の業務と兼任	本事業担当者名	久保田広美
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・無	経理責任者名	丸山良尚 (丸山良尚税理士事務所)

<p>制作団体沿革</p>	<p>本団体代表取締役、演出家、振付家、舞踊家中村伸二(芸名:中村しんじ)は、1981年に渡欧、ベルギー国立舞踊学校ムードラ(学長:モーリス・ベジャール)に入学。卒業と同時に、当時ベルギーを拠点に活動していた振付家のミーシャ・ヴァン・ノック主宰“ロンソンプルバレエ団”に入団。ヨーロッパでダンサーとして7年間の活動を経て帰国し、1991年に自らのカンパニー“ナチュラルダンスシアトル”を設立。98'『ありす』(音楽新聞社「'98私が選んだ邦人作品ベスト3」第1位)、00'『ピノッキオ』(現代舞踊協会江口隆哉賞)、03'『東京ダンスホール』、06'08'『さーかす』等、新作を上演(新国立劇場)。</p> <p>作品『ありす』は、01'-06' 6年間に渡り北海道から沖縄までの全国を巡演、03'デンマーク国際演劇舞踊フェスティバル、08'ジェイコブズピロー・ダンス・フェスティバル。作品『さーかす』は、05'国内3都市を巡演、08'アメリカン・ダンス・フェスティバル、09'ドイツ4都市を巡演。18'(8月)韓国招聘公演(ソナム・アート・センター)で上演。両作品ともに継続上演に至る。中村は、06'芸術選奨文部科学大臣賞受賞。本団体の主要メンバー、振付家、舞踊家の川野眞子は、05'新進芸術家公演事業として自ら『さーかす』を振付。03'(財)松山バレエ団芸術奨励賞、05'(社)東京新聞社中川鋭之助受賞。12'株式会社ナチュラルダンスシアトルとして法人化。プロダンサーの育成、次世代を担うダンサーの創作活動支援、ダンスによる教育・地域への社会的支援の取組、指導員の育成にも力を入れる。</p> <p>【直近の自主公演事業】平成28年度(5月)25周年公演『HITONAMI』～いとなみ～/座・高円寺。平成29年度(3月4月)公演『どぼん』/座・高円寺。平成30年(7月)新次元ダンスエンターテイメント『ねむり姫』/文化総合センター大和田 さくらホール、など新作を上演。</p> <p>【委託事業】05'新進芸術家公演事業公演。08'-09'芸術の魅力発見事業、08'-18'本物の舞台芸術体験事業、子どものための優れた舞台芸術体験事業、次代を担う子どもの文化芸術体験事業、文化芸術による子供の育成事業等、文化庁事業。その他、神奈川県、茨城県、愛知等、兵庫、三重、広島等、県・市・NPO 法人の公益事業。18'(8月)韓国招聘公演(ソナム・アート・センター)。</p>
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>03'デンマーク国立演劇学校レジデンス(現地学生を出演者として起用)</p> <p>06'神奈川県立座間高等学校「総合的な学習の時間」(身体の中のダンスを発表)</p> <p>06'日本女子体育大学(非常勤講師)舞踊方法学演習(実技)</p> <p>02'-06'巡回公演事業(現代舞踊協会)全国23ヶ所で公演</p> <p>08'-09'日本女子体育大学舞踊学実習Ⅲ「テクニックレパトリー」卒業生公演振付</p> <p>08'-13'巡回公演事業(小学校、中学校、特別支援学校)</p> <p>11'兵庫県西宮市「ダンス甲東園」舞台公演(参加型)学生間交流(大学生)</p> <p>12'-13'神奈川県青少年センター「ダンス講習会・鑑賞会」(高校生対象)</p> <p>13'神奈川県横浜市立小学校「おはなしの木・読み聞かせとダンス」(小学生 保護者対象)</p> <p>14'神奈川県立弥栄高等学校ダンス授業の指導(高校生対象)</p> <p>16'相模原市洋舞連盟青少年合同作品「芸術ってなんですか?」(小中高対象)</p> <p>山梨県立わかば支援学校学芸発表教材提供(小学1~3年生対象)</p> <p>茨城県立霞ヶ浦豊学校手話ダンスの指導(中学部対象)</p> <p>17'神奈川県立大和高等学校研修指導</p> <p>18'鳥取県教育関係職員互助会公益事業公演『さーかす』(小学校2校全校生対象)</p>
<p>特別支援学校に おける公演実績</p>	<p>12'栃木県立足利中央特別支援学校</p> <p>13'富山県立しらとり支援学校</p> <p>14'川崎県立中原養護学校</p> <p>15'北海道帯広豊学校、北海道帯広盲学校</p> <p>16'山梨県立わかば支援学校、茨城県立霞ヶ浦豊学校</p> <p>17'広島市立庄原特別支援学校(知的障害部門・聴覚障害部門合同)、 広島市立尾道特別支援学校</p> <p>18'熊本県立天草支援学校</p>

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	https://youtu.be/qwUolyb-jEs https://youtu.be/07PkjWHaNs8
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:



公演・ワークショップの内容

【公演団体名 ナチュラルダンスアトル】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	『さーかす』		
本公演演目 原作／作曲 脚本 演出／振付	タイトル：『さーかす』 構成・演出・振付：中村しんじ 振付：川野眞子 美術：宇野萬 初演：2005年 山口情報芸術センター 公演時間(60分)		
著作権	<input type="radio"/> 制作団体が所有	<input type="checkbox"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	<input type="checkbox"/> (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>作品『さーかす』は“物語”を“ダンス”で表現するエンターテインメントです！ 主人公の青年“一郎”の、心の成長をとおして“生きる力”をテーマにした作品です。 (ストーリー)</p> <p>『さーかす』は、主人公の青年“一郎”とサーカス団との、出会い、心温まる交流、そして、別れまでを描いた、子供から大人まで楽しめる内容です。幅広い世代の観客に支持され長く上演する作品です。</p> <p>“一郎”は、自分のやりたいことが見つからないで、毎日をグダグダと過ごしていました。ある日、そんな一郎の前に“昭和のサーカス団”が現れます。戦後、日本が今よりずっと貧しかった時代を、精一杯に生きたサーカス団が、一郎の心に“生きる力”を吹き込みます。</p> <p>『さーかす』は、今、どこにでもいる一人の青年が、力強く、自立していく姿に、誰もが共感できる内容です。団長、フジオさん、犬、背中に羽の生えたサーカスの娘、サーカス団、など、個性豊かな登場人物、大掛かりな仕掛けを使った圧倒的に美しい『さーかす』の世界観を学校全体でお楽しみください。</p>		
	 		
	<p>(創作意図)</p> <p>“前向きに生きる大切さ”を、子供にも解るように描きたいと思いました。そこから、明治から昭和初期の日本を血気盛んに生きた“サーカス団”と、物質的に豊かになった今の時代を生きる青年“一郎”が出会う、物語の構想が生まれました。時代を超えたテーマは、“生きる力”。</p>		
	<p>(上演実績)</p> <p>2005年文化庁委託事業「文化庁新進芸術家公演事業」山口県、広島県、佐賀県 2006年新国立劇場委託事業「DANCE EXHIBITION」新国立劇場 小劇場 2008年新国立劇場委託事業「ダンス名作展」新国立劇場 小劇場 2008年アメリカン・ダンス・フェスティバル 北米(ノースカロライナ州) 2009年ドイツ巡回公演(デュッセルドルフ、ミュンスター、フランクフルト、ポツダム)</p>		

	<p>2016年文化庁委託事業「文化芸術による子供の育成事業-巡回公演事業-」 2017年文化庁委託事業「文化芸術による子供の育成事業-巡回公演事業-」 2018年8月韓国招聘公演(ソナム・アート・センター) 予定 2018年9月,10月文化庁委託事業「文化芸術による子供の育成事業-巡回公演-」 2018年10月鳥取県教育関係職員互助会 公益事業公演 2019年文化庁委託事業「文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-」</p>
<p>演目選択理由</p>	<p>『さーかす』だけにしかない舞台芸術の迫力と感動</p> <p>本作品では、学校の体育館にトラスを組んで、大掛かりな仕掛けの美術装置(テント)を吊って、3年間に渡りすべての学校で装置(テント)を操ることに成功しました。体育館の天井に届く高さまでの空間を使って動くテントは、スタッフと試行錯誤した甲斐があって、子供たちや先生たちからも「本物の劇場が目の前に現れた!」という驚きと感動の声を沢山頂きました。私共も、これだけ完成された舞台装置の仕組みを学校の体育館に再現できることに喜びを感じ、5年目になりますが、是非、もっと多くの子供たちに『さーかす』だけにしかない舞台芸術の迫力と感動を味わって欲しいと願って選択しました。</p> <p>視覚的な効果・見どころの多い作品性</p> <p>ダンサーのテクニックと豊かな表現力はもちろんですが、大掛かりな仕掛けを使った舞台美術、最新の照明効果など、子供たちは“初めて見るものが次々と目に飛び込んで来る”舞台の進行を追いながら作品を最後までしっかりと集中して見ることができます。</p> <p>親しみのある鑑賞形態</p> <p>物語の進行に合わせて一喜一憂に、わーっ!と声を出して驚いたり、笑ったり、主人公の気持ちに寄り添って静かになったり、子供たちにはありのままの反応で、鑑賞経験を自分のものにしてもらいます。舞台進行の中間に、舞台解説者と一緒に先生が登場する演出など、子供たちにとって、親しみのある鑑賞形態を創り、低学年の児童生徒にも、『さーかす』の世界観に深く入り込めるよう支援します。</p> <p>以下の鑑賞ポイントを押さえて、舞踊・ダンス公演の鑑賞を支援します。</p> <p>Point ①ダンサー</p> <p>主人公の「一郎」、サーカス娘「幸子」は世界的に活躍するトップダンサーを起用します。その他のメンバーも第一線で活躍する新進ダンサーの中でも特に表現力に優れたダンサーを選抜します。ダンサーの優れた身体能力と豊かな表現力を通じて、「体で表現するって素晴らしい!」という手応えと実感を学校全体で獲得してもらいます。</p> <p>Point ②衣裳・メイク</p> <p>“自分のお気に入りのキャラクターを見つける”、“登場人物に親しみを持って感情移入する”など、子供たちは、ダンサーの扮するキャラクターを通して深く作品に入り込むことができるでしょう。ダンサーが身に着けている衣裳やメイクも子供たちにとって、興味、憧れの対象となるでしょう。</p> <p>Point ③舞台装置</p> <p>子供たちには、まず、体育館に入場したところから『さーかす』の世界観に驚きを持って出会ってもらいます。本格的な舞台設営や大掛かりな仕掛けの美術(装置)に、子供たちの鑑賞に対する期待感はマックスに高まることでしょう。舞台が始まると子供たちの目の前に巨大なテントが出現し、さらには、「海」や「クラゲ」のように縦横無尽に動き出すという圧倒的な空間表現。子供たちの想像を超える美しい世界感が展開します。実物を前に「ダンサーやスタッフのプロの仕事内容」、「舞台芸術の創造に絶対にかかせない一体感」までの鑑賞指導を行います。</p> <p>Point ④音楽性</p> <p>子供たちには、物語の場面展開や主人公の気持ちに寄り添って、昭和のポップス、サーカス・マーチなど、親しみのある音楽からクラシックや現代音楽までの『さーかす』の幅広い音楽性を味わってもらうことができるでしょう。音楽とダンサーの動きがぴった</p>



	<p>りと合っている凄さ、感動は、ダンスだけでしか味わえない魅力です!</p> <p>Point ⑤物語 言葉を使ってないのに物語がわかる!ダンスなのに物語が存在するところが『さーかす』の舞台の大きな特徴です。子供たちは、舞台の進行を通して物語を追いながら作品を自分のものにすることができます。表現とはこういうことだ!と自分自身の驚きと発見を通じて芸術表現に対する知識や経験を獲得してもらいます。「一郎はどうなっちゃうんだろう?」という物語の主人公に寄り添う気持、「体だけで表現するってすごい!」という手応えと実感。〈言葉を必要としないダンス・舞踊への知識〉、〈体で表現する素晴らしさ〉など、しっかりと鑑賞支援します。</p>
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p style="text-align: center;">～ナチュラルダンステアトルの公演は、とことん体験派～ 子供たちが舞台上で踊るまでの体験を完全サポート!</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ダンサーと一緒にリハーサル >>>>> 本番!!</p> <p style="text-align: center;">本公演の中でどのように参加、どのような体験をするか紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ♪ 事前ワークショップで覚えたダンスを舞台上で披露! 公演の前にダンサーとのリハーサルを行います(約30分)。 代表児童・生徒は、事前ワークショップと本番当日のリハーサルを通じてダンサーとのコミュニケーションを十分に重ねることで、本番では、誰もが自信を持って元気に踊れるようになります。私たちの『さーかす』の一員となって踊ってもらいます! 鑑賞する児童・生徒たちも、クラスの友だちが舞台上に登場することで、作品をより身近に感じることができ、驚きと興奮に包まれた経験となるでしょう。 ♪ 本公演で使用する映像に出演! 事前ワークショップの時に、ダンサーの演技指導のもと、児童・生徒に演技してもらい、本公演のフィナーレを飾る映像を撮影します。映像はDVD化し、事業全体を振り返る映像、大切な思い出として学校に寄贈します。 ♪ 作品の中盤に先生も出演 舞台解説の川野眞子との掛け合いで先生の魅力を引き出し、後半の鑑賞に向けて児童・生徒のさらなる期待感を高めます。 ♪ ダンサーとマーチングバンドとのコラボ(吹奏楽部やブラスバンド部がある学校) 作品の最後を飾るサーカスのマーチを、ブラスバンドや吹奏楽で演奏してもらいます。また、地域で古くから大切にされている祭囃子など、そこだけでしかできないセッションを展開します。例:佐賀県唐津市では演出の一部に“唐津くんち”のお囃子を使用しました。 <p><公演終了後は交流タイム></p> <ul style="list-style-type: none"> ♪ バックステージ体験&ダンサーとのふれあい 子供たちは、舞台装置に触れ、実際にテントを操作してみることで、舞台づくりの仕組みや知識を知ることができます。ダンサーへの関心、照明への関心、舞台装置への関心など、可能な限り、直接的なふれあいの時間をお取りし、学校公演ならではの、普段見られない部分までも、じっくりと見て、知って、触れてもらいます。
<p>出演者</p>	<p>中村しんじ、川野眞子、蓬澤太士、大和、澤村亮、佐野基、小松あすか、片山幸子、戸田裕美子、高橋裕太、他、東京でのオーディションにより出演者を選抜し、計17名。</p>

公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 17 名 スタッフ: 16 名 合計: 33 名 ※上記に機材車運転手 3 名は含まれず	機材等 運搬方法	積載量 4t/3t 車長 8.5 m 台数 4t 2台、3t 1台
----------------------	--	-------------	---

【公演団体名 ナチュラルダンステアトル】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有)・無) 会場設営の所要時間(3 時間程度) <table border="1" data-bbox="416 819 1431 938"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16時 (前日)</td> <td>16時～19時 (前日)</td> <td>11時～12時 1回公演の場合</td> <td>0分</td> <td>12時半～ 15時</td> <td>15時</td> </tr> </tbody> </table> ※公演の前に、代表児童・生徒とのリハーサルを行います。(例 9:30-10:00) ※やむをえず2回公演の場合は、午前1回、午後1回です。						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	16時 (前日)	16時～19時 (前日)	11時～12時 1回公演の場合	0分	12時半～ 15時	15時
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
16時 (前日)	16時～19時 (前日)	11時～12時 1回公演の場合	0分	12時半～ 15時	15時													
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	500名(何枠かに分けて実施)																
	本公演	500名(体育館の広さによっては午前・午後の2回公演)																
ワークショップ 実施形態 及び内容	ワークショップの実施内容 ① 本公演で踊るペットボトルダンスの習得(指導)(*全校生徒対象)と代表児童の選出 ② 共演するブラスバンド部や吹奏楽部と共演部分の練習 ③ 映像撮影と演技指導(本公演で上映する事業全体を振り返る映像撮影) ①ペットボトルダンス・ワークショップの進行内容 ※ワークショップの実施以前に詳しい実施概要をお送りいたします。 [準備] 1人、1本、ペットボトル(500ml)を準備してください。 ペットボトルに水(3分の1)を入れて手具として使用します。 [進行] 1. <u>ダンサーによるペットボトルダンスの実演と、はじめのごあいさつ(5分)</u> ダンサーの実演を通して児童・生徒のモチベーションとやる気を引き出します。 2. <u>ベルトコンベアー・ゲーム(10分) ※小学生のみ</u> ペットボトルを手具として使った運動に慣れ親しんでもらうためのチーム・ゲーム。 3. <u>まねっこゲーム(30分)</u> ・ 子供たちは、ダンサーの真似をしてペットボトルを「振る」・「回す」・「はさむ」など、はじめは簡単な動作から、自然に体全部を使って踊れるようになります。 ・ ペットボトルの中に入っている“水の振動”が、リズムやダンス観を獲得する手助けとなって、誰でも楽しく音楽に合わせて踊れるようになります。 ・ 「ダンサーの真似をする」⇒「先生の真似をする」⇒「友だちの真似をする」という進行の流れを通して学校全体でパフォーマンス力を発揮してもらいます! 最後に、ダンサーから本公演の簡単な説																	



	<p>明をします。 <u>代表児童・生徒には、ワークショップで習得したダンスを本公演で踊ってもらいます!</u> ワークショップで覚えたダンスを本公演に向けて学校で練習できるように、振付を図解したテキストを先生がたにお渡しします。また、You tube(限定公開)の映像でダンスの動きを復習できます。ワークショップの実施を機に運動会のダンスの演目や学習発表など、教材資料として自由にご利用いただけるよう支援します。</p> <p>②吹奏楽部との共演の練習 作品のクライマックスでサーカスの「マーチ」の曲を吹奏楽部の児童生徒に演奏してもらいます。ワークショップ前に演奏曲の楽譜をお送りしますので練習しておいて下さい。 ・ダンスワークショップの後(放課後)、吹奏楽部にお伺いし第一回目の打ち合わせをします ・本公演の開演前に、ダンサーの動きと実際に合せる練習(リハーサル)をします。</p> <p>③映像撮影と演技指導 本公演の最後に上映する“事業全体を振り返る記念映像”を撮影します。ダンサーの演技指導のもと、映画の編集にも精通するプロのカメラマンが、ワークショップと公演がセットになって完成するまでの児童生徒の取り組みをドラマタッチで編集します。</p>
<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>▶誰もが楽しく踊れる ペットボトルダンスは 11 年に渡り全国の学校で実施する優れたダンスワークショップです。分かりやすい指導で予備知識がなくても学校全体で楽しくダンス経験を獲得できます。全員が踊りをマスターする達成感や身体全部を使って運動量も得られます。プロダンサーの開発した運動とダンスを見事にブレンドした最高に楽しいワークショップです!</p> <p>▶パフォーマンスカアップ ペットボトルダンスの最大の効果は、児童・生徒、学校全体のパフォーマンス力の向上です。ペットボトルダンスを通じて子供たちが抜群の集中力で体全部を使って踊る姿に先生たちはビックリします。たった一回の経験がダンスに対する抵抗感を解消します。その効果を学校全体で味わってください!</p> <p>▶身体で感じる大切さ ペットボトルダンスでは、ダンス学習の良い所を簡単に習得することができます。ワークショップのはじめに行う体慣らしのゲームは、ペットボトルを使うことで成功と失敗が分かりやすく、子供たちの、やる気やチャレンジ精神を引き出します。子供たちは、ダンサーの真似をすることで楽しみながら自然に体全部を使って踊ることができるようになります。ペットボトルに入った水の音や振動が心地よく手の感触に伝わって、リズムを取りやすくなるので、あっという間に全員で踊れるようになります。</p> <p>▶一緒に踊る喜びを共有 ペットボトルを手を持って踊る共用感、安心感。ペットボトルを使って踊る発想力とユニークな進行内容に“人前で表現する抵抗感”が楽しみへと一変します。みんなと一緒に踊る喜びを獲得してもらいます。</p> <p>▶子供たちが主役 私たちのワークショップでは、男性ダンサー(指導員)と女性ダンサー(指導員)で構成し、特に男性(先生)や男子(児童生徒)も力を発揮できるユニークで楽しい時間づくりをこだわっています。子供たちの“身体で表現する積極性”を引き出し、男子も女子も、学校全体でパフォーマンスを楽しめます!</p> <p>(主な感想) 「気がついたら踊れた!」(小 5 男子)、「やってみたら汗が出て楽しかった」(小 6 女子)、「普段あまり人前で発表しない子が前に出て踊って驚いた」(先生)、「恥ずかしがってここまでやれると思わなかった」(先生)、「こんなに乗りの良い子供たちを初めてみた」(先生)、「上手い下手を気にしないで踊れることがこんなに楽しいと知らなかった!」(先生)</p>

<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>特別支援学校、聾学校、盲学校の実施では、普段の授業での、児童・生徒の様子を見学にお伺いしたうえで、ワークショップの内容を検討します。具体的に以下の流れで実施に向けて準備します。</p> <p><u>ワークショップ実施の2ヶ月前</u></p> <p>ワークショップ講師:川野真子と制作担当者:久保田広美の2名で学校を訪問します。主に音楽と体育の授業を見学した後、事業担当の先生と直接打ち合わせおこない各学校に寄り添ったワークショップ内容にアレンジします。</p> <p><u>ワークショップ実施の1ヶ月前</u></p> <p>ワークショップの進行内容と子供たちに踊ってもらう動きの内容を先に先生たちに確認してもらいます。※限定 YouTube</p> <p><u>ワークショップ当日</u></p> <p>特別支援学校では、事前の準備で各学校の状況、児童・生徒の様子に寄り添ったワークショップ内容にアレンジしています。また、ホワイトボードを使って進行の見通しができるようにするなどの工夫を行います。</p> <p><聾学校></p> <p>「ペットボトルダンス」と「手話ダンス」のふたつの踊りを習得してもらいます。手話通訳の先生と一緒にワークショップを進行しますが、基本的に、ダンサーの動きを見ながら振付を覚えられます。その他、ペットボトルの水の中にプラスチックのビーズを混ぜてより感触が伝わりやすくなる工夫(※ビーズはこちらで準備)。動きに合わせてダンサーが和太鼓をたたくなど振動でリズムを伝える工夫をします。</p> <p><盲学校></p> <p>「ペットボトルダンス」の“リズムック・バージョン”を習得してもらいます。十分なコミュニケーションを前提に、自由でリズムカルに身体を使えるよう「呼吸と合わせてやってみる」→「音楽に合わせてやってみる」→セッションを楽しみながらダンサーと子供たち、双方をうまく結びつける表現性のある動きの範囲を広げます。</p> <p><u>本公演における工夫</u></p> <p>ワークショップの実施後、事業担当の先生と本番当日の進行から子供たちに必要な情報保証までの内容についてしっかりと打ち合わせおこないます。</p> <p>作品『さーかす』では、鑑賞体験に必要な情報提供(手話通訳、音声ガイド)をも演出の一部として楽しめるよう工夫しています。子供たちには、舞台空間だけでしか得られない創造的な時間を身体全部で味わってもらいます。</p> <p>聾学校では、児童・生徒に「ペットボトルダンス」と「手話ダンス」を披露してもらいます! 盲学校では、「ペットボトルダンス」の“リズムック・バージョン”を披露してもらいます!</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 子供たちの鑑賞時の妨げとならないよう音(音響)の大きさや照明の明暗の調整についても綿密な打ち合わせをいたします。 ➤ 終演後、ダンサーと子供たちとのふれあいの場を作ります。 <p>ワークショップと公演を通じて踊ったダンスは、運動会や様々な発表の場面でも使用できるように表現教育の一環として教材資料を提供します。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

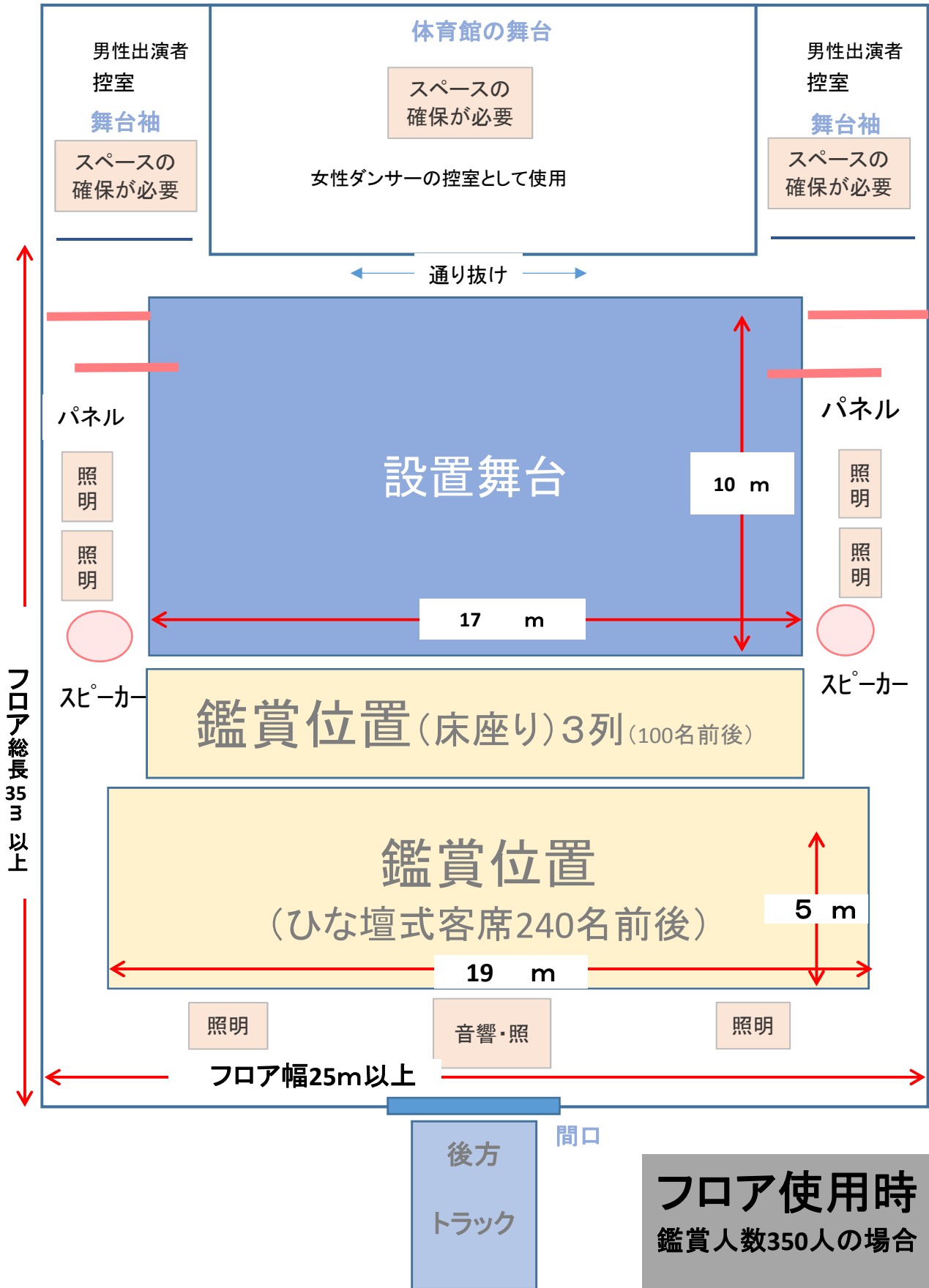
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	J114	分野	舞踊	種目	現代舞踊	ブロック	J	区分	A区分
公演団体名	ナチュラルダンスアトル			制作団体名	株式会社ナチュラルダンスアトル				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件	スタッフの食事場所として使用。出演者は既存舞台上、舞台袖使用の為、部屋は不要。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4トラック 2台		3トラック 1台		
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4トラック、3トラック				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m ※経路の条件が良い場合はこれ以上でも可				
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> ・階段のない経路が望ましい。 ・舗装された経路が望ましい。 				
		理由			仮設客席、音響・照明、重量のある機材を搬入するため				
	可	設置階の制限 *			1階の体育館が望ましい。				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	2m		
WSIについて	可	参加可能人数			全校生徒				
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *		なし	
	可	所要時間の目安 単位:分			60分				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			1公演350名程度だと鑑賞し易いです。それ以上の場合、観えにくい生徒が出ますので、2回公演で対応します。				
	不可	舞台設置場所 *			フロア				
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	17m	奥行	10m	高さ	7m以上が望ましい
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要		
	可				舞台袖スペースの条件 *		6名が着替えられるスペース確保		
	可				緞帳 *	要		バトン *	不要
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	照明効果の為		
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	可			ピアノの事前調律 *		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	不可	公演に必要な電源容量			75A		※主幹電源の必要容量		
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m以内 ※経路条件が良ければこれ以上でも対応可			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

文化芸術による子供育成総合事業

現代舞踊(ダンス) ナチュラルダンスステアトル



さーかす 生きる力の、

ダンスで元気注入!



(物語の内容)

主人公の一郎は自分のやりたいことが見つからないで毎日をぐだぐだ過ごしていました。ある日、そんな一郎の前に昭和のサーカス団が現われます。戦後、日本が今よりもずっと貧しかった頃、もちろん携帯電話やパソコン、高いビルもなかった、そういう時代を一生懸命に生きたサーカス団が現代っ子の一郎の心に生きる力を吹き込みます。みんなの知っているサーカスとはちょっと違います。この物語は、主人公の一郎とみんなの、生きる力のサーカス!

🌀🌀 見どころ1、ダンスで見る心暖まる物語

作品「さーかす」は、〈音楽〉と〈ダンス〉と〈劇〉がひとつになった作品です。物語をダンスで表現するところが作品の大きな特色です。ダンサーのダイナミックな踊りとあくまでナチュラルな表現。子供たちに「言葉を使わないで物語がわかる!」驚きを通して、身体で表現する素晴らしさを自分のものにしてもらいます!



🌀🌀 見どころ2、学校の体育館が劇場になった!

「なんだ、これ!? すげーっ!」、体育館に入って来た子供たちは、本格的な舞台設営や客席を目にして驚きのあまり声をあげる。子供たちの想像力をわき立たせる大掛かりな仕掛けを使った舞台装置が学校の体育館に出現します! 普段見慣れた場所が一夜にして劇場に変わる驚きを学校全体で味わってください! 体育館の天井に吊られたサーカスのテントが様々な形になって揺れ動き、低学年の児童も最後まで集中して見ることができます。



🌀🌀 見どころ3、美しさと優しさの詰まった世界観

海のシーンでは、特殊効果を使った光のイリュージョンを全身で味わってもらいます! まるで、自分が海の底にいるような圧倒的に美しい世界観。詩(金子みすず)の朗読が加わり、いのちの大切さが子供たちの心に染み渡ります。



舞台芸術と子供たち・プレミアム

子供たちが舞台上で踊るまでの体験を完全サポート!

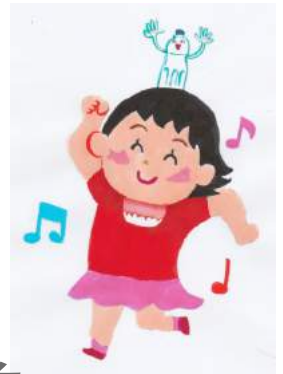


体験

ペットボトル ダンス ワークショップ

ペットボトルダンスは、プロダンサーの開発した優れたダンス ワークショップです。長年の実践を通じてダンスの動きを子供たちの反応に合わせて厳選した内容。ダンスに対する知識や経験がなくても、ダンサーとのコミュニケーションを楽しみながら 誰でも一緒に踊れるようになります!

本格的な舞台設営の中で ▶ 本番前のリハーサル ▶ ダンスカンパニーの一員となって踊ってもらいます!



鑑賞

プロの演出家、振付家、ダンサーと優秀なスタッフや技術チームとの結束力で、総合的な舞台芸術作品を子供たちのために学校の体育館で最高の状態で上演します。「体育館が劇場になった!」という驚きを学校全体で味わってもらいます。★★★ワークショップで覚えたダンスを児童・生徒に舞台上で披露してもらいます。

本公演で使用する映像に出演!

学校の思い出に残るドラマ制作

事前ワークショップの時にダンサーの演技指導のもと児童・生徒に演技してもらいプロのカメラマンが映像を撮影します。映像は編集、DVD化し、事業全体を振り返る映像、大切な思い出として学校に寄贈します。

学校のニーズに合わせて内容をアレンジ!

★★★ 吹奏楽部とダンサーのコラボレーション

作品「さーかす」は、様々な楽曲とダンスとのコラボレーションが子供たちの五感を刺激します。中でもサーカスと言えば マーチ! メインとなる楽曲で吹奏楽部とダンサーのコラボレーションを実現してみませんか? 事前ワークショップの日に部活にダンサーがお伺いして顔合わせ、本番当日に最終音合わせのリハーサルをおこないます。

★★★ 聾学校の公演

ワークショップで覚えたダンスと手話ダンスを披露してもらいます!

★★★ 盲学校の公演

〈移動型鑑賞〉児童・生徒には体全部で作品「さーかす」の中に入り込んでもらいます。



VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合」事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ

A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり

なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんざいだんほうじん のうがくどうかしょうかく 一般財団法人 能楽堂嘉祥閣		
代表者職・氏名	代表理事 井上周久		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒604-0866 京都府京都市中京区西方寺町 160-1 (最寄り駅: 地下鉄丸太町駅)		
電話番号	075-222-0618 (緊急連絡先 080-6124-0398 吉田方)	FAX番号	075-256-2883
ふりがな 公演団体名	いっばんざいだんほうじん のうがくどうかしょうかく 一般財団法人 能楽堂嘉祥閣		
代表者職・氏名	代表理事 井上周久		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒604-0866 京都府京都市中京区西方寺町 160-1 (最寄り駅: 地下鉄丸太町駅)		
制作団体 設立年月	昭和 35 年 8 月		
制作団体 組織	役員 代表理事: 井上周久 業務執行理事: 浦部好弘、後藤房夫	団体構成員及び加入条件等 構成員人数: 155 名 加入条件: 加入希望者のうち代表理事の承認を得た者	
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	井上由記子、吉田麻衣
経理処理等の 監査担当の有無	有・無	経理責任者名	井川正隆(税理士)

制作団体沿革	<p>・京観世 およそ 400 年程前・江戸時代、関西・特に京都では能の詞章「謡」がたいへん流行りました。その謡曲を教える師範にあたった、岩井・浅野・菌・林・井上の五家を「京観世五軒家」と称し、昭和の時代まで隆盛を極めました。</p> <p>・井上家 井上家は、菌家の高弟で、五代目・嘉助の子息は菌家の養嗣子となります。明治維新後、菌家が途絶えると井上家はその芸系を継ぎます。以後、能楽界において中心的な役割を担っています。</p> <p>当財団代表理事を務める当代 11 代目井上裕久は、京都で活動している能楽師が加入する京都能楽会の理事長、また全国の能楽師が加入する能楽協会の本部理事も務め、京都は勿論のこと全国にて能楽の普及および発展の為に活動しています。加えて、京都市観光協会理事として、能楽のみならず日本文化の存続と普及、国際交流に携わり、国立能楽堂の講師として、次世代の育成にも力を入れています。</p> <p>【一般財団法人 能楽堂嘉祥閣の沿革】 大正 14 年(1925 年) 9 代目井上嘉介により、旧嘉祥閣舞台を建設。 昭和 35 年(1960 年)財団法人 松声会 設立。 昭和 36 年(1961 年)第二次世界大戦の強制疎開によって失った舞台を、能楽堂「嘉祥閣」として再建。 平成 25 年(2013 年)一般財団法人 能楽堂嘉祥閣に改称し、能楽の育成、普及および発展などを目指した事業を行う。</p>		
学校等における公演実績	<p>50 年以上に亘り、年間複数回の公演と、学校へのワークショップ等多数実施。</p> <p>平成 29 年 嘉祥閣における公演会 5 回、学校への能楽公演 4 校 平成 30 年 嘉祥閣における公演会 5 回、学校への能楽公演 10 校 令和 元年 嘉祥閣における公演会 5 回、学校への能楽公演 6 校</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>平成 29 年 能楽公演1校</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等 申請する演目の DVD または WEB 公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	(有) ・ 無 (有) ・ 無 ID:不要 PW:不要
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	有 ・ 無 ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般財団法人 能楽堂嘉祥閣】

対象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中学生			
企画名	絵にかいてみよう 能の世界			
<p>本公演演目</p> <p>原作／作曲 脚 本 演出／振付</p>	<p>能「鶴」と狂言「柿山伏」</p> <p>[1 部] 1. 始まりのご挨拶と話 7 分 2. 狂言「柿山伏」実演 15 分 3. 囃子「獅子」実演 3 分 4. 囃子のリズムに合わせて校歌斉唱 2 分 5. 囃子の説明 9 分 6. 小鼓体験 6 分 7. 狂言「三番三(さんばそう)」実演 3 分 ～休憩 5 分～(学校の休憩時間にあわせて)</p> <p>[2 部] 8. 舞発表 3 分 9. 話 3 分 10. 能「鶴」実演 34 分 11. 終わりのご挨拶 5 分 (公演時間: 休憩時間を含め計 95 分)</p>			
著作権	制作団体が 所有		制作団体以外が所有する事 項が含まれる	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	<p>1. 始まりのご挨拶 日本人が何千年の間大切にしてきた儒教・孔子の教えに基づき、「礼に始まり礼に終わる」を実践する意味で、まずは挨拶より始めます。</p> <p>その後、扇の最後の仕上げ(紙を折る)を全員で行い、学校側に選んでもらった扇の優秀作の発表を行います。</p> <p>その後、後の実演のイメージがわきやすいよう、狂言の実演演目である「柿山伏」の話をしします。</p>			
				

2. 狂言「柿山伏」の実演

[あらすじ]修行を終えて故郷に帰る山伏は、空腹のあまり途中にある柿の木に登って実を食べます。それを見つけ腹を立てた柿の木の持ち主は、山伏をからかい、それにより山伏は柿の木から飛び降りることになってしまいます。



体を痛めた山伏が今度は腹を立て、看病せよと祈り、逆襲に出ます。そして…。



3. 囃子「獅子」実演 能楽の中で一番といてもいいほど迫力のある「獅子」を実演し、その前に実演した狂言とはまた違った雰囲気を感じていただく。



4. 校歌 日本人は何千年に渡り、七五調の言葉を美しい詞としてきました。学校の校歌も七五調を重んじて作られている学校が多いです。その学校の校歌に囃子を入れて行うことにより、七五調を理解してもらい、日本語の持つ美しさに気付いてもらおうと思います。また子供たち全員に歌ってもらい、そのリズムに合わせて囃子を行うことで、囃子に親近感を持ってもらいます。

5. 囃子の説明 能楽の中で使用する楽器“囃子”。笛・小鼓・大鼓・太鼓について、どのような素材が使われ、どのような仕組みなのか、またその使用方法や演奏方法、それぞれの特徴などについて説明します。



6.小鼓体験 児童・生徒全員に“エア－小鼓”にて、小鼓の構え方、打ち方を教え、演奏の真似を行ってもらいます。



7.狂言「三番三」実演 先の“6.小鼓体験”を児童・生徒全員で行いつつ、他の囃子も加わり、狂言「三番三」の一部を紋付袴姿で実際に演じます。児童一人一人が演者の一員となり、全員で鼓を打っている中、他の囃子も加わり、狂言「三番三」を演じる事により、狂言や囃子をより身近に感じてもらい親しんでいただきます。



【 狂言「三番三」 とは】

能「翁」で翁の祝言の舞に続けて狂言方が舞う舞。内容は魂振鎮魂をして五穀豊穡を祈り、感謝をささげるものである。



8.舞発表 代表者数名は舞台上がってもらい、他の児童・生徒は自分の場所で、ワークショップの時に行った舞体験を再び行ってもらう。
そして、ワークショップで稽古した謡も全員で謡う。



9.話 ワークショップで既にあらすじのコミック版を配り解説を行っていますが、再度児童・生徒達に能「鶴」について興味を持ってもらう為、話をします。

10. 能「鶴」 実演

[あらすじ] 三熊野に参詣した僧(ワキ)が、都に上がる途中、蘆屋の里にて一夜を明かしていると、うつほ舟に乗った者(前シテ)が現れたので、名を訪ねると、頼政の矢先にかかって死んだ鶴の亡魂と答え、その時の事を語り、弔いを乞い、消え失せる。一中入一僧が読経していると、鶴(後シテ)が現れ、頼政に退治された事を語り、なお回向を乞い、消え失せる。

※後述のワークショップ実施形態及びワークショップ説明内に、あらすじを詳しく説明したコミック版を載せております。(実際にワークショップの際に配布する資料です。)



舞台上で実際に演者が謡う台詞を書いた“詞章”を、実演時に資料としてみなさんにお配りします。行う演目の詞章は、通常流儀によって言葉が変わります。例えば、観世流ですと、ワキ方・狂言方は流儀が違うので、詞章を見ても実際に演じる時には多少言葉が違うという問題が起こるのですが、今回資料として配布する別紙の詞章は、すべての台詞をそれぞれの流儀の言葉に直して作成してあるため、別紙を観ながら舞台をみる児童・生徒たちが、その時々のシーンを演じているのか理解しやすく、現代劇により近い感覚で楽しみながらご覧いただく事ができます。





11. 終わりのご挨拶 公演の最後に児童・生徒たちの感想を聞き、質問に答える時間を設け、終演とします。

演目選択理由

狂言「柿山伏」…狂言を代表する演目の一つで、小学校の教科書にも掲載されており、ストーリーも簡潔で分かりやすいため。

能「鶴」…平家物語や源平盛衰記などに登場する、日本を代表する妖怪・もののけの一種である鶴。

古くは「ゲゲゲの鬼太郎」や「仮面ライダー」、最近では「BLEACH」や「刀剣乱舞」といった人気のマンガやアニメなどの中で、キャラクターや劇中に登場する刀のモチーフになるなど、身近なところでその姿を見ることが出来ます。

また、近年子供達にとっても馴染みのある「妖怪ウォッチ」(※参考:関西地方の A 小学校にて 604 人中 581 人が“妖怪ウォッチを知っている”とのアンケート結果)においても鶴をモチーフにしたキャラクター妖怪「ぬえ」が登場し、同じくアンケートによると全体の 62% の児童が実際にこの「ぬえ」を知っているとの結果でした。

このように多くの子供達がよく知る「鶴」が登場する演目を題材にすることで、子供達が今楽しんでいる事柄にもルーツがあり、日本文化と深い関わりがあるという事を知ってもらい、より親近感を持って能の舞台を見てもらうことを一番のねらいとします。

※「ゲゲゲの鬼太郎」第 50 話(令和元年 4 月 7 日放送)は『鶴』のストーリーでした。

また、この演目のクライマックスには派手な型があり、子供達にも楽しんで見ていただけます。なお、半能という形でクライマックスのみをご覧いただく事も出来ますが、観世流においては現行曲 210 曲中 70% の 147 曲が、前場面と後場面に分かれており、同じ演者が早着替えにより違う衣装を着て演ずる姿を見てもらう為、あえて半能ではなく、前場面と後場面の両方を見ていただける形の実演に致しました。

<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・囃子のリズムに合わせて校歌斉唱(全員) ・小鼓体験(全員) ・狂言「三番三」実演時の小鼓(全員) ・舞発表(全員) ・舞発表時の謡(全員) <ul style="list-style-type: none"> ・・・ワークショップ時に稽古した謡を覚えてもらい、皆様にお配りした扇を持って、舞発表時には実際に演者と一緒に謡い、舞う。 <p>以上の通り、一部の人だけではなく、全員が体験・共演・参加する事の出来る形態で公演を行い、全員が能楽について触れて、より身近なものとして感じてもらい楽しんでもらう。</p>		
<p>出演者</p>	<p>シテ方: <u>井上裕久(井上周久)</u>、<u>佐伯紀久子</u>、<u>勝部延和(田中延和)</u>、<u>吉浪壽晃</u>、<u>浅井通昭</u>、<u>寺澤幸祐</u>、<u>浦部幸裕</u>、<u>味方團</u>、<u>松井美樹(木村美樹)</u>、<u>吉田篤史</u>、<u>松野浩行</u>、<u>宮本茂樹</u>、<u>鷺尾世志子(橋本世志子)</u>、<u>河村和貴</u>、<u>河村浩太郎</u>、<u>藤井丈雄(勇海 丈雄)</u>、<u>樹下千慧</u>、<u>浦田親良</u>、<u>寺澤拓海</u> より 9名</p> <p>ワキ方: <u>岡充</u></p> <p>笛方: <u>森田保美(西村保美)</u>、<u>左鴻泰弘</u> より 1名 小鼓方: <u>久田陽春子(寺澤陽春子)</u>、<u>林大輝</u> より 1名 大鼓方: <u>石井保彦(増井保彦)</u> 太鼓方: <u>井上敬介</u></p> <p>狂言方: <u>茂山千五郎(茂山正邦)</u>、<u>茂山茂</u>、<u>茂山逸平</u>、<u>茂山千之丞(茂山童司)</u>、<u>島田洋海</u>、<u>井口竜也</u>、<u>鈴木実</u>、<u>山下守之</u> より 2名</p> <p>※<u> </u>は重要無形文化財保持者(総合認定)であり、その他出演者も、能楽界の第一線で活躍している経験豊かな能楽師です。</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 16名 <u>スタッフ: 0名</u> 合計: 16名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 0.75 t 車長 4.285 m 台数 1台</p>

公演に当たっての
会場条件

実施条件等確認書①をご確認ください。

会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(1 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	12:00	12:30~13:30	13:30~15:05	5分	15:05~16:00	16:00
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	1~1,500名				
	本公演	1~1,500名				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>1.能の話 10分 2.コミック版「鶴」解説 10分 3 謡体験 25分 ~休憩 5分~(学校の休憩時間に合わせて) 4.舞体験 25分 5. 扇の作成 20分 (実施時間:休憩時間を含め計 95分)</p> <p>=====</p> <p>扇を自分で作成する事で、感性・創造性を育み、子供達の個性や能力を発見し、さらに同じグループの児童同士で助け合う事で、コミュニケーションの活性化を図ります。 また、本公演当日に優秀作の発表を行う事は他者理解を深めることに繋がります。</p> <p>さらに、本物の舞台である本公演を間近に見て体験する事によって、日本の未来を担う子供達に CD の音源や DVD の映像などでは得られない感性を伸ばしていただき、想像力・思考力や創造力を豊かにしてもらいます。</p> <p>ワークショップでの解説で能と狂言の違いなどを知ってもらった上で、本公演時にそれぞれの実演を行う事によって、今後の学校教育の指導の中で役立てていただきたいです。同じく、挨拶や「礼に始まり礼に終わる」という言葉をご理解いただき、教育現場においても役立てていただきたいと思います。</p> <p>そして何より、能楽師の能力への関心を高め、能楽に触れる事を通して日本文化の豊かさを改めて知り、日本人であることに誇りを持ち、ゆくゆくは未来の日本文化を支える力になりたい、と思ってもらえるように、本事業に取り組んでいきます。</p> <p>=====</p> <p>1.能の話 子供達に能楽について知ってもらう為、まずは簡単に能について、歴史も含めて話をします。</p>					
						
	<p>2.コミック版「鶴」解説 本公演で実演する能「鶴」のあらすじをコミカライズし、子供用に編集したものを児童・生徒に配布し、使われている難しい言葉を説明しながら、皆に読んでもらう。普通にあらすじを配るよりも理解が増し、より親しみやすくなります。</p>					

※実際に配布する“コミック版「鶴」”のサンプルを以下に掲載します。

【「鶴」あらすじコミックサンプル①】



登場人物

●シテ (主人公)



●前シテ 舟人
夜な夜な舟に乗って現れる。正体は鶴の亡霊。



●後シテ 鶴
顔は狼、手足は虎、尾は蛇の妖怪。源頼政に退治された。



●フキ 旅僧
全国を修行して回っている旅の僧。



●間狂言 里人
芦屋の里人。旅の僧を心配してくれる。

●源頼政 (みなものよりまさ)
弓の達人
鶴退治で有名。



熊野三社で修行をし、さらに西を目指す旅の僧がいた



日が暮れてきた...

摂津国芦屋で里人に一夜の宿を願うが断られてしまう



土地の決まりで泊められないんですよ

里人は怪しい舟人が現れるという御堂を教えてください



【「鶴」あらすじコミックサンプル②】



3. 謡体験「鶴」

- ・児童全員に扇を持ち、構え方・謡い方を知ってもらう。
- ・本公演時の実演・能「鶴」の謡の一部を稽古して覚えてもらう。
- ・本公演時まで覚えてもらい舞発表を行う際一緒に謡ってもらう。



さてひー をともし、 よくみれば

かしらー はさる おはくちなわ。

あしでー はとらの、 ごとくにて。

なくこえぬえにー、にたりけりんー。

おそろしー なん

おろか なるうー がたちー、なりけりー。

鶴 ねえ

さて火を灯しよく見れば。
頭は猿尾は蛇。
足手は虎の如くにて。
泣く聲鶴に似たりけり。
恐ろしなんども
疎かなる形なりけり。

はるかにてらせー。やまー のはのお。

はるかにてらせーえ。

やー まのはのー つきとー ともにー。

かー いげくんもー いりにけり

かー い げつ とー と

も にー、いりにけりー。

遙かに照らせ。山の端の。
遙かに照らせ。山の端の
月と共に。
海月も入りにけり。
海月と共に入りにけり。

4.舞体験

・児童・生徒全員に自作の扇を持ってもらい、まずは扇の開け方・閉め方を知ってもらおう。



・児童・生徒全員に構えを覚えてもらい、能の歩き方である“すり足”を覚えてもらおう。



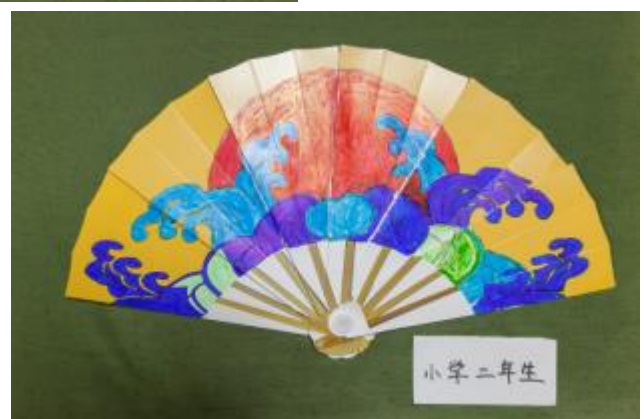
・児童・生徒全員に本公演で行う型(別紙本公演資料詞章の 2 ページ目・終りの 2 行の部分)を稽古して覚えてもらおう。



※なお、本公演時にも舞体験を少し行い、実演・能「鶴」の時に、覚えた型を見てもらおう。

5.扇の作成

・児童・生徒全員に配布した白紙の扇に、色鉛筆やクレヨンなどで、線画の太陽や波に色を塗り、余白に自分の名前を書いてもらう。



・本公演までに鶴を想像、または調べてもらい、鶴の絵を描いてもらう。

(写真は令和元年度公演実施校で作成してもらった扇の優秀作)





- 本公演時に、折り線に従って扇に折り目を付け、最後の仕上げをしてもらう。
- 事前に優秀作を先生方を選んでおいてもらい本公演時に全員の前で発表する。



<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>本事業におけるワークショップは、能楽への“気づきのプログラム”として非常に重要なプログラムだと考えます(また本公演とワークショップは互いに“連動”したものであり、本公演では、能楽の鑑賞体験だけでなく、ワークショップの成果を組み入れた構成とします)。能楽の一番の分かりづらさは、当時の「言葉遣い」と「立ち居振る舞い」。この2つの要素を、現代の子供たちに馴染み深い方法で学習・体験してもらうことは、能楽への気づきとして、子供たちの創造力を刺激し、子供たちなりの能楽観の醸成に役立つと考えます。</p> <p>(1) 能楽のルールを知る 能や狂言には、現代の表現の仕方とは違う所作(ルール)があります。この能楽特有のルールについて知ることが、能楽理解の第一歩。</p> <p>(2) コミックで作品世界を知る テキストに加え、絵やオノマトペ的な表現も可能なコミックは、総合芸術である能楽作品の世界感を直観的に理解させる教材として最適です。 また、後程行う扇の作成において、子供達が扇に描く「鶴」を想像するヒントにもしてもらいたいです。</p> <p>(3) 声に出して謡ってみる 本公演時に行う鶴の謡を稽古し、本公演時に実際に一緒に謡うことで、児童の芸術・芸能に必要な能力を高めることにつながります。</p> <p>(4) 実際に能の舞を舞ってみる 同じく本公演時に行う鶴の舞の型を稽古することによって、能の実演時には、より興味を持って舞台を鑑賞してもらい、日本の文化の豊かさを体感してもらいます。</p> <p>(5) オリジナルの扇を作ってみる 扇は、日本独自の文化で1,300年以上の歴史があります。ですが昨今、持ち方や開き方が分からない人が多数いらっしゃいます。児童全員に扇を持ってもらい、持ち方や開き方を覚えてもらい、扇という日本の生んだ文化を知ってもらおうと思います。</p> <p>また、扇(本公演時、能「鶴」でシテ(主役)が持つ、負修羅扇-浪に太陽が沈む扇-)に自分で色をつける事により、能の扇についても勉強してもらいます。 さらに、鶴の絵を描くにあたり、“頭は猿、尾は蛇、足手は虎”という日本を代表する妖怪を自分で描くことで、色々と自分で想像してみたり、また高学年ならば鶴について調べたりすることで、児童の想像力や探究心を養うことにつながります。 この扇を1本70円程度の安価で用意が出来、物が残る事によって一層子供達の心にこの事業の思い出が残り、未来に役立ちます。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>通常学級と同じ内容での実施を基本としていますが、開催校の先生方と相談の上、能楽を楽しんでもらえるように、手取り足取りで体験時間をより長くするなどの工夫をしています。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

No.2 別紙メンバー表 (1/4)

【公演団体名：一般財団法人 能楽堂嘉祥閣】

<p>井上 裕久 (井上 周久) (昭和30年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分 重要無形文化財保持者(総合認定) (公益社団法人)能楽協会 理事 (公益社団法人)京都観世会 専務理事 (公益社団法人)京都市観光協会 理事 (一般財団法人)能楽堂 嘉祥閣 代表理事 (一般社団法人)京都能楽会 理事長 国立能楽堂三役養成事業 講師 平成30年度 京都府文化賞功労賞受賞</p>
<p>佐伯 紀久子 (昭和21年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分 重要無形文化財保持者(総合認定)※女性として初めての認定を受ける [主催公演]平成17年「第5回佐伯紀久子之会」 第60回文化庁芸術祭演劇部門「芸術大賞」受賞 平成18年度 兵庫県「文化功労」受賞 平成19年度 「神戸市文化賞」受賞 平成27年度 神戸新聞平和賞「文化賞」受賞</p>
<p>勝部 延和 (田中 延和) (昭和23年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分 重要無形文化財保持者(総合認定)</p>
<p>吉浪 壽晃 (昭和40年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分 重要無形文化財保持者(総合認定) (公益社団法人)能楽協会京都支部 常議員 (公益社団法人)京都観世会理事</p>
<p>浅井 通昭 (昭和39年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分 重要無形文化財保持者(総合認定) (一般社団法人)京都能楽会 理事</p>
<p>寺澤 幸祐 (昭和44年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分 重要無形文化財保持者(総合認定) (公益社団法人)能楽協会大阪支部 常議員</p>

(令和2年度申請分_出演希望調書添付資料)

No.2 別紙メンバー表 (2/4)

【公演団体名：一般財団法人 能楽堂嘉祥閣】

浦部 幸裕 (昭和42年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分 重要無形文化財保持者(総合認定)
味方 團 (昭和44年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分 重要無形文化財保持者(総合認定) [主催公演]第8回能楽「鏡座」公演「道成寺」 平成16年度名古屋市民芸術祭賞受賞 伝統芸能部門
松井 美樹(木村 美紀) (昭和44年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分
吉田 篤史 (昭和49年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分 重要無形文化財保持者(総合認定)
松野 浩行 (昭和49年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分
宮本 茂樹 (昭和50年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分
鷲尾 世志子(橋本 世志子) (昭和50年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分
河村 和貴 (昭和54年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分
河村 浩太郎 (昭和60年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分
藤井 丈雄(勇海 丈雄) (昭和50年生まれ) 能楽師 シテ方観世流師範
樹下 千慧 (昭和62年生まれ) 能楽師 シテ方観世流研修生
浦田 親良 (平成8年生まれ) 能楽師 シテ方観世流研修生
寺澤 拓海 (平成11年生まれ) 能楽師 シテ方観世流研修生
岡 充 (昭和60年生まれ) 能楽師 ワキ方高安流

(令和2年度申請分_出演希望調書添付資料)

No.2 別紙メンバー表 (3/4)

【公演団体名：一般財団法人 能楽堂嘉祥閣】

<p>森田 保美(西村 保美) (昭和38年生まれ) 能楽師 笛方森田流 重要無形文化財保持者(総合認定) (公益社団法人)能楽協会京都支部 常議員 (一般社団法人)京都能楽会 理事</p>
<p>左鴻 泰弘 (昭和41年生まれ) 能楽師 笛方森田流 重要無形文化財保持者(総合認定) (一般社団法人)京都能楽囃子方同明会 理事</p>
<p>久田 陽春子(寺澤 陽春子) (昭和48年生まれ) 能楽師 小鼓方大倉流 重要無形文化財保持者(総合認定) 平成16年度 大阪舞台芸術新人賞</p>
<p>林 大輝 (平成59年生まれ) 能楽師 小鼓方幸流</p>
<p>石井 保彦(増井 保彦) (昭和39年生まれ) 能楽師 大鼓方石井流宗家 重要無形文化財保持者(総合認定) (一般社団法人)京都能楽会 理事</p>
<p>井上 敬介 (昭和30年生まれ) 能楽師 太鼓方観世流 重要無形文化財保持者(総合認定) (公益社団法人)能楽協会京都支部 常議員</p>
<p>茂山 千五郎(茂山 正邦) (昭和47年生まれ) 能楽師 狂言方大蔵流 重要無形文化財保持者(総合認定) (公益社団法人)能楽協会京都支部 常議員 平成10年度 大阪市咲やこの花賞受賞 平成17年度 文化庁芸術祭新人賞受賞 平成20年度 京都府文化賞奨励賞受賞</p>
<p>茂山 茂 (昭和50年生まれ) 能楽師 狂言方大蔵流 重要無形文化財保持者(総合認定) (一般社団法人)京都能楽会 理事 平成23年度 京都府文化賞奨励賞受賞</p>

(令和2年度申請分_出演希望調書添付資料)

No.2 別紙メンバー表 (4/4)

【公演団体名：一般財団法人 能楽堂嘉祥閣】

茂山 逸平 (昭和54年生まれ) 能楽師 狂言方大蔵流 平成22年度 京都市芸術新人賞受賞 平成27年度 京都府文化賞奨励賞受賞
茂山 千之丞(茂山 童司) (昭和58年生まれ) 能楽師 狂言方大蔵流 平成30年度 京都府文化賞奨励賞受賞
島田 洋海 (昭和51年生まれ) 能楽師 狂言方大蔵流
井口 竜也 (昭和51年生まれ) 能楽師 狂言方大蔵流
鈴木 実 (昭和53年生まれ) 能楽師 狂言方大蔵流
山下 守之 (昭和51年生まれ) 能楽師 狂言方大蔵流

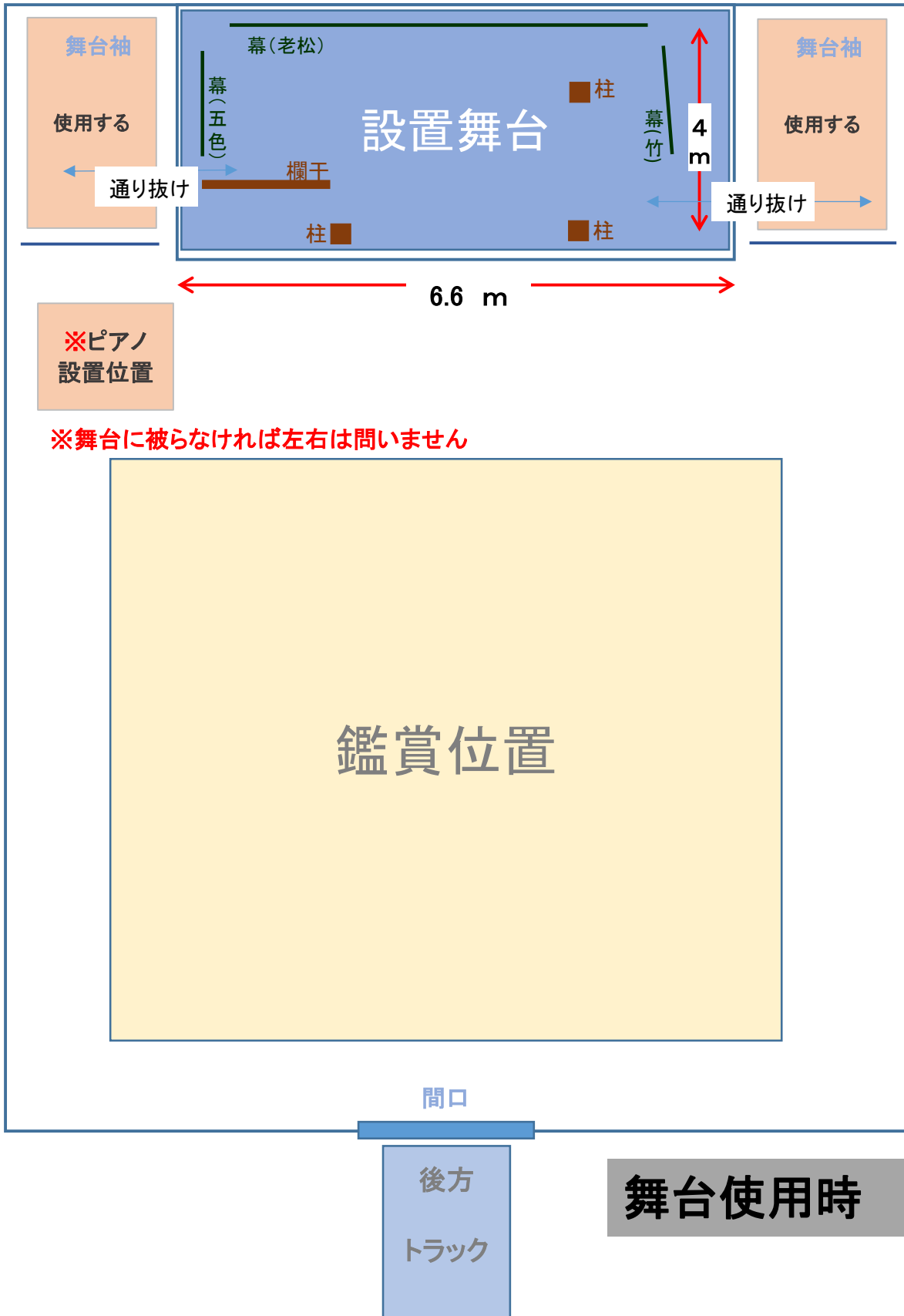
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	J115	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	J	区分	A区分
公演団体名	一般財団法人 能楽堂嘉祥閣				制作団体名	一般財団法人 能楽堂嘉祥閣			

① 会場条件等についての確認

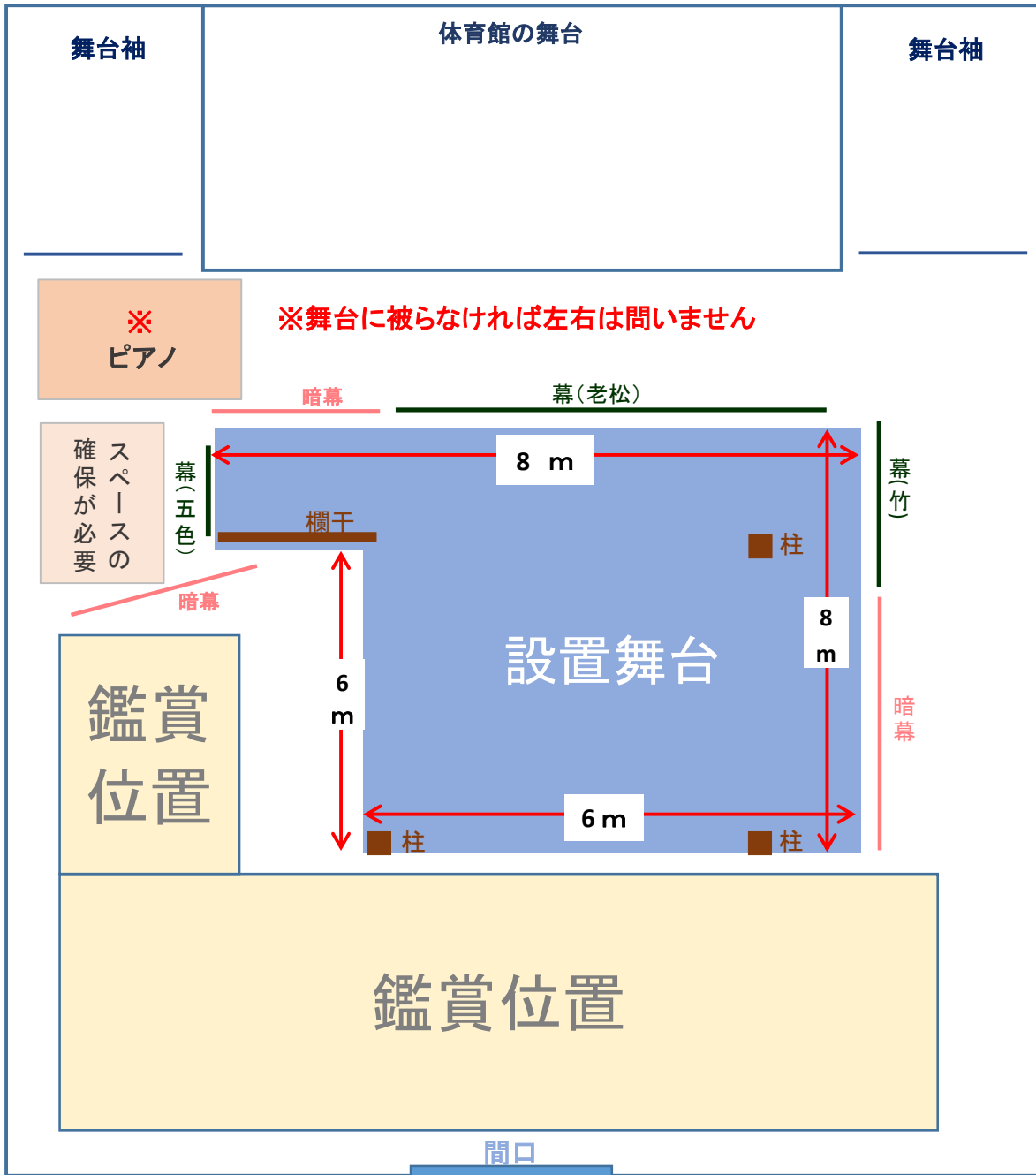
項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件	演者16名が着替えられる部屋が必要です。尚、男性とは別に女性もあり、極力2部屋あると助かります。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさや台数 *			バン	1台			
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			積載量0.75t、車長4.285m				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			可能であればバン1台のみ横付けを希望します				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			一般的な校内駐車場からの搬入移動は可能ですが出来るだけ会場に近い距離が望ましいです。				
	可	搬入経路の最低条件			特になし				
	/	理由			-				
	-	設置階の制限 *			問わない				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.2m	高さ	1.8m		
WSについて	可	参加可能人数			1,500名程度まで				
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			95分程度				
本公演について	/	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			1,500名程度まで				
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	6.6m	奥行	4m	高さ	指定なし
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要		
	可				舞台袖スペースの条件 *		袖に荷物が極力ない状態		
	可				緞帳 *	不要		バトン *	舞台使用の場合、可能であれば使用希望。
	-	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由	-		
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	-			ピアノの事前調律 *	不要				
	-	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	特に制限なし				
	-	公演に必要な電源容量			不要	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
可	・ハンドマイクを1本使用出来ればありがたいです。								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.2m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否	可能であればバン1台のみ横付けを希望します。			
横づけができない場合の搬入可能距離	一般的な校内駐車場からの搬入移動は可能ですが出来るだけ会場に近い距離が望ましいです。			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



フロア使用時

搬入間口について	幅	1.2m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	可能であればバン1台のみ横付けを希望します。			
横づけができない場合の搬入可能距離	一般的な校内駐車場からの搬入移動は可能ですが出来るだけ会場に近い距離が望ましいです。			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

え
絵にかいてみよう
のう
能の世界



いっばんざいだんほうじん のうがくどう かしょうかく
一般財団法人 能楽堂 嘉祥閣

ぶんかげいじゆつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業～巡回公演事業～

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

プログラム

のう ぬえ きょうげん かきやまぶし
能「鶴」と狂言「柿山伏」

[1部]

1. 始まりのご挨拶とお話
2. 狂言「柿山伏」実演
3. 囃子「獅子」実演
4. 囃子のリズムに合わせて校歌斉唱
5. 囃子の説明
6. 小鼓体験
7. 狂言「三番三」実演

きゅうけい ふん
～休憩 5分～

[2部]

8. 舞発表
 9. お話
 10. 能「鶴」実演
 11. 終わりのご挨拶
- こうえんじかん ふん
(公演時間 95分)

スケジュール

日程	実施校 (合同実施校)	地元主催者名
7月4日(木)	あまがさきしりつはましようがっこう 尼崎市立浜小学校	ひょうごけんきょういくいいんかい あまがさきしきょういくいいんかい 兵庫県教育委員会/尼崎市教育委員会
7月9日(火)	まつやましりつ あらたましようがっこう 松山市立新玉小学校	えひめけん えひめけんきょういくいいんかい まつやましきょういくいいんかい 愛媛県/愛媛県教育委員会・松山市教育委員会
7月10日(水)	やわたはましりつまつかげしようがっこう 八幡浜市立松蔭小学校	えひめけん えひめけんきょういくいいんかい やわたはましきょういくいいんかい 愛媛県/愛媛県教育委員会・八幡浜市教育委員会
7月11日(木)	せいよしりつ なかがわしようがっこう 西予市立中川小学校	えひめけん えひめけんきょういくいいんかい せいよしきょういくいいんかい 愛媛県/愛媛県教育委員会・西予市教育委員会
7月12日(金)	まつやましりつ こうのしょうがっこう 松山市立河野小学校	えひめけん えひめけんきょういくいいんかい まつやましきょういくいいんかい 愛媛県/愛媛県教育委員会・松山市教育委員会
9月24日(火)	とくしまし しんまちしようがっこう 徳島市新町小学校	とくしまけんきょういくいいんかい とくしましきょういくいいんかい 徳島県教育委員会・徳島市教育委員会
9月25日(水)	あなんしりつ ふくいちゅうがっこう 阿南市立福井中学校	とくしまけんきょういくいいんかい あなんしきょういくいいんかい 徳島県教育委員会・阿南市教育委員会
9月26日(木)	いしいちようあいはたしようがっこう 石井町藍畑小学校	とくしまけんきょういくいいんかい いしいちようきょういくいいんかい 徳島県教育委員会・石井町教育委員会
10月24日(木)	かとうしりつ たぎのひがししようがっこう 加東市立滝野東小学校	ひょうごけんきょういくいいんかい かとうし きょういくいいんかい 兵庫県教育委員会/加東市教育委員会
10月28日(月)	あまがさきしりつ むこ ちゅうがっこう 尼崎市立武庫中学校	ひょうごけんきょういくいいんかい あまがさきしきょういくいいんかい 兵庫県教育委員会/尼崎市教育委員会
12月4日(水)	あわじしりつ つなちゅうがっこう 淡路市立津名中学校	ひょうごけんきょういくいいんかい あわじし きょういくいいんかい 兵庫県教育委員会/淡路市教育委員会
12月9日(月)	ひだかむらさぎわちようがっこうあいらつかもちゅうがっこう ひだかむらさぎわちようがっこうあいらつかもちゅうがっこう 日高村佐川町学校組合立加茂中学校 (日高村佐川町学校組合立加茂小学校)	こうちけんきょういくいいんかい 高知県教育委員会
12月10日(火)	すさぎ しりつ うらのうち しょうがっこう 須崎市立浦ノ内小学校	こうちけんきょういくいいんかい 高知県教育委員会
12月11日(水)	かみ しりつ ふないれしようがっこう 香美市立舟入小学校	こうちけんきょういくいいんかい 高知県教育委員会

プロフィール

のうがくどうかしょうかく きょうとごしょ ちか きょうとし ま なか のうがくどう
能楽堂嘉祥閣は京都御所のすぐ近く、京都市の真ん中にある能楽堂です。

しょうわ ねん ねん いじよう のうがく こうえん がっこうむ おこな
昭和35年より50年以上にわたって能楽の公演や学校向けのワークショップを行っています。

のうがくどう かしょうかく
いっぽんざいだんほうじん 一般財団法人 能楽堂 嘉祥閣

♪ 知ってますか? ~ 10月1日は「国際音楽の日」です ~ ♪

ねん ようせい せつりつ こくさいおんがくひょうぎかい かいぎ よくとし ねん まいとし がつついたち
1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、
せかい ひとびと おんがく つう たが なかよ こうりゅう ふか こくさいおんがく ひ
世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。
にほん ねん まいとし がつついたち こくさいおんがく ひ さだ
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじんあわじにんぎょうきょうかい 公益財団法人淡路人形協会		
代表者職・氏名	理事長 正井良徳		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒656-0501 兵庫県南あわじ市福良甲 1528-1 地先 (JR 西日本 舞子駅、淡路交通 福良バスターミナル)		
電話番号	0799-52-0260	FAX番号	0799-52-3072
ふりがな 公演団体名	あわじにんぎょうざ 淡路人形座		
代表者職・氏名	支配人 坂東千秋		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒656-0501 兵庫県南あわじ市福良甲 1528-1 地先 (JR 西日本 舞子駅、淡路交通 福良バスターミナル)		
制作団体 設立年月	1964年 4月		
制作団体 組織	役員 理事長1名、副理事長2名、理事、 評議員	団体構成員及び加入条件等 淡路人形座 後継者団体出身者 淡路人形協会 淡路島内三市市長、教育長他	
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	島田 健太郎
経理処理等の 監査担当の有無	有・無	経理責任者名	島田 健太郎

制作団体沿革	1741年 吉田傳次郎座、座本組織の掟「相定申一礼事」に署名捺印 1916年 吉田傳次郎座、愛媛県内子町内子座のこけら落とし公演 1964年 吉田傳次郎座の道具を元に三原町市公会堂で興行を開始 1970年 国立劇場公演(「玉藻前囃袂」「賤ヶ嶽七本槍」通し公演) 1974年 兵庫県重要民俗資料となる アメリカ横断公演(1/26～4/3、カーネギーホールなど17都市19会場で25回公演、36回レクチャーデモンストレーション) 1976年 淡路人形浄瑠璃国の重要無形民俗文化財の指定 1991年 第1回全国人形芝居サミット&フェスティバル開催(以後第11回まで淡路で開催) 1998年 鶴澤友路国指定重要無形文化財保持者 義太夫節三味線に認定 2003年 島内小中学校・高校への出張講座開始 2005年 文化庁主催全国小中学校巡回公演企画開始 2010年 復活公演に取り組む ※他国内・国外公演多数		
学校等における公演実績	2013年 豊岡市連合小学校、高砂市立高砂小学校 2014年 神戸市立蓮池小学校、猪名川町立白金小学校 2015年 高砂市立高砂小学校、香住町中央公民館 2016年 姫路市立大塩小学校、明石市市民会館、渋谷区文化総合センター大和田 2017年 淡路市立学習小学校、姫路市立大津茂小学校、国立劇場 2018年 丹波市立ライブピアいちじま、白河市文化交流館、草加市文化会館 伊丹市立伊丹高等学校、姫路市立網干西小学校、稲美町立母里小学校 北海道平取町、札幌市こどもの劇場やまびこ座、兵庫県立津名高等学校 2019年 兵庫県立洲本高等学校		
特別支援学校における公演実績	2012年 長崎県大村支援学校 2014年 北海道八雲養護学校		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	○有 ・ 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	○有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 淡路人形座】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生		
企画名	【淡路人形芝居】		
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	<p>国生み神話の淡路島から人形芝居がみなさんの学校にうかがいます</p> <p>生写朝顔日記 大井川の段／原作：山田案山子他</p> <p>人形浄瑠璃教室／太夫・三味線・人形遣いによる人形浄瑠璃の説明</p> <p>戎舞／淡路人形に伝わる神事</p> <p>本朝廿四孝 奥庭狐火の段／原作：近松半次他</p> <p>公演時間約100分(途中休憩10分含む)</p>		
著作権	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾の有無
演目概要	<p>◆生写朝顔日記 大井川の段</p> <p>お家騒動を背景にした、駒澤次郎左衛門と深雪のすれ違い恋の物語です。大井川の段では、深雪は駒澤の後を追って大井川にたどり着きます。ところが、急な大水で川が渡れなくなりました。恋人を追うことができない不運を嘆き悲しむ姿が涙を誘います。</p>  <p>◎上演中の舞台の様子</p>		
	<p>◆戎舞</p> <p>昔、人形が神事に遣われていた頃の形式を最も残した戎舞は、おおらかな心を持ち、えびす顔でプラス思考に生きるという幸せの原点が込められています。各小中学校のみなさんに考えていただいた願い事を叶えようと、えびす様は御神酒を飲みながら祈り、幸せを運びます。酔っ払ったえびす様の面白おかしい姿など、笑いも交え楽しくご覧頂ける演目です。</p> 		

◆人形浄瑠璃教室

人形浄瑠璃教室では、人形浄瑠璃の魅力を分かりやすくお伝えします。人形浄瑠璃の歴史、太夫による発声法・役柄による語り分け、三味線弾きによる三味線の構造、状況描写の表現など、実演を交えて楽しく解説します。感情や情景を想像しながら聞いてください。

三人遣いの人形の構造や遣い方の説明と、代表の児童・生徒3名様が、人形遣いの体験もできます。永い間創意工夫が重ねられた伝統芸能を楽しく学べると好評です。



◆本朝廿四孝 奥庭狐火の段

人形芝居が最も充実した時代の作品の一つです。宝の兜をめぐる対立する上杉謙信と武田信玄。謙信の娘・八重垣姫と、信玄の息子・武田勝頼の恋の物語です。恋人の危機を救うために八重垣姫は・・・

琴や三味線の連れ弾きの伴奏と、人形と人形遣いが一瞬で早替りする演出がみどころの、人形芝居独特の華やかな魅力溢れる舞台です。



演目選択理由

人形浄瑠璃は世界で最も洗練された大人も楽しめる人形劇として、評価をされています。人形芝居が始まったころの形式の戎舞。そして全盛期を迎え、早替りや三味線・琴の連弾きがある華やかな演目。両方を見てももらえること、そして、神の使いの狐が登場するなど、楽しめる演出も多く子どもたちに好評なこと、舞台に参加しやすいことから演目を選びました。

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態

◆じょうりり体験

「生写朝顔日記 大井川の段」の公演では一緒に浄瑠璃を語って頂きます。太夫が直接指導しますので、大きな声を出して元気よく楽しみましょう。

最初は恥ずかしがる子どもたちも、だんだんと声を出せるようになります。



みんなで一緒に太夫を体験

◆人形つかい体験

人形浄瑠璃教室では、代表の児童・生徒 3 名様、三人遣いの人形の体験ができます。

本公演では「戎舞」で、戎様にお酒を注ぐ役の人形を遣えます。また、戎様の願いの言葉も子どもたちに考えてもらい、学校に応じた願い事を入れることができます。



えびす様にお酒を注ぎます

出演者

太夫：竹本友庄、竹本友里希、竹本友和嘉より 2 名
三味線：鶴澤友勇、鶴澤友吉、鶴澤友弥より 2 名
人形遣い：吉田新九朗、吉田史興、吉田徳蔵、吉田廣の助、吉田光太郎、吉田幸路、吉田千紅、吉田青豊、吉田松永、吉田明玉より 7 名

公演出演予定者数
(1公演あたり)

出演者： 11名
スタッフ： 2名
合計： 13名

機材等
運搬方法

積載量 1.5t
車長 5.1m
台数 2台

【公演団体名 淡路人形座】

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(2時間半程度) <table border="1" data-bbox="416 1048 1433 1173"> <thead> <tr> <th data-bbox="416 1048 544 1111">到着</th> <th data-bbox="544 1048 794 1111">仕込み</th> <th data-bbox="794 1048 999 1111">本公演</th> <th data-bbox="999 1048 1110 1111">内休憩</th> <th data-bbox="1110 1048 1305 1111">撤去</th> <th data-bbox="1305 1048 1433 1111">退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="416 1111 544 1173">8時半</td> <td data-bbox="544 1111 794 1173">8時半～11時</td> <td data-bbox="794 1111 999 1173">13時～15時</td> <td data-bbox="999 1111 1110 1173">10分</td> <td data-bbox="1110 1111 1305 1173">15時～17時</td> <td data-bbox="1305 1111 1433 1173">17時</td> </tr> </tbody> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至2時からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	8時半	8時半～11時	13時～15時	10分	15時～17時	17時
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
8時半	8時半～11時	13時～15時	10分	15時～17時	17時													
児 童 ・ 生 徒 の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数～100名																
	本公演	共演参加人数～34名、見学は特に制限なし																
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	<p>人形浄瑠璃についてのレクチャーと、本公演の上演に参加して頂くための練習をおこないます。人数によっては、拍子木や効果音、鳴り物、舞台下駄を履くなどの体験も出来ます。</p> <p>本公演での「生写朝顔日記 大井川の段」の浄瑠璃を語る練習と、「戎舞」の人形の遣い方を練習します。</p> <p>「戎舞」では、えびす様がみなさんの願い事を祈ります。えびす様が言うみなさんの願い事を、本公演までの間に学校で作ってもらいます。</p> <p>人形体験の生徒は、三人遣いの人形でえびす様にお酒を注ぐ人形を練習します。</p>																	
ワークショップ 実施形態の意図	<p>人形浄瑠璃は長い期間、大勢の創意工夫が重ねられ完成された舞台芸術です。人形、語り、三味線、舞台の道具や演出など、すべてが日本人の粋を集めた伝統芸能であることを分かりやすく、楽しく説明します。</p> <p>そして、公演に参加するために、人形を遣って戎様にお酒を注ぐ練習と、「生写朝顔日記 大井川の段」の浄瑠璃を語る練習をします。</p> <p>プロの技芸員は稽古を積み重ね、人形遣いは人形を美しく力強く遣うことができ、三味線弾きは情景や状況を三味線で表現し、太夫は身分や年齢・性別や性格による喜怒哀楽の表現も語り分けることができます。本物の舞台に立ち直接触れて学び、伝統芸能の魅力を体験してもらえます。</p>																	

特別支援学校での実施における工夫点	先生と事前の打ち合わせを十分行わせて頂きます。公演の内容変更は難しいですが、児童・生徒のみなさんに太夫・人形遣いの体験をしてもらえるよう、体験内容についての相談をさせていただきます。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

淡路人形座出演予定メンバー表

	担当	氏名	芸名
1	太夫	松崎 侯磨	竹本 友庄
2	太夫	澤田 美紀	竹本 友和嘉
3	太夫	沼田 あかり	竹本 友里希
4	太夫	近藤 翔	竹本 友富士
5	三味線	泉 裕子	鶴澤 友勇
6	三味線	木田 朱美	鶴澤 友吉
7	三味線	橋本 千夏	鶴澤 友弥
8	人形	円山 伸康	吉田 新九朗
9	人形	記虎 篤史	吉田 史興
10	人形	田村 公規	吉田 廣の助
11	人形	興津 徳也	吉田 徳蔵
12	人形	近藤 元基	吉田 光太郎
13	人形	数田 信介	吉田 幸路
14	人形	谷間 千里	吉田 千紅
15	人形	堤 昭太	吉田 清豊
16	人形	松本 篤	吉田 松永
17	人形	藤江 明梨	吉田 明玉

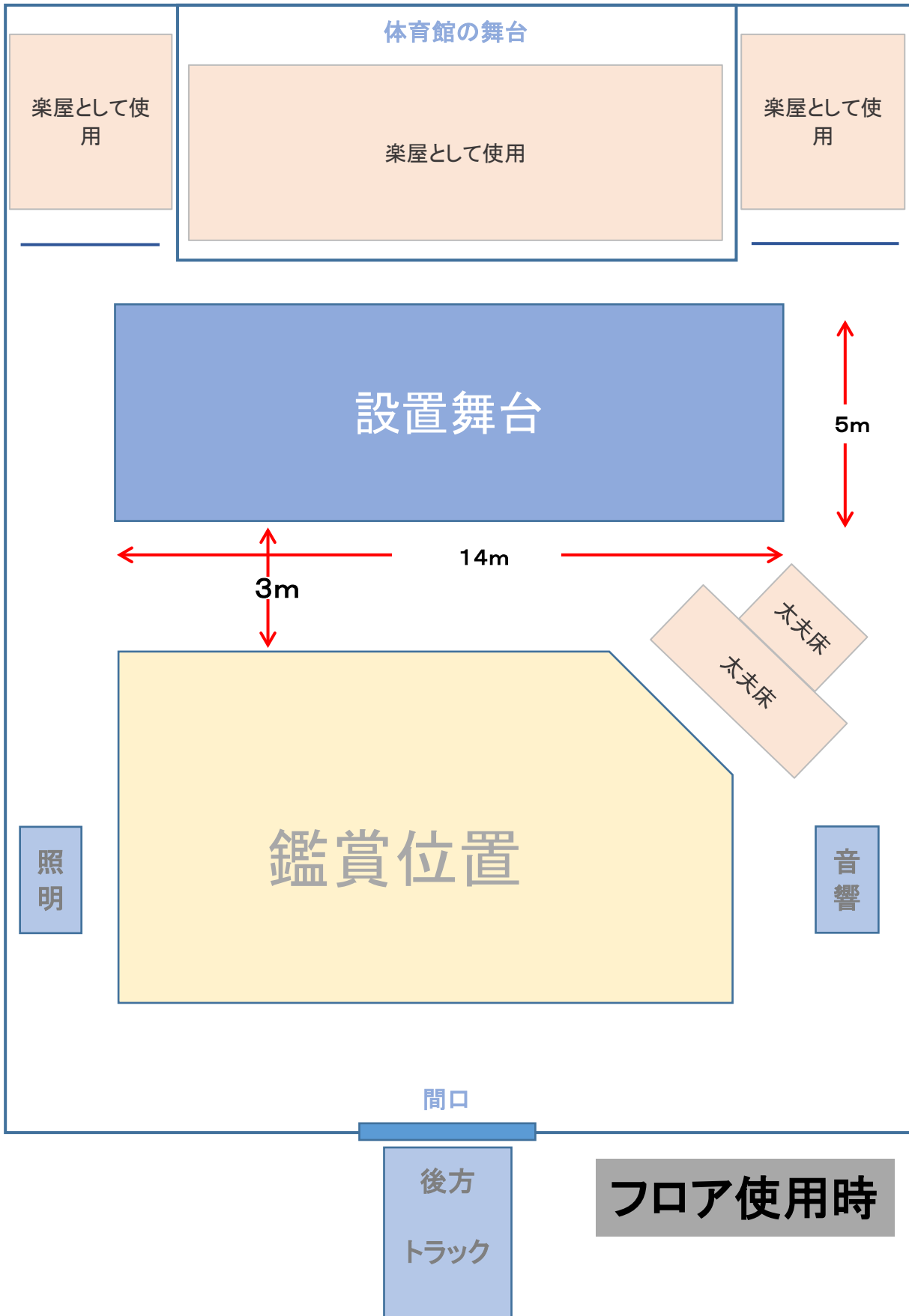
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	J116	分野	伝統芸能	種目	人形浄瑠璃	ブロック	J	区分	A区分
公演団体名	淡路人形座			制作団体名	公益財団法人 淡路人形協会				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	可	必要数 *	1室	条件	楽屋として使用							
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック	2台	バン	1台				
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			トラック長さ5m							
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要							
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			学校の敷地内であれば可(10m程度)							
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい							
		理由			機材を台車で搬入するため							
	可	設置階の制限 *			問わない							
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	1.8m					
WSIについて	可	参加可能人数			120名程度まで							
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし					
	可	所要時間の目安 単位:分			90～100分程度							
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			1000名程度まで							
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能							
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	14m	奥行	5m	高さ	指定なし			
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要				
	可				舞台袖スペースの条件 *			袖になるべく荷物が無い状態				
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	照明を使用するため					
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。					
	—			ピアノの事前調律 *		不要						
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可						
	可	公演に必要な電源容量			100A		※主幹電源の必要容量					
	その他特記事項											

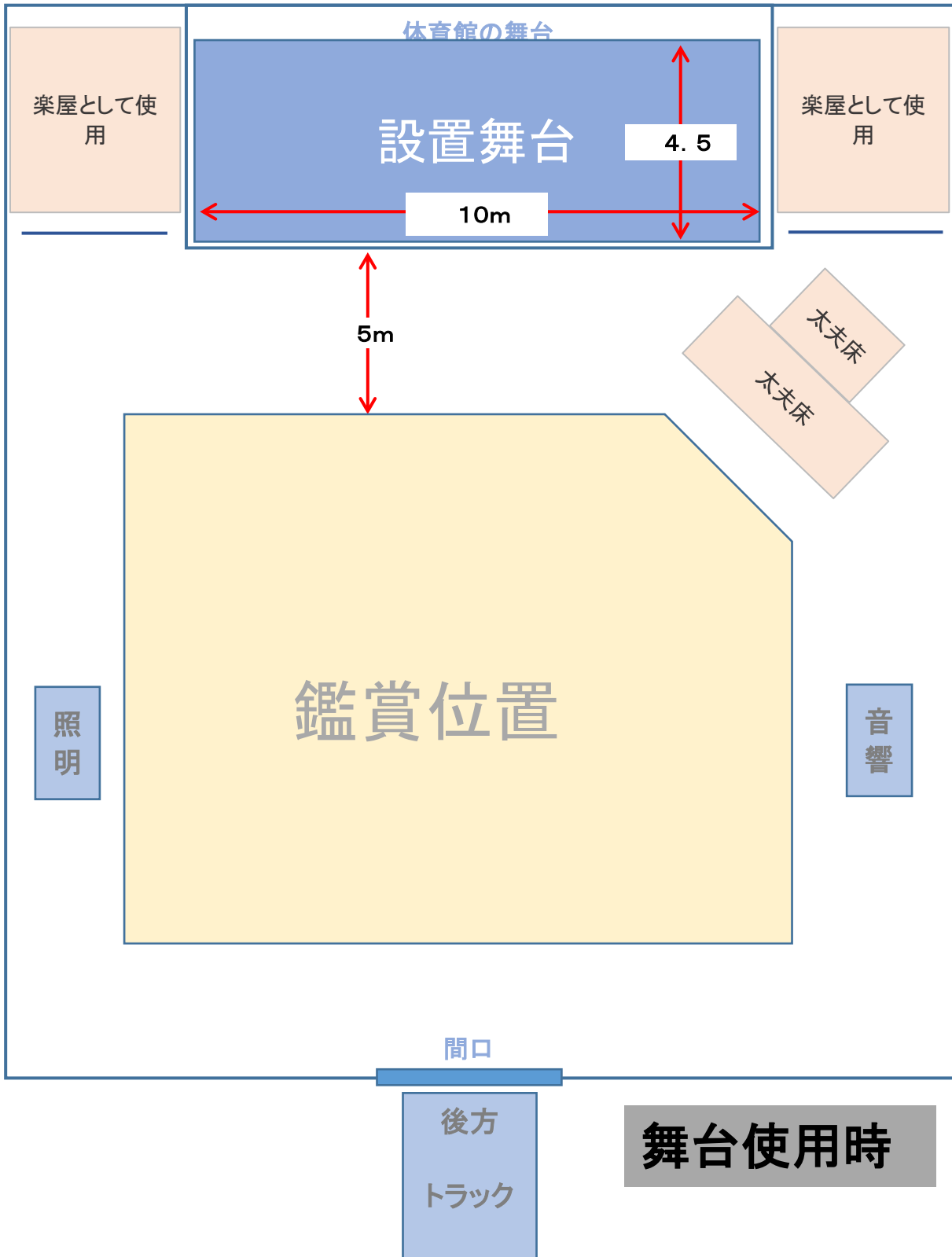
会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		学校の敷地内であれば可(10m程度)		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	学校の敷地内であれば可			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



れいわがんねんど
令和元年度

ぶん かげいじゅつ
文化芸術

こどもいくせいそうごうじぎょう
子供育成総合事業

じゅんかいこうえんじぎょう
巡回公演事業

にんぎょうじょうりりこうえん

人形浄瑠璃公演

あわじ にんぎょう ざ 淡路人形座

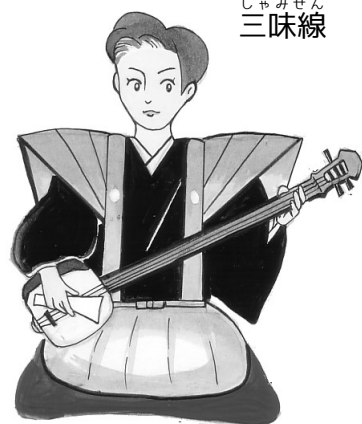
にんぎょうしばい
～ドラマティックな人形芝居～



にんぎょう
人形



たゆう
太夫



しゃみせん
三味線

あわじにんぎょうじょうりり ひょうごけんあわじしま う まれた びんやぐけいのう むるまちじだい はじ もっと さか えどじだいちゅうき いじょう
淡路人形浄瑠璃は兵庫県淡路島で生まれた民俗芸能です。室町時代に始まり最も盛んだった江戸時代中期には40以上の座と呼ばれるグループがあり、日本各地に人形浄瑠璃を伝え今でも各地域のお祭りなどで盛んに行われています。人形、太夫、三味線が作り出す～ドラマティックな人形芝居～一瞬で衣装が替わる「早替り」など演出も派手で観る人を楽しませています。



にんぎょう
人形をあやつって、
ぶたいで
舞台に出てみよう！

たゆう
太夫になって、みんなで息を合わせ
て語ってみよう！



「文化芸術による子供育成総合事業～巡回公演事業～」

わくに いちりゅう ぶんかげいじゅつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すぐ ぶたいげいじゅつ かんしょう きかい
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

◆プログラム 110分

はじめりの挨拶と淡路人形浄瑠璃の紹介

「生写朝顔日記 大井川の段」・・・一緒に元氣よく声を出して語ってみよう！

人形・太夫・三味線のおはなし・・・それぞれの表現方法はどんなのかな？

「戎舞」・・・生きているように人形を動かして、えびすさまにお酒を飲ませて
願いごとをかなえてもらおう。

～休憩（10分）～

「本朝廿四孝 奥庭狐火の段」・・・人形と人形遣いの衣装が一瞬で替わる「早替り」が見所です。

おわりの挨拶

◆スケジュール

実施日程	実施校	地元主催者名
10月18日（金）	北九州市立尾倉中学校	北九州市教育委員会
10月21日（月）	佐世保市立宇久小学校	長崎県教育委員会
11月6日（水）	小城市立三日月小学校	佐賀県教育委員会、小城市教育委員会
11月7日（木）	白石町立白石中学校	佐賀県教育委員会、白石町教育委員会
11月8日（金）	佐世保市立山澄中学校	長崎県教育委員会
11月11日（月）	南島原市立深江中学校	長崎県教育委員会 / 南島原市教育委員会
11月12日（火）	大村市立竹松小学校	長崎県教育委員会 / 大村市教育委員会
11月13日（水）	大村市立大村小学校	長崎県教育委員会 / 大村市教育委員会
11月14日（木）	唐津市立大志小学校	佐賀県教育委員会、唐津市教育委員会
11月15日（金）	鹿島市立浜小学校	佐賀県教育委員会、鹿島市教育委員会

◆出演者

人形遣い	吉田新九郎	吉田史興	吉田徳蔵
	吉田廣の助	吉田光太郎	吉田幸路
	吉田千紅	吉田青豊	
太夫	竹本友庄	竹本友和嘉	竹本友里希
三味線	鶴澤友男	鶴澤友吉	鶴澤友弥

◆公益財団法人淡路人形協会 淡路人形座プロフィール

1964年に発足した淡路人形座は、260年以上の歴史を誇る吉田傳次郎座の道員類を引き継ぎ、何世代もの人々の創意工夫が重ねられ受け継がれた人形浄瑠璃を上演しています。1998年に重要無形文化財義太夫節三味線保持者に認定された故鶴澤友路の弟子をはじめ、男性10名、女性8名の座員が淡路人形座で毎日公演する一方、国内外への出張公演、学校への出張講座、小・中学校、高校、子供会活動の後継者団体への指導、全国の伝統人形芝居保存会への協力など、伝統人形芝居の普及発展のための活動も積極的に行っています。

知っていますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, (邦楽) 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

(A区分のみ) ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ (なし)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	かぶしがいしゃ とうきょうこんさーつ		
制作団体名	株式会社 東京コンサーツ		
代表者職・氏名	代表取締役 飯塚幹夫		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 AVACOビル 2F (最寄り駅=東京メトロ東西線「早稲田」駅)		
電話番号	03-3200-9755	FAX番号	03-3200-9882
ふりがな	いっぽんしゃだんほうじん れいがくしゃ		
公演団体名	一般社団法人 伶楽舎		
代表者職・氏名	代表理事・音楽監督 芝 祐靖		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒160-0012 東京都新宿区南元町 19-2 千日谷会堂内 (最寄り駅=JR 総武線「信濃町」駅)		
制作団体 設立年月	1969年 3月		
制作団体 組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役社長:飯塚幹夫、 代表取締役副社長:尚 紀子 相談役:垣ヶ原靖博 監査役:尚邦男		スタッフ:一石鉄哉、斉藤智華子、水町 香、浅野 剛、田畑 千穂、伊藤あみか、山崎有香、鬮目幸司、他
事務体制の担当	(専任) ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	尚 紀子、山崎 有香
経理処理等の 監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	村石政昭

制作団体沿革	<p>昭和 44 年創立。以後、作曲家・音楽家のマネジメント・演奏会の企画制作を行う。</p> <p>歴代の所属アーティスト:武満徹、石井眞木、松村禎三、三善晃(以上作曲)、岩城宏之、若杉弘(以上指揮) 他</p> <p>現在の所属アーティスト:湯浅譲二、一柳慧、池辺晋一郎、新実徳英、猿谷紀郎、権代敦彦、望月京、杉山洋一、原田敬子、金子仁美、伊左治直、岸野末利加、坂東祐大、藪田翔一(以上作曲家)、伶楽舎(雅楽)、松居直美(オルガン)、篠崎史子／木村茉莉／篠崎和子(ハープ)、青柳いづみこ(ピアノ)、安江佐和子(打楽器)、伊藤亜美(ヴァイオリン)、山澤慧(チェロ)、藤元高輝(ギター)、松井慶太／伊藤翔／キハラ良尚(指揮)、吉村七重(箏)、俵万智(歌人)、堤春恵(劇作家)、他</p>		
学校等における公演実績	<p>本事業以外における伶楽舎の実績</p> <p>平成 31 年度(予定) : 東邦音楽大学附属東邦中学校・高等学校、東久留米市立第二小学校、青梅市立成木小学校、東星学園中学校、青ヶ島村立青ヶ島中学校、北区立稲付中学校、北区立浮間中学校、北区立十条富士見中学校、板橋区立桜川中学校、板橋区立上板橋第三中学校</p> <p>平成 30 年度 : 墨田区立中和小学校、杉並区立松浜中学校、荒川区立赤土小学校、四谷第六小学校、あきる野市立御堂中学校、荒川区立第三瑞光小学校、新宿区立西新宿小学校、あきる野市立増戸中学校、練馬区立北町西小学校 他平成 29 年度 : 大宮開成中学高等学校(管絃、舞楽による「雅楽演奏会」)、目黒区立下目黒小学校、板橋区志村小学校、西東京市谷戸小学校、荒川区立大門小学校、青梅市立河辺小学校、中野区立鷲宮小学校、学芸大附属小学校、松木小学校、成瀬台中学校等、中野本郷小学校、小岩小学校、昭和音楽大学、福島市第三小学校</p> <p>平成 28 年度 : 江戸川区立東小岩小学校、練馬区立北町小学校、東大和市立第一中学校 他 14 校</p> <p>平成 27 年度 : 北区清水小学校、さいたま市三橋小学校</p> <p>平成 26 年度 : 北区王子第三小学校</p> <p>平成 25 年度以前 : 北区滝野川第七小学校、文京区指ヶ谷小学校、トキワ松学園中・高等学校、日野市立大坂中学校、横浜女子中高等学校、江戸川女子中高等学校、他</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>本事業における伶楽舎の実績</p> <p>平成 31 年度(予定) : 香川県立善通寺養護学校</p> <p>平成 30 年度 : 島根県立益田養護学校</p> <p>平成 29 年度 : 港区港南中学校 (特別支援学級)</p> <p>平成 27 年度 : 北海道八雲養護学校、北海道白糠養護学校、北海道旭川養護学校、平成 24 年度 : 大阪府立刀根山支援学校 平成 22 年度 : 福井県立福井東養護学校</p> <p>本事業以外における実績</p> <p>平成 31 年度(予定) : 東京都立臨海青海特別支援学校</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	①有 ・ 無
申請する演目の DVD または WEB 公開資料		①有 ・ 無	
※公開資料有の場合 URL			
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:		
A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無	
	※公開資料有の場合 URL		
	※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体 一般社団法人 伶楽舎】

対象	小学生(<u>低学年</u> ・ 中学年 ・ 高学年) ・ <u>中学生</u>						
企画名	「伶楽舎 子どものための雅楽コンサート」						
本公演演目	<p>■第1部 雅楽ってなあに？ 雅楽古典曲 管絃「平調音取」「越天楽」、「陪臚」(中学校のみ) 雅楽古典曲 舞楽「還城楽」 各学校の校歌[雅楽編曲版](小・中学校)、わらべうた(小学校のみ)</p> <p>■第2部 日本昔ばなしと雅楽 小学校＝語り付き創作雅楽作品「ポン太と神鳴りさま」(芝祐靖作曲・脚本) 中学校＝語り付き創作雅楽作品「カラ坊風に乗る」(芝祐靖作曲・脚本) 公演時間(90 分)</p>						
原作／作曲 脚本 演出／振付	著作権	無	制作団体が 所有	有	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	有	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>■第1部 雅楽ってなあに？ (45分) ①雅楽の楽器の音をきいてみよう(楽器紹介)②唱歌(しょうが)で「越天楽(えてんらく)」をうた ってみよう③演奏をきいてみよう④舞楽をみよう⑤雅楽で他の曲もきいてみよう 以上の5つのコーナーを通して、日本の伝統音楽「雅楽」がどのようなものかを知ってもらいます。楽 器の名前や特徴を覚え、雅楽の代表的な「越天楽」のメロディーを覚えます。雅楽の勉強は「唱歌」を 歌うことから始める、という雅楽独特の習得法も知ってもらいます。豪華な装束や面をつけた舞楽の動 きの特徴を覚えてもらいます。 ■休憩(5-10分) ■第2部 日本昔ばなしと雅楽(30分) 「ポン太と神鳴りさま」＝主人公が雲の上で雷さまに会う、というストーリー。 「カラ坊風に乗る」＝空を飛ぶことを夢見ていた男の子の冒険談。</p>						
演目選択理由	<p>■第1部 管絃の「越天楽」は、最もよく知られた雅楽古典曲で、小中学校の教科書にも取り入れられている ことから選曲。初めて雅楽を聴く人に一番に知ってもらいたい曲。中学校公演では「越天楽」以外の曲も知っ てもらうため、「越天楽」との違いが分かりやすい「陪臚」(ばいろ)も取り上げる。現代と古典との距離感を 少しでも縮め雅楽に親しみを感じてもらうため、また、雅楽楽器の可能性を知ってもらうため、子どもたちが よく知っている校歌を雅楽楽器で演奏する。舞楽は動きのある一人舞を選択。これまで「還城楽」「陵王」「胡 飲酒」を上演しており、令和二年度は数年振りに「還城楽」を上演。 ■第2部 雅楽の様式化された曲調やテンポは、現代の子どもたちが日常接している音楽とはかなり異なっ ているため、長時間、古典だけを聴くのでは飽きてしまう。そこで、第2部では物語の展開を楽しみながら、知 らず知らずのうちに雅楽の響きに親しむことができるように創られた特別な雅楽作品を上演。古典の響きをベ ースに、効果音の全てまで雅楽楽器で表現した本作品は、子どもだけでなく雅楽を初めて聴く大人(保護者) にも雅楽入門に適した作品。</p>						
児童・生徒の共 演，参加又は 体験の形態	<p>●ワークショップでは、洋楽で使われる五線譜ではなく雅楽の縦書きの楽譜を見ながら、雅楽の楽器の伝統的な習得 法である「唱歌」を、拍子を取りながら一緒に歌う。雅楽のリズムパターンや打ち方を知るために打楽器の打ち方を指導 者の動作を真似て一緒に行う。舞楽の舞の振付の1つか2つを実際に身体を動かして覚え、舞楽の舞の特徴を知る。 管楽器3種と打楽器3種を実際の楽器で体験する。 ●本公演では、ワークショップで学んだ「唱歌」を復習し、「越天楽」のメロディーをしっかり覚える。ワークショップで打楽 器を体験した児童生徒の代表者が舞台にあがって、「越天楽」の演奏に参加する。わらべうたや校歌を雅楽楽器の伴 奏で歌う。</p>						
出演者	<p>笙3、箏3、龍笛3、琵琶2、箏2、鞆鼓、太鼓、鉦鼓、舞人、語り 計18名 【出演予定メンバー】伊崎善之、石川 高、五月女愛、笹本武志、野護元、須崎時彦、田口和美、田島 和枝、谷内信一、田淵勝彦、角田眞美、東野珠実、中村かほる、中村華子、中村仁美、野田美香、平井 裕子、三浦礼美、宮丸直子、村岡健一郎、國本淑恵</p>						
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 18名 スタッフ: 2名 合計: 20名		機材等 運搬方法		積載量 0.7 t 車長 4.7 m 台数 1台		

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 無) 会場設営の所要時間(1.5~2 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	10時	10時~12時	13時~15時	5-10分	15時~16時	16時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	100名程度(楽器体験可能人数は100名程度ですが相談に応じます)				
	本公演	制限はありません				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>●全員を対象とした解説と体験 ①雅楽の歴史を短く説明。楽器について説明する。②雅楽の学習の基本である「唱歌」のやり方を体験する。③打楽器の打ち方を指導者の動作を真似てやってみる。④舞の所作を体験する。</p> <p>●グループに分かれての体験 ⑤管楽器(笙・箏・龍笛)と打楽器(鞆鼓・太鼓・鉦鼓)のグループごとに楽器を体験する(楽器数に限りがあるため、体験できる人数は100名程度。ただし、他の児童生徒にも分かるように、皆に見せながら指導する) ⑥他の児童生徒の唱歌に合わせて、打楽器体験の代表者が打楽器を演奏する。</p>					
ワークショップ実施形態の意図	雅楽は、現代の子どもたちになじみのないジャンルであることから、まずは全員に向けて、雅楽の歴史や楽器の形・素材・響きについて説明する。情報量は小学校と中学校では多少異なるが、一方的な講義にならないよう、楽器の持ち方や演奏の仕方を説明する時には、子どもたちに真似をしてもらう。子どもたちが身体を動かす、声を出す、といった「動作」を説明の間に取り入れて、飽きさせない工夫をしている。楽器体験では、ただ音を出すのではなく、雅楽の作法も同時に教える。箏や龍笛は大人でも音を出すのが難しい楽器であるが、音が出た時の喜びを感じ、上手に演奏できるようになるまでには修練が必要であることも理解してもらいたい。					
特別支援学校での実施における工夫点	基本的には一般校と同じプログラム。ただし、ワークショップの楽器体験では、子どもたちの状況に応じて、通常床に座って演奏する打楽器を子どもたちの高さまで持ち上げて叩いてもらう、などの工夫をしている。舞の体験も、先生と相談しながら、それぞれの状態でできる範囲で参加してもらっている。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

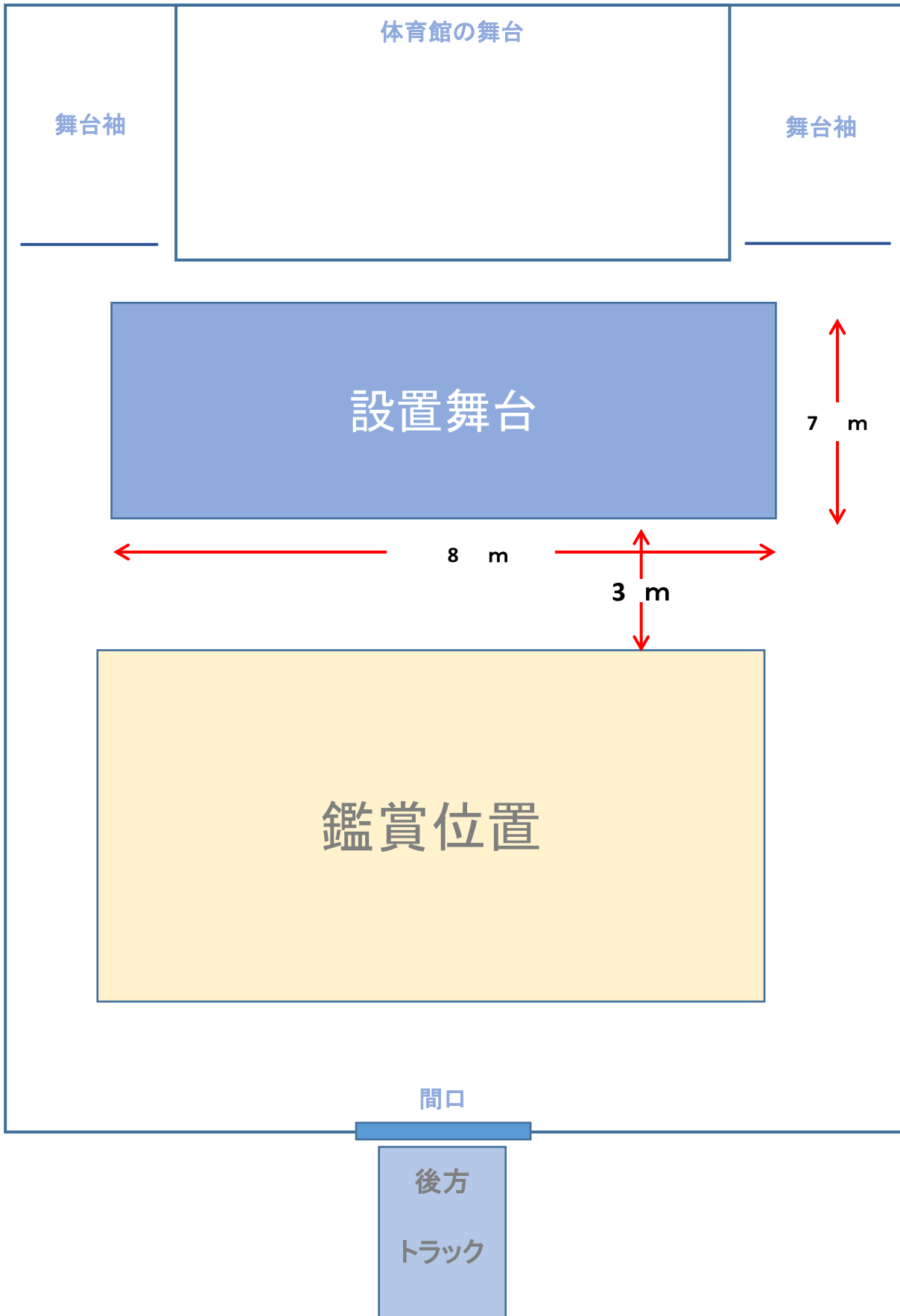
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—実施条件等確認書①】

ID	J117	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック	J	区分	A区分
公演団体名	一般社団法人 伶楽舎				制作団体名	株式会社 東京コンサーツ			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	3室	条件	着替え部屋ですので、カーテンか目張りを必要とします。					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			中型バス	1台	バン	1台		
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			バン					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない					
	可	搬入経路の最低条件			大型乗用車が一台止められるスペースと、搬入経路に屋根があること。(仮設でも可)					
		理由			楽器搬入のため					
	可	設置階の制限 *			問わない					
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数			90名程度まで(楽器体験可能人数。全校・学年参加の場合は要相談)					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			特に制限なし					
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	8m	奥行	7m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要		
	可				舞台袖スペースの条件 *			左右合わせて、18名程が待機できるスペース		
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			緞帳 *	不要		バトン *	不要	
	—				指定位置へのピアノの移動 *			不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。	
	—	ピアノの調律・移動の要否			ピアノの事前調律 *			不要		
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		問わない				
	—	公演に必要な電源容量			問わない		※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項									
	可	来校するバスは、公演中、留め置き出来る事が望ましい								
可	控え室用の部屋は10名程度が入る広さならば、合計2部屋でも可能									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

●**伶楽舎の紹介**

伶楽舎は日本の伝統音楽「雅楽」の演奏と研究のために1985年に芝祐靖が創設した雅楽演奏団体です。創設以来、音楽監督を芝祐靖(1935-2019、平成29年度文化勲章受章)が努めました。現在約30名の演奏家たちが活動を行っています。伶楽舎は、昔から現在まで伝わる雅楽の古典曲以外にも、現代の作曲家が作曲した新しい雅楽作品や、長い年月の間に演奏法がわからなくなってしまった作品(廃絶曲)、また、正倉院に残されていた楽器を復元しての演奏など、古いものから新しいものまで、幅広く取り上げて演奏しています。日本を代表する作曲家・武満徹の雅楽作品『秋庭歌一具』の演奏ではなか島健蔵音楽賞特別賞を受賞、そのCDは文化庁芸術祭レコード部門優秀賞(平成14年度)を受賞。「秋庭歌一具」と「露曲乱舞(芝祐靖 復曲・構成)」を演奏した「第13回雅楽演奏会」で2016年度佐治敬三賞受賞。他に、雅楽の古典曲や復元楽器の曲など多数CDに録音しています。また、伶楽舎の企画による自主演奏会では、新しい作品の初演や大曲の演奏などに積極的に取り組んでいるほか、解説を交えた親しみやすいコンサートや小・中高校生を対象としたワークショップ、レクチャーコンサートなども行っています。国内各地の他、アメリカやヨーロッパなどからも招かれて何度も演奏しており、日本の雅楽を世界に広める役割を果たしています。

【令和元年度 文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—出演者】

伊崎善之、石川高、岩亀裕子、國本淑恵、五月女愛、笹本武志、野護元、須崎時彦、小松絵理、田口和美、田島和枝、谷内信一、田淵勝彦、角田真美、東野珠実、中村華子、中村仁美、野田美香、平井裕子、三浦礼美、宮丸直子、村岡健一郎

●令和元年度「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」<邦楽公演> 雅楽 実施日程

実施日	実施校	合同開催校	地元主催者	プログラム
11月20日(水)	あわしりつ 伊予市立伊予小学校		徳島県教育委員会/阿波市教育委員会	A
11月21日(木)	みなみ しりつ 南あわじ市立北阿万小学校		兵庫県教育委員会/南あわじ市教育委員会	A
11月22日(金)	いたみしりつ 伊丹市立南中学校		兵庫県教育委員会	B
11月25日(月)	まるがめしりつ 丸亀市立飯山南小学校		香川県/香川県教育委員会	A
11月26日(火)	かがわけんりつ 香川県立善通寺養護学校		香川県/香川県教育委員会	A
11月27日(水)	どしょうちりつ 土庄町立土庄小学校		香川県/香川県教育委員会/土庄町教育委員会	A
12月2日(月)	いよしりつ 伊予市立郡中小学校		愛媛県/愛媛県教育委員会/伊予市教育委員会	A
12月3日(火)	せいよしりつ 西予市立田之筋小学校	せいよしりつ かいだしょうこう 西予市立皆田小学校	愛媛県/愛媛県教育委員会/西予市教育委員会	A
12月4日(水)	おおずしりつ 大洲市立久米小学校		愛媛県/愛媛県教育委員会/大洲市教育委員会	A
12月5日(木)	まつやましりつ 松山市立姫山小学校		愛媛県/愛媛県教育委員会/松山市教育委員会	A
12月6日(金)	いまばりしりつ 今治市立波止浜小学校		愛媛県/愛媛県教育委員会	A

●**国際音楽の日**

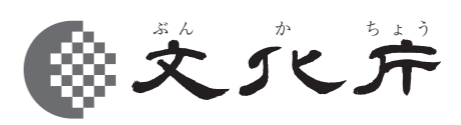
知ってますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~
 1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和元年度
 文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

雅楽「伶楽舎」
 <邦楽公演>



「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」
 我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
 事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



令和元年度

文化芸術による子供育成総合事業 巡回公演事業

雅楽「伶楽舎」

邦楽公演

プログラム

第1部 雅楽ってなあに?

雅楽の楽器の音をきいてみよう

唱歌で「越天楽」をうたってみよう

演奏をきいてみよう——「平調音取」「越天楽」、「陪臚」(プログラムBのみ)

舞楽をみよう——「胡飲酒」

雅楽で他の曲もきいてみよう——わらべうた(プログラムAのみ)

休憩 15分

第2部 日本昔ばなしと雅楽

ポン太と神鳴りさま [作曲・脚本=芝 祐靖] (プログラムA)

カラ坊 風に乗る [作曲・脚本=芝 祐靖] (プログラムB)

みなさんは「雅楽」をきいたことがありますか?

神社のお祭や結婚式のときにきいたことがある、という人もいるかもしれませんね。

「雅楽」は、千年以上の長い間、ずっと日本に伝えられてきた音楽です。

もともとは5~9世紀ごろに中国や朝鮮半島から日本に伝えられた外国の音楽だったのですが、

しだいに日本に合うようにととのえられ、日本人が作った曲も加えられました。

平安時代の貴族たちは、雅楽を合奏するのが楽しみのひとつでした。

今でも 宮中 や神社、お寺の儀式に必要な音楽として大切に演奏されています。

みなさんの聞きなれた音楽とはずいぶん違うんですが、

ぜひ、ひとつひとつの楽器の個性的な響きと、

ゆったりとした時間の流れを感じながら、聞いてみてください。

第二部では、昔ばなしと雅楽をあわせた曲を演奏します。

雅楽に親しんでもらえるように、特別に作った楽しい曲で、

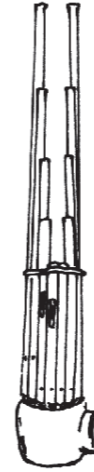
面白いお話と、生き生きとした雅楽の表現を、

どうぞたっぷりお楽しみ下さい。



雅楽の楽器

1) 笙



2) 篳篥



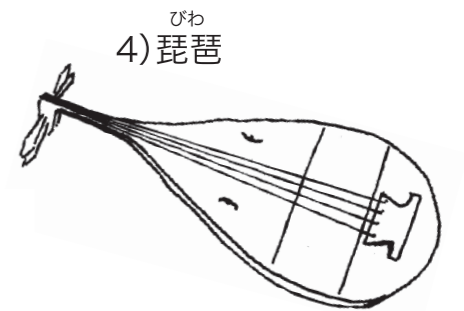
3) 龍笛



5) 箏



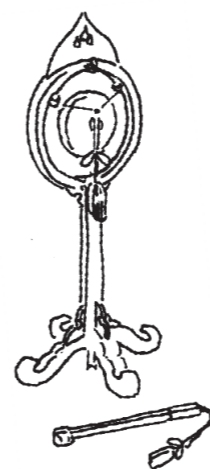
4) 琵琶



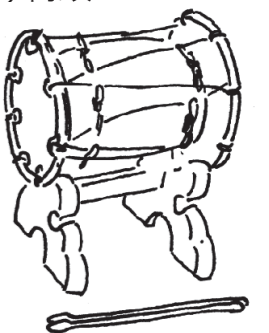
7) 太鼓



8) 鉦鼓



6) 鞆鼓



雅楽の楽譜

越天楽

小曲 早四拍子 後度三

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	かぶしきがいしゃ ちゅら		
制作団体名	株式会社 CHURA		
代表者職・氏名	代表取締役 小杉奈津子		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒902-0076 沖縄県那覇市与儀368-13-1F		
電話番号	098-987-1327	FAX番号	098-993-7890
ふりがな	いっばんしゃだんほうじん おきなわかぶげきだん ちゅら		
公演団体名	一般社団法人沖縄歌舞劇団 美		
代表者職・氏名	代表理事 小嶺和佳子		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒904-0031 沖縄県沖縄市上地2-14-19-2F		
制作団体 設立年月	2000年 4月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 小杉奈津子 監査役 山田泰生	制作部2名、文芸部5名、舞台部20名 合計27名 加入条件:定期的に琉球舞踊界の中で公募し、オーディションにより選抜する。	
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	小杉奈津子
経理処理等の 監査担当の有無	有・無	経理責任者名	小杉奈津子

制作団体沿革	<p>株式会社 CHURA は、2009 年の設立以来、精力的に沖縄伝統芸能の発信を続け、日本全国での公演を展開するほか、海外公演も積極的に手掛けてまいりました。</p> <p>現在まで、世界・五大陸 41 カ国 76 都市での海外公演を実施。さらに、国際共同制作公演にも積極的に取り組み、近年では琉球舞踊とアフリカの伝統音楽とのコラボレーション公演も実現させました。また、国内においては、全国の小・中・高等学校での公演、及び一般公演などを精力的に行い、国指定重要無形文化財である琉球舞踊を中心に沖縄伝統芸能の普及と創作活動を続けています。</p>		
学校等における公演実績	<p>2001 年より学校公演を開始、2019 年までの 19 年間で 529 公演、約 22 万人の児童・生徒にご鑑賞頂いております。</p> <p>近年の実績は、下記の通りになります。</p> <p>平成 27 年 1 作品 30 公演 9,484 名 平成 28 年 1 作品 30 公演 10,379 名 平成 29 年 2 作品 64 公演 20,059 名 平成 30 年 1 作品 38 公演 12,479 名 令和元年 2 作品 62 公演 20,000 名(予定)。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>名古屋市立南養護学校 大阪市立光陽特別支援学校 広島県立呉特別支援学校</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシ・パンフレット等	○有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	○有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人沖縄歌舞劇団 美】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	「太陽の花」—沖縄の四季を沖縄の歌と踊りと太鼓で—		
本公演演目	琉球舞踊・沖縄音楽(古典・民謡)・民族舞踊・太鼓演舞		
監修 演出・振付 音楽	新崎 恵子 小嶺 和佳子 宜保 和也		
著作権	<input type="radio"/> 制作団体が所有	<input type="radio"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>【今も沖縄に息づく伝統芸能】</p> <p>沖縄が琉球王国と呼ばれていた時代、その文化・芸術は、独自の感性で生まれ、様々な形で表現され、現在も息づく芸能として、多くの人に継承されています。</p> <p>本公演では、琉球王朝時代から現在まで継承・発展された沖縄伝統芸能の代表格といえる芸能をご覧頂きます。</p> <p>見所ポイント ① 沖縄の芸能がオムニバスで楽しめる！</p>		
			

見所ポイント ② 分かりやすい解説つき！



琉球舞踊の歴史や意味、衣装や見所、物語の内容について、子供達にわかりやすく説明します。

見所ポイント ③ 生演奏を楽しめる！



録音した音源ではなく、沖縄でも選りすぐりのプロの演奏者が、会場で生演奏いたします。沖縄の楽器を実際に見て聞いて、三線・笛・太鼓など、迫力ある演奏を楽しむことができます。

見所ポイント ④ 子ども達との楽しい共演！



衣装やメイク、小道具などを実際に身につけ、沖縄のお盆のシーンを体験できます。伝統芸能のエイサーを共に演武し、再現いたします。

【プログラム】

【オープニング】

① よ^よたけ^{たけ} 四つ竹（古典女踊り）

祝儀舞踊の代表作。

南国沖縄を象徴する赤い花、青い空と波打つ白い高波をモチーフにした「花笠(はながさ)」をかぶり、伝統の染色技法で作られた「紅型(びんがた)」を身にまとい、手には四枚の竹を持ち、カスタネットのように打ち鳴らしながら、歓迎の喜びを表現する華やかで美しい舞踊です。



【季節は冬—男女が出合い恋に落ちる—】

② か^かな^なあまか^{あまか} 加那ヨ一天川（雑踊り）

愛し合う男女の愛の印である花染めの手ぬぐい(ティーツージ)。軽快なリズムにのって恋のしぐさを明るく表現した踊り。随所に技巧に富む、自由奔放な振りがみられます。舞踊でお互いの思いが表現されており、二人の会話がまるで聞こえてくるようです。



【季節は、春～結婚式】

③ か^かぎ^ぎや^やで^でふう^{ふう}（古典祝儀舞踊）



沖縄の結婚式と祝宴の座開きとして踊られる舞踊です。

色鮮やかな衣装を身にまとい、獅子頭や花を持って二人の門出を祝い舞います。



④ ^ぶ武の舞 ^{まい}（創作空手男踊り）



沖縄発祥の空手を舞踊に取り入れた武の舞は、空手の型や、武器を使う古武道の型を音楽に合わせて演じる沖縄独特の舞踊です。
三線と太鼓音に合わせて踊る、武の技を使う勇壮で力強い舞は圧巻です。



【夏 ～ お盆の季節がやってきて、あの世からご先祖様が降りてくる！】

⑤ ^{ししまい}獅子舞（伝統芸能）

沖縄各地に伝わる獅子舞は、中国から伝わったものといわれ、百獣の王・獅子を舞い表すことによって、悪霊を祓い、五穀豊穡と繁栄を祈願します。頭と胴体を二人の人間が息を合わせて操る獅子は、まるで本物の生き物のようです。子供達も躍動感ある獅子舞に興味津々で、会場全体が盛り上がる場面です。



⑥ アンガマー（八重山諸島伝統芸能）

あの世の先祖ウシュマイ（お爺）とウミー（お婆）が現世に現れて、家々を訪問。珍問答や踊りなどで祖先の霊を供養する石垣島独特の伝統行事です。

お面をつけて踊る仕草は愛らしく、仲睦まじいお爺とお婆の陽気でコミカルな踊りは笑いを誘います。



⑤ エイサー（伝統芸能）～ 児童・生徒のみなさんとの共演 ～



エイサーは、旧暦のお盆の最終日に祖先をあの世へ送り出す念仏踊りです。毎年、旧盆が近くなると各公民館からドンドンと太鼓を打つ音が聞こえ、沖縄の夏の風物詩といえます。エイサーを観て感じる高揚感を沖縄の言葉では“チムドンドン”と表現し、太鼓の音やバチさばき、大太鼓や締め太鼓には沖縄の独自性が映し出されます。



ワークショップで習ったエイサーを、いよいよ発表！全校生徒も一生懸命応援します。

⑥ うた きんしん 歌・三線（沖縄の島唄や民謡）



どこか懐かしくて、楽しくなる沖縄の音楽を、三線と歌でお届けします。子供たちと、一緒にハヤシ言葉(合いの手)を入れながら楽しめる歌のコーナーです。

【季節は、秋 ～ 収穫の時期。きつい仕事も歌や踊りで元気に表現】

⑦ マミドーマ(八重山芸能:雑踊り)

沖縄県八重山諸島では豊年祭で奉納される踊り。クワや鎌(カマ)を手に、愉快でユーモラスに庶民の生活を再現した農耕踊りです。



大変な畑仕事も、歌いながら楽しく行う、沖縄人々の陽気な性格が表れた作品です。笑顔で働く姿に、思わず、つられて笑みがこぼれる一幕です。



⑧ カチャーシー(フィナーレ)

沖縄では、祭りや結婚式など祝い事の最後に、参加者全員でカチャーシーを踊り、皆で今日の良き日の喜びを分かち合います。メンバーと子供達、そして先生も！みんな一緒になって踊り楽しむフィナーレです！



演目選択理由

芸能の息づく島沖縄では、多くの子ども達が、小さな頃から日常的に伝統芸能や音楽に携わり、太鼓を叩き、三線の音色を聞き、祭事ある地域コミュニティーで人間関係を学び、居場所を得ています。

沖縄では昔から「芸能が子どもたちの心と人生を豊かにする」といわれ、芸能を身近に肌で感じる機会がたくさんあります。その中で、子供達の興味ある演目を選び、日本全国の同じ年齢の子ども達に紹介することにより、その子供達が、自分の地元の芸能に興味を持ち、文化を知ることにより、子供自身が地域に溶け込むきっかけになってくれればと、期待を込め、演目を選択いたしました。

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態

沖縄の生きた伝統芸能・琉球音楽の要素を含めた演目での共演を目指します。

1.共演・参加・体験演目（ワークショップを体験した児童・生徒の参加について）

- 1) 沖縄民謡「安里屋コンタ」でハヤシ言葉(囃子)
- 2) 伝統芸能「エイサー」太鼓グループによる太鼓演舞
- 3) 伝統芸能「エイサー」チョンダラー役による自由に練り歩く演舞
- 4) 手踊りカチャーシー

本公演演目の「お盆」の再現シーンでは、ワークショップを体験した子ども達が中心になって出演していただきます。

実施校児童・生徒・先生方(約10～30名)までご出演頂きます。

三線の音色に合わせて、太鼓を打ち鳴らし、かけ声(囃子)をかけます。

躍動と一体感を感じられる伝統芸能となっています。

(衣装・道具の体験内容)


- 1) エイサーのハッピーを身につける。
- 2) 締め太鼓・パーランクー(小さな太鼓)を実際に持つ。
- 3) チョンダラー役は、実際に顔に化粧を施し、クバ扇(沖縄の民具:クバの葉の扇)を持って、エイサーを踊る児童の周り、全校生徒の周りを練り歩く。



2.共演・参加・体験演目

手踊りカチャーシー(全校生徒の参加)公演中、簡単な手踊りをレクチャーします。
「お盆」のシーンと公演の最後の合計2回、リズムに乗って楽しく踊って頂きます。
基本的に沖縄のリズムに乗って自由に踊る踊りなので、初めての子ども達でも可能です。

出 演 者	舞踊:小嶺和佳子 他7名、地謡・民謡:宜保和也 他3名。【別紙:メンバー(予定表)】		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 12名 スタッフ: 4名 合計: 16名	機材等 運搬方法	積載量 2t 車長 7m 台数 1台

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(4時間程度) <table border="1" data-bbox="403 781 1422 864"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9時</td> <td>9時～ 13時</td> <td>13時30分～14時50分</td> <td>なし</td> <td>15時～17時</td> <td>17時</td> </tr> </tbody> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	9時	9時～ 13時	13時30分～14時50分	なし	15時～17時	17時
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
9時	9時～ 13時	13時30分～14時50分	なし	15時～17時	17時													
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	30名以下 ※状況により、ご相談は可能です。																
	本公演	30名以下 ※状況により、ご相談は可能です。																
ワークショップ実施形態及び内容	<p data-bbox="403 1077 826 1115">「エイサー(太鼓演舞)を踊ろう！」</p> <p data-bbox="427 1173 1406 1245">沖縄民謡「安里屋ゆんた」の掛け声“サーユイユイ”に合わせて、演舞を行い、全員で唄の掛け合いをします。</p> <ul data-bbox="427 1290 1123 1323" style="list-style-type: none"> ・太鼓3種類を用意します。(パーランクー・締め太鼓・大太鼓) <div data-bbox="443 1361 1374 1637" style="text-align: center;">  <p data-bbox="504 1603 651 1630">パーランクー</p> <p data-bbox="740 1603 839 1630">締め太鼓</p> <p data-bbox="991 1603 1066 1630">大太鼓</p> <p data-bbox="1206 1603 1353 1630">チョンダラー</p> </div> <p data-bbox="427 1675 1158 1709">上記、3種類の太鼓と道化役のチョンダラーの振付などを指導致します。</p> <ul data-bbox="427 1753 1187 1787" style="list-style-type: none"> ・伝統芸能「エイサー」の所作やリズムを学び、定番曲に合わせて踊ります。 <p data-bbox="427 1827 1430 1933">※子供たちにもわかりやすく、覚えやすい、繰り返しのある振付です。 はじめは、曲によってすぐに踊ることが困難でも、繰り返すことにより踊れるようになる楽しさが体験できます。</p>																	



「カチャーシーを踊ろう！」

沖縄の人ならだれでも踊れる、手を左右に振るだけの簡単な手踊りです。
 基本的に決まった形はありません。自由に踊れる楽しい踊りなので、初めての子供たちも
 すぐに覚えることができます。

ワークショップ
 実施形態の意図

エイサーは、お盆の最終日(旧暦7月15日)に行われる、「祖先をあの世へ送り出す」
 念仏踊りです。琉球舞踊と同じく古い歴史のある踊りです。
 近年では、運動会の演舞にも取り入れられるほど有名になりましたが、祖先崇拝の強い沖縄
 では、お盆の大切な行事として大切にされています。踊りながら集落を練り歩く(道じゅねー)
 は、各家の無病息災や家内安全、繁栄を祈り、祖先の霊を供養する為に行われます。
 この演舞を学ぶことによって、子供たちが祖先や両親への感謝の心を深めると同時に命を授
 かったことの大切さに気づいてほしい。また、生活の中に伝統芸能を取り入れ、喜怒哀楽を踊
 りの中に込めて、豊かな人間性や生きる力を育むための学びとなればと思います。
 また、今、教育の現場ではダンスなどが必修となっていますが、楽しみながら体を動かし、感
 情を表現する言葉を超えたコミュニケーションなどへの気づきとなれば幸いです。

特別支援学校で
 の実施における工
 夫点

特別支援学校で行う際には、状況にあった振り付けと音楽を用意してエイサーのワークショッ
 プを行います。
 カチャーシーは障害のある子どもに対してもリズムを感じ取って楽しんで参加頂けます。
 身体的障害を持つ子どもでも、三板(サンバ)というカスタネットに似た楽器や、小さな太鼓の
 パーラックなどを持ってもらい、参加して頂きます。
 エイサーへのワークショップ参加が厳しい場合は、カチャーシーのウエイトを多くし、ワークシ
 ョップでも生演奏の唄と踊りで楽しんで頂きます。

実施可能時期

実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

【公演団体名 沖縄歌舞劇団 美】

メンバーリスト(予定)

舞踊 : 小嶺 和佳子

舞踊 : 比嘉 一恵

舞踊 : 新里 春加

舞踊 : 徳元 美幸

舞踊 : 仲嶺 麗子

舞踊 : 與那國 恵

舞踊 : 早田 恵美

舞踊 : 中田 夏海

演奏 : 宜保 和也

演奏 : 室井 恒慈郎

演奏 : 金城 安恵

演奏 : 大城 淳紀

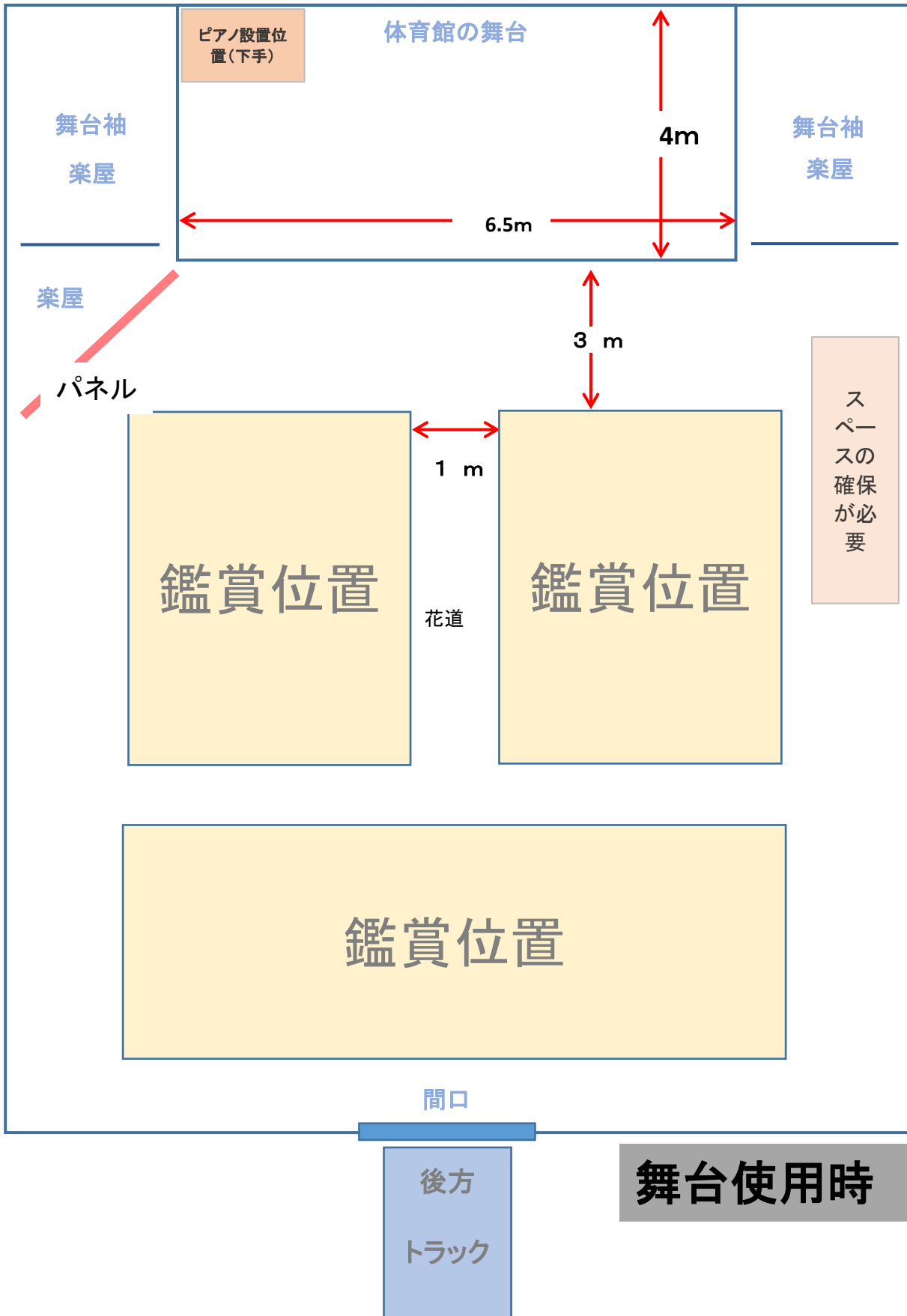
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	J118	分野	伝統芸能	種目	演芸	ブロック	J	区分	A区分
公演団体名	一般社団法人 沖縄歌舞劇団 美				制作団体名	株式会社 CHURA			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	—	必要数 *	不要	条件						
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2トラック 1台		中型バス 1台			
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2トラック					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内					
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。 ・2階以上の場合、エレベーターがあれば望ましい。 なくても搬入可能だが、要相談。					
	理由				音響・照明・舞台の大道具を搬入するため。					
	—	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可					
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m			
WSIについて	可	参加可能人数			30名程度が理想。上限は、ご要望によりご相談可能です。					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *		なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			150分程度					
本公演について	理由	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			～1000名					
	可	舞台設置場所 *			体育館のステージ上					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	6.5	奥行	4	高さ	4	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要			
	可				舞台袖スペースの条件 *		袖に荷物が無い状態			
	可				緞帳 *	要	バトン *	要		
	不可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	演出上、可能な限り遮光したい。暗幕がなければ、こちらで準備します。			
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	—			ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量			60A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									
—	バスが、学校内に停車できない場合、学校外に停め、退校時間に戻って来てもらいます。									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m以内が望ましい。			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

ティーン

はな

太陽の花

琉球舞踊は、
国の重要無形文化財に
指定されています。

～沖縄の四季を唄と踊りと太鼓で贈る～



おきなわ かぶげきだん ちゅら 沖縄歌舞劇団美

1998年設立。華麗さと力強さを兼ね備えたプロフェッショナルな歌舞劇団として、出身・性別・流派を超え、選び抜かれたメンバーで構成される。

琉球舞踊の継承を重んじ、伝統を生かした数多くの作品を創作しており、結成20年間で41カ国・76都市での文化庁海外派遣公演を成功させる。また、日本全国の小・中・高等学校での学校公演、および一般公演を精力的に行い、国指定重要無形文化財である琉球舞踊の普及と創作活動に邁進する。

世界5大陸41カ国

76都市で公演を実施!

世界中で愛されている沖縄歌舞劇団美は、すべての子どもたちに元気と笑顔を届けます。



沖縄歌舞劇団
美 CHURA

おきなわでんとうげいのうたの
沖縄の伝統芸能を楽しみながら
 たいけん
体験しよう!



エイサー



よだけ 四つ竹

ぶまい 武の舞



マミドーマ



四つ竹 (よつだけ) 太鼓 (大太鼓・締め太鼓・パーランカー) 三板 (さんば) 三線 (さんしん)

太陽の花 プログラム

冬に出会い、春に結ばれ子供が生まれ、夏は先祖を敬い、秋には夫婦(家族)と仲間たちで実りの収穫を助け合う。そんな沖縄の人々の暮らしを、三線と太鼓、踊りと唄の調べにのせて物語を綴ります。

① オープニング

よだけ 四つ竹 (古典舞踊)

冬

② 出会い

かな 加那ヨ一 天川

春

③ 結婚式 ~祝宴の舞~

かぎやで風 / 武の舞

④ 誕生

生まれて来た子供へ贈る子守唄

夏

⑤ 獅子舞

⑥ お盆

アンガマー

⑦ 念仏踊り (生徒参加)

エイサー

秋

⑧ 秋の収穫

マミドーマ

⑨ エンディング

カチャーシー

楽しく
わかりやすい
司会進行!



※構成、演出の都合により一部変更になる場合がございます。